

清瀬市高齢者保健福祉計画・
第8期介護保険事業計画策定に向けた調査
報 告 書

令和2年3月

清 瀬 市

目 次

第 1 章 調査の枠組み

1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 調査報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 章 65 歳以上及び要支援認定 1・2 の方への調査

1. 基本属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 日常生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
3. 地域とのつながり等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4. 健康等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
5. 各種事業やサービス等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

第 3 章 要介護認定 1～5 の方への調査

1. 基本属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
2. 介護保険サービスの利用状況について・・・・・・・・・・・・ 65
3. 家族の介護について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
4. 認知症について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
5. 困った時の相談先やケアマネジャーについて・・・・・・・・ 77
6. 各種事業やサービス等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

第 4 章 介護保険事業所への調査

1. 基本属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
2. 事業所運営や市内のサービスの提供状況などについて・・・・ 98
3. 認知症ケアや医療・介護の連携などについて・・・・・・・・ 103
4. 介護人材のことについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
5. 事業所運営上の課題・要望などについて・・・・・・・・・・・・ 113

資料 調査票

1. 65 歳以上及び要支援認定 1・2 の方への調査 調査票・・・・ 117
2. 要介護認定 1～5 の方への調査 調査票・・・・・・・・・・・・ 136
3. 介護保険事業所への調査 調査票・・・・・・・・・・・・・・ 152

第 1 章 調査の枠組み

1. 調査の目的

本調査は、「高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が送れるよう、健康でいきいきと暮らしていけるまち」の実現を目指し、高齢者福祉及び介護保険サービスの一層の向上を図ることを目的に、令和3年度からはじまる「清瀬市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定する際の基礎資料とするための、アンケート調査を実施したものです。

2. 調査の概要

- ・対象者抽出の基準日は、令和元年10月1日です。
- ・対象者の抽出方法は、無作為抽出です。
- ・同一世帯に2つ以上の調査票がとどかないよう調整し、対象者を決定しています。
- ・住所不明等により郵送戻りとなった調査票は、調査対象数から除外しました。
- ・調査期間を過ぎた返送分も、可能な限り集計の対象としました。

調査名	65歳以上及び要支援1・2の方への調査	要介護認定者の方への調査	介護保険事業所への調査
調査対象	介護保険の認定を受けていない65歳以上、あるいは介護保険で要支援1・2の認定を受けている方	介護保険において要介護1～5の認定を受けており、施設入所をしていない方	市内にある介護保険事業所（法人単位）
調査対象数	1,599人	1,000人	50事業所
回収数	1,071人	445人	38事業所
回収率	67.0%	44.5%	76.0%
記名の有無	無記名式		記名式
調査期間	令和元年11月27日～令和元年12月18日		
調査方法	郵送配布・郵送回収		

3. 調査報告書の見方

○回答者数について

- ・ 図中の「n」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしています。

○百分率について

- ・ 百分率（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100%にならない場合があります。

- ・ 回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。

○図表の単位について

- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしています。

○クロス集計及び分析について

- ・ クロス集計表の数字について、上段は人数、下段は%です。
- ・ 各設問の対象者全員の合計を「全体」と表記し、特徴的なものについては、性別・年齢等の属性や、他の設問に対する回答と、クロス集計分析を行っています。
- ・ クロス集計表においては分類項目の「無回答」の掲載を省略しているものがあります。その場合、タテ軸の回答者数の合計値と「全体」の数値が一致しない場合があります。

（設問例） お住まいの地区について、お教えてください。（それぞれ1つに○）

	回答者 (人・%)	上清戸	中清戸	下清戸	元町	下宿	旭が丘	中里	野塩	松山	竹丘	梅園	無回答
全体	445	17	52	18	28	14	47	73	41	57	74	15	9
	100.0	3.8	11.7	4.0	6.3	3.1	10.6	16.4	9.3	12.7	16.6	3.4	2.0
65～74 歳	43	0	8	1	1	0	5	12	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	18.6	2.3	2.3	0.0	11.6	27.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75～84 歳	159	12	13	8	10	8	19	30	11	10	20	3	1
	100.0	7.5	8.2	5.0	6.3	5.0	11.9	18.9	6.9	6.3	12.6	1.9	0.6
85 歳以上	204	4	0	0	2	4	18	25	21	32	39	10	1
	100.0	2.0	0.0	0.0	1.0	2.0	8.8	12.3	10.3	15.7	19.1	4.9	0.5

・「中里」と答えた人は、65～74歳の回答者43人中12人で、27.9%であったと読み取れる。

・集計項目（横軸）の合計は100%とならない。

第2章 65歳以上及び要支援認定1・2の方への調査

1. 基本属性

問1 はじめに、この調査票に記入される方をお教えてください。(1つに○)

調査票への記入者は、回答者数 1,071 人に対して、「あて名のご本人が記入」が 88.1%と最も多く、「ご家族が記入」が 4.9%、「その他」が 0.2%となっています。

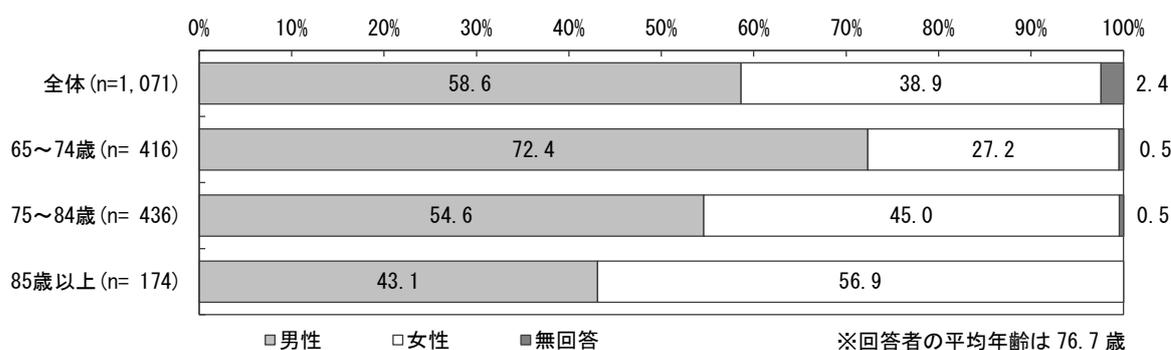
なお、「無回答」は 72 人で、全体の 6.7%となっています。

	回答者 (人・%)	あて名のご本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
全体	1,071	944	53	2	72
	100.0	88.1	4.9	0.2	6.7

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と令和元年10月1日現在の年齢をお教えてください。(1つに○)及び(記述式)

回答者の性別は、「男性」が 58.6%、「女性」が 38.9%であり、女性よりも男性のほうが多くなっています。

年齢別では、65～74歳及び75～84歳では、「女性」よりも「男性」の方が多く、85歳以上では男性よりも女性のほうが多くなっています。

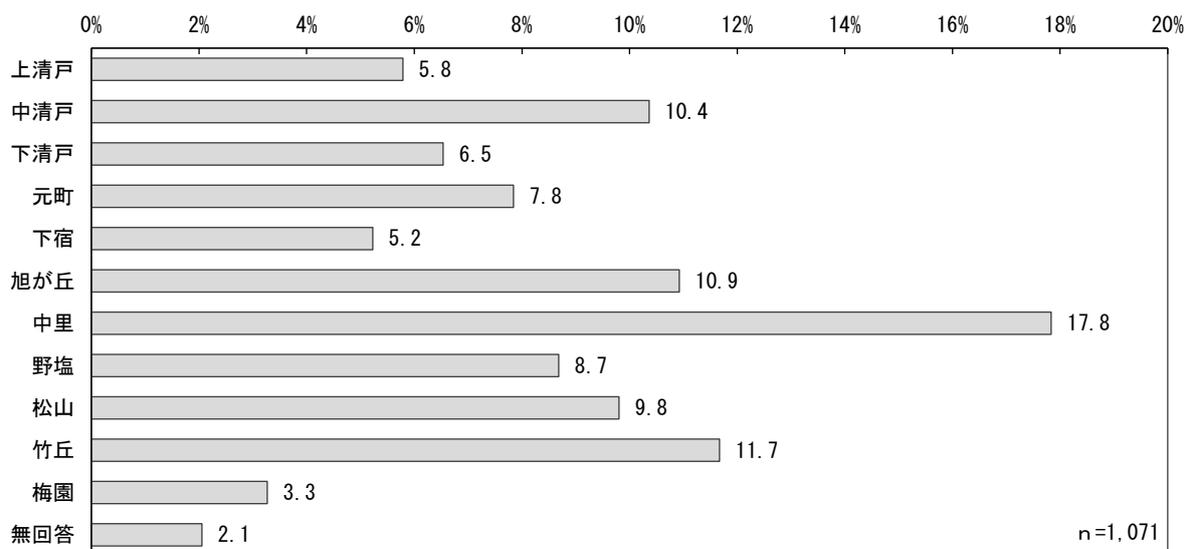


注) 回答者には 64 歳以下 5 人が含まれていましたが、本アンケート調査が 65 歳以上を対象とした調査であるため、全体集計には含めるものの、年齢別集計では表記しないこととしました。(以下、同じ) 全体集計の総数と年齢別集計の総数が異なるのは、年齢別集計に 64 歳以下及び無回答を含んでいないためです。また、その他の個別集計の総数と全体集計の総数が異なるのは、無回答を含んでいないためです。(以下、同じ)

問3 お住まいの地区、丁目について、お教えてください。(それぞれ1つに○)

回答者の居住地区では、中里地区が191人(17.8%)と最も多く、梅園地区が35人(3.3%)と最も少なくなっています。

地区丁目別の年齢区分をみると、65～74歳では、旭が丘2丁目と元町2丁目の割合が多くなっており、75～84歳では、旭が丘2丁目と竹丘2丁目の割合が多くなっています。また、85歳以上では、竹丘1丁目と旭が丘2丁目の割合が多くなっています。



	上清戸	中清戸	下清戸	元町	下宿	旭が丘	中里	野塩	松山	竹丘	梅園	無回答
全体	62 5.8	111 10.4	70 6.5	84 7.8	56 5.2	117 10.9	191 17.8	93 8.7	105 9.8	125 11.7	35 3.3	22 2.1
1丁目	24 2.2	16 1.5	38 3.5	32 3.0	32 3.0	5 0.5	21 2.0	17 1.6	43 4.0	48 4.5	0 0.0	
2丁目	28 2.6	8 0.7	6 0.6	38 3.5	12 1.1	65 6.1	13 1.2	23 2.1	36 3.4	48 4.5	12 1.1	
3丁目		16 1.5	5 0.5		4 0.4	5 0.5	35 3.3	12 1.1	22 2.1	23 2.1	20 1.9	
4丁目		24 2.2	4 0.4			3 0.3	35 3.3	7 0.7				
5丁目		33 3.1	6 0.6			19 1.8	27 2.5	21 2.0				
6丁目						9 0.8	37 3.5					
無回答	10 0.9	14 1.3	11 1.0	14 1.3	8 0.7	11 1.0	23 2.1	13 1.2	4 0.4	6 0.6	3 0.3	22 2.1

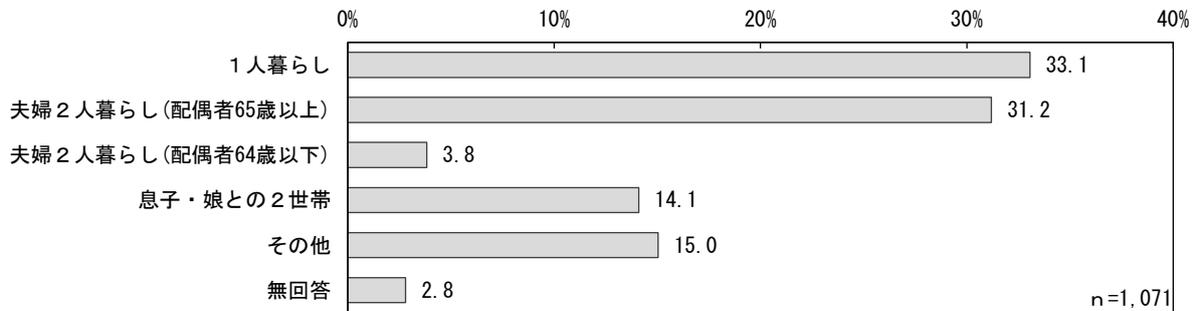
地区	丁目	65 ～ 74 歳	75 ～ 84 歳	85 歳 以上	無 回 答
上清戸	1丁目	12	7	5	0
		2.9	1.6	2.9	0
	2丁目	13	10	5	0
		3.1	2.3	2.9	0
無回答	5	4	1	0	
	1.2	0.9	0.6	0	
中清戸	1丁目	8	7	1	0
		1.9	1.6	0.6	0
	2丁目	2	2	4	0
		0.5	0.5	2.3	0
	3丁目	9	5	2	0
		2.2	1.1	1.1	0
	4丁目	7	13	4	0
		1.7	3.0	2.3	0
	5丁目	14	14	4	0
		3.4	3.2	2.3	2.2
無回答	5	3	5	1	
	1.2	0.7	2.9	2.2	
下清戸	1丁目	17	10	4	1
		4.1	3.7	2.3	2.2
	2丁目	3	3	0	0
		0.7	0.7	0	0
	3丁目	4	1	0	0
		1.0	0.2	0	0
	4丁目	1	3	0	0
		0.2	0.7	0	0
5丁目	4	2	0	0	
	1.0	0.5	0	0	
無回答	6	4	1	0	
	1.4	0.9	0.6	0	
元町	1丁目	12	14	4	2
		2.9	3.2	2.3	4.4
	2丁目	23	10	5	0
		5.5	2.3	2.9	0
無回答	2	8	3	1	
	0.5	1.8	1.7	2.2	
下宿	1丁目	16	12	3	1
		3.8	2.8	1.7	2.2
	2丁目	6	4	1	1
		1.4	0.9	0.6	2.2
	3丁目	1	3	0	0
		0.2	0.7	0	0
無回答	3	4	1	0	
	0.7	0.9	0.6	0	
旭が丘	1丁目	2	1	1	1
		0.5	0.2	0.6	2.2
	2丁目	24	32	9	0
		5.8	7.3	5.2	0
	3丁目	2	2	1	0
		0.5	0.5	0.6	0
	4丁目	2	0	1	0
		0.5	0	0.6	0
	5丁目	7	10	2	0
		1.7	2.3	1.1	0
6丁目	5	4	0	0	
	1.2	0.9	0	0	
無回答	0	5	5	1	
	0	1.1	2.9	2.2	

地区	丁目	65 ～ 74 歳	75 ～ 84 歳	85 歳 以上	無 回 答
中里	1丁目	7	7	7	0
		1.7	1.6	4.0	0
	2丁目	5	3	5	0
		1.2	0.7	2.9	0
	3丁目	16	13	6	0
		3.8	3.0	3.4	0
	4丁目	10	19	4	2
		2.4	4.4	2.3	4.4
	5丁目	15	8	4	0
		3.6	1.8	2.3	0
6丁目	13	18	4	2	
	3.1	4.1	2.3	4.4	
無回答	10	9	4	0	
	2.4	2.1	2.3	0	
野塩	1丁目	5	9	3	0
		1.2	2.1	2.3	0
	2丁目	3	16	4	0
		0.7	3.7	2.3	0
	3丁目	6	2	4	0
		1.4	0.5	2.3	0
	4丁目	2	1	4	0
		0.5	0.2	2.3	0
5丁目	13	6	2	0	
	3.1	1.4	1.1	0	
無回答	3	4	3	3	
	0.7	0.9	1.7	6.7	
松山	1丁目	20	15	6	2
		4.8	3.4	3.4	4.4
	2丁目	11	15	8	2
		2.6	3.4	4.6	4.4
	3丁目	7	10	4	1
		1.7	2.3	2.3	2.2
無回答	1	2	1	0	
	0.2	0.5	0.6	0	
竹丘	1丁目	15	21	11	1
		3.6	4.8	6.3	2.2
	2丁目	16	25	6	1
		3.8	5.7	3.4	2.2
	3丁目	11	8	2	2
2.6		1.8	1.1	4.4	
無回答	0	4	2	0	
	0	0.9	1.1	0	
梅園	1丁目	0	0	0	0
		0	0	0	0
	2丁目	3	5	4	0
		0.7	1.1	2.3	0
	3丁目	7	9	3	1
1.7		2.1	1.7	2.2	
無回答	0	2	1	0	
	0	0.5	0.6	0	
無回答		2	2	0	18
合計		416	436	174	45
		100.0	100.0	100.0	100.0

問4 あなたのご家族や生活状況について

問4（1）家族構成について教えてください。（1つに○）

家族構成では、「1人暮らし」が33.1%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が31.2%、「息子・娘との2世帯」が14.1%となっています。



地区丁目別の家族構成をみると、1人暮らしの割合は、旭が丘2丁目と竹丘2丁目で多く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）の割合は、旭が丘2丁目と下清戸1丁目で多くなっています。

地区	丁目	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
上清戸	1丁目	5 1.4	11 3.3	2 4.9	5 3.3	1 0.6	0 0.0
	2丁目	10 2.8	9 2.7	2 4.9	4 2.6	2 1.2	1 3.3
	無回答	3 0.8	2 0.6	1 2.4	0 0.0	3 1.9	1 3.3
中清戸	1丁目	1 0.3	9 2.7	1 2.4	2 1.3	3 1.9	0 0.0
	2丁目	1 0.3	0 0.0	0 0.0	6 4.0	1 0.6	0 0.0
	3丁目	3 0.8	6 1.8	0 0.0	2 1.3	4 2.5	1 3.3
	4丁目	13 3.7	5 1.5	0 0.0	4 2.6	2 1.2	0 0.0
	5丁目	5 1.4	14 4.2	3 7.3	5 3.3	6 3.7	0 0.0
	無回答	2 0.6	1 0.3	0 0.0	4 2.6	7 4.3	0 0.0
下清戸	1丁目	6 1.7	21 6.3	1 2.4	1 0.7	9 5.6	0 0.0
	2丁目	3 0.8	2 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	3丁目	2 0.6	1 0.3	1 2.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	4丁目	2 0.6	2 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5丁目	2 0.6	1 0.3	0 0.0	2 1.3	1 0.6	0 0.0
	無回答	0 0.0	6 1.8	0 0.0	1 0.7	4 2.5	0 0.0

地区	丁目	1人暮らし	(配偶者65歳以上) 夫婦2人暮らし	(配偶者64歳以下) 夫婦2人暮らし	2世帯 息子・娘との	その他	無回答
元町	1丁目	9	13	2	3	5	0
		2.5	3.9	4.9	2.0	3.1	0.0
	2丁目	11	13	3	5	6	0
		3.1	3.9	7.3	3.3	3.7	0.0
無回答	5	4	0	2	3	0	
	1.4	1.2	0.0	1.3	1.9	0.0	
下宿	1丁目	19	7	0	3	3	0
		5.4	2.1	0.0	2.0	1.9	0.0
	2丁目	0	4	1	5	2	0
		0.0	1.2	2.4	3.3	1.2	0.0
3丁目	2	0	0	2	0	0	
	0.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	
無回答	2	2	0	3	1	0	
	0.6	0.6	0.0	2.0	0.6	0.0	
旭が丘	1丁目	2	2	0	1	0	0
		0.6	0.6	0.0	0.7	0.0	0.0
	2丁目	28	27	0	4	6	0
		7.9	8.1	0.0	2.6	3.7	0.0
	3丁目	1	1	0	0	3	0
		0.3	0.3	0.0	0.0	1.9	0.0
	4丁目	1	0	1	1	0	0
		0.3	0.0	2.4	0.7	0.0	0.0
5丁目	8	4	1	1	5	0	
	2.3	1.2	2.4	0.7	3.1	0.0	
6丁目	0	5	0	3	1	0	
	0.0	1.5	0.0	2.0	0.6	0.0	
無回答	8	1	0	1	1	0	
	2.3	0.3	0.0	0.7	0.6	0.0	
中里	1丁目	6	7	2	4	2	0
		1.7	2.1	4.9	2.6	1.2	0.0
	2丁目	6	5	0	1	1	0
		1.7	1.5	0.0	0.7	0.6	0.0
	3丁目	9	6	0	10	10	0
		2.5	1.8	0.0	6.6	6.2	0.0
	4丁目	13	11	2	3	6	0
		3.7	3.3	4.9	2.0	3.7	0.0
5丁目	9	11	1	4	2	0	
	2.5	3.3	2.4	2.6	1.2	0.0	
6丁目	14	13	0	1	8	1	
	4.0	3.9	0.0	0.7	5.0	3.3	
無回答	7	7	2	2	5	0	
	2.0	2.1	4.9	1.3	3.1	0.0	
野塩	1丁目	6	3	1	6	1	0
		1.7	0.9	2.4	4.0	0.6	0.0
	2丁目	14	5	0	1	2	1
		4.0	1.5	0.0	0.7	1.2	3.3
	3丁目	5	1	0	5	1	0
		1.4	0.3	0.0	3.3	0.6	0.0
	4丁目	4	1	1	1	0	0
		1.1	0.3	2.4	0.7	0.0	0.0
5丁目	7	4	0	5	4	1	
	2.0	1.2	0.0	3.3	2.5	3.3	
無回答	3	5	1	3	1	0	
	0.8	1.5	2.4	2.0	0.6	0.0	

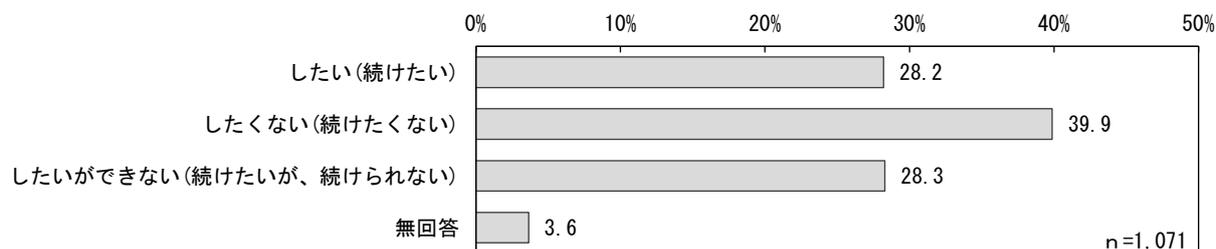
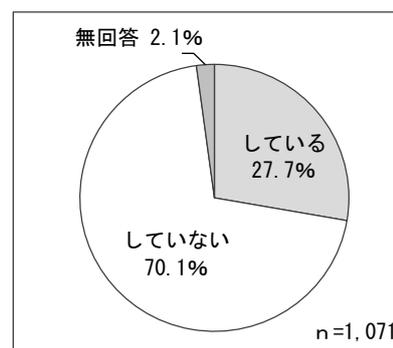
地区	丁目	1人暮らし	(配偶者65歳以上) 夫婦2人暮らし	(配偶者64歳以下) 夫婦2人暮らし	2世帯 息子・娘との	その他	無回答
松山	1丁目	17	8	3	10	5	0
		4.8	2.4	7.3	6.6	3.1	0.0
	2丁目	15	12	1	5	3	0
		4.2	3.6	2.4	3.3	1.9	0.0
	3丁目	7	6	2	2	5	0
2.0		1.8	4.9	1.3	3.1	0.0	
無回答	1	1	0	0	1	1	
		0.3	0.3	0.0	0.0	0.6	3.3
竹丘	1丁目	18	18	2	5	4	1
		5.1	5.4	4.9	3.3	2.5	3.3
	2丁目	23	14	1	3	7	0
		6.5	4.2	2.4	2.0	4.3	0.0
	3丁目	4	10	1	2	6	0
1.1		3.0	2.4	1.3	3.7	0.0	
無回答	2	2	0	2	0	0	
		0.6	0.6	0.0	1.3	0.0	0.0
梅園	1丁目	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2丁目	2	4	1	2	1	2
		0.6	1.2	2.4	1.3	0.6	6.7
	3丁目	6	6	1	2	3	2
1.7		1.8	2.4	1.3	1.9	6.7	
無回答	1	1	0	1	0	0	
		0.3	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0
無回答		1	0	0	1	2	18.0
		0.3	0.0	0.0	0.7	1.2	60.0
合計		354	334	41	151	161	30
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問4(2) あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

問4(3) あなたは、今後、収入のある仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに○)

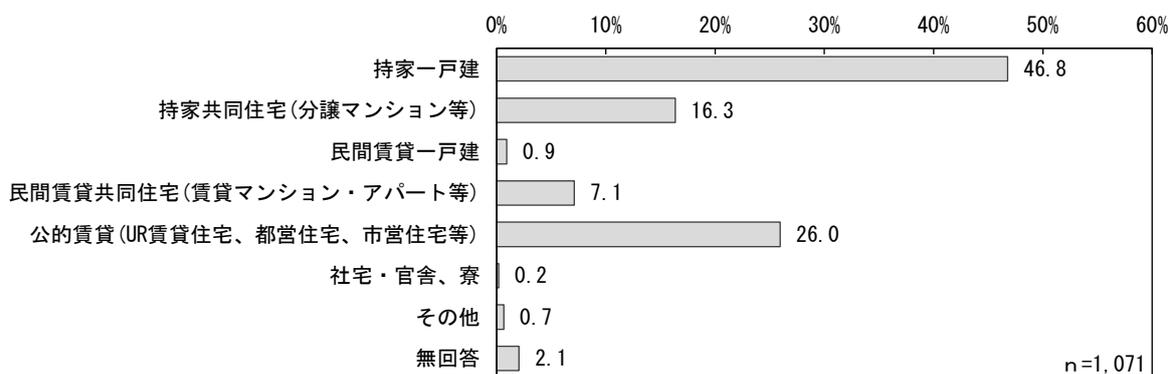
現在、収入のある仕事を「している」は27.7%、「していない」は70.1%となっています。

また、今後、収入のある仕事をしたい(続けたい)かでは、「収入のある仕事をしたくない(続けたくない)」が39.9%と最も多く、「したいができない(続けたいが、続けられない)」が28.3%、「したい(続けたい)」が28.2%となっています。



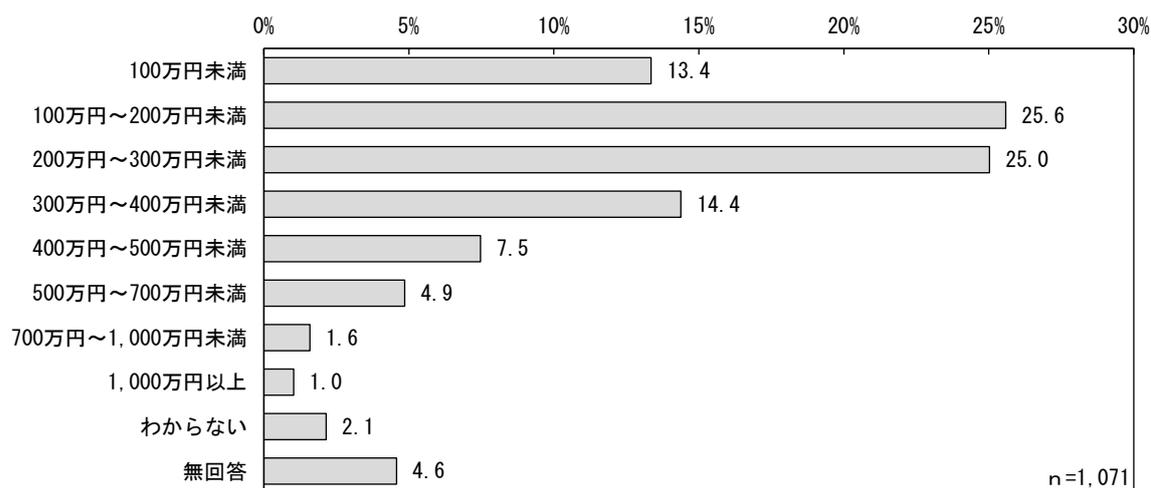
問4（4）お住まいの住宅の種類について教えてください。（1つに○）

住まいの住宅の種類は、「持家一戸建」が46.8%と最も多く、次いで「公的賃貸（UR賃貸住宅、都営住宅、市営住宅等）」が26.0%、「持家共同住宅（分譲マンション等）」が16.3%、「民間賃貸共同住宅（賃貸マンション・アパート等）」が7.1%となっています。



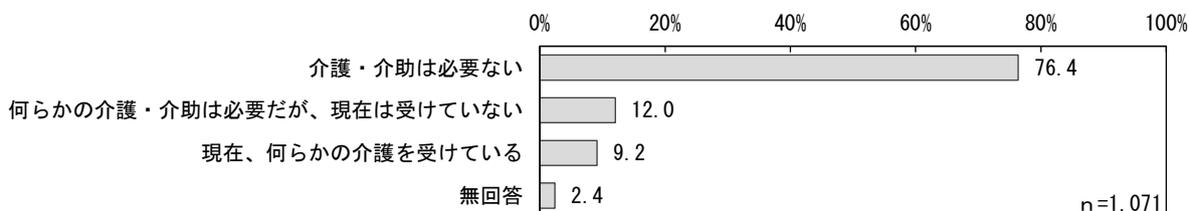
問4（5）あなたの年収額（年金、給料、仕送りなどすべて含み、配偶者がいる場合は、配偶者の収入も含みます。）は合計でおいくらぐらいですか。（1つに○）

年収額は、「100万円～200万円未満」が25.6%と最も多く、次いで「200万円～300万円未満」が25.0%、「300万円～400万円未満」が14.4%、「100万円未満」が13.4%となっています。



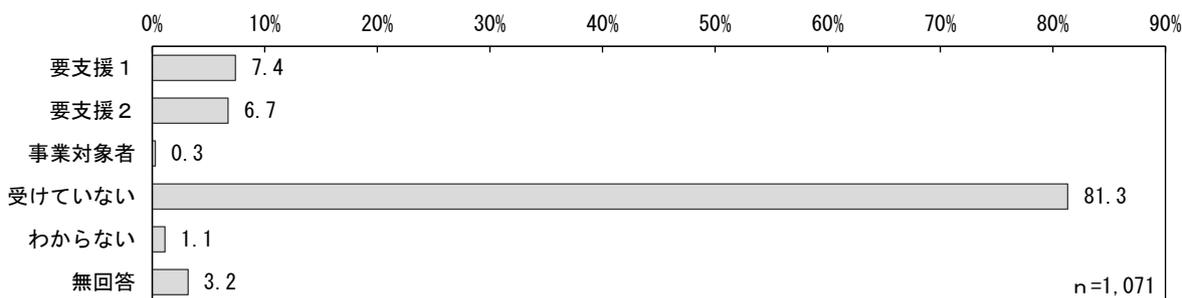
問4（6）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに○）

普段の生活での介護・介助の必要性では、「介護・介助は必要ない」が76.4%と最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.0%、「現在、何らかの介護を受けている」が9.2%となっています。



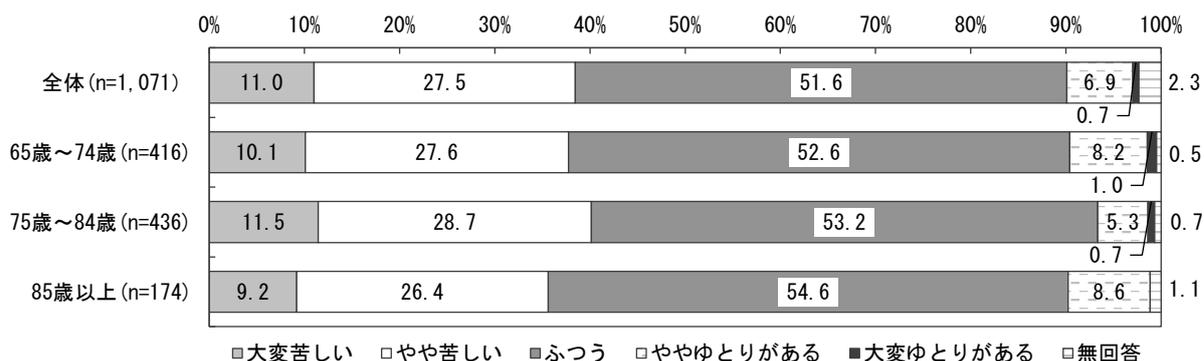
問4（7）あなたは、要支援認定等を受けていますか。（1つに○）

要支援認定等を受けているかについては、「受けていない」が81.3%、「要支援1」が7.4%、「要支援2」が6.7%、事業対象者が0.3%となっています。

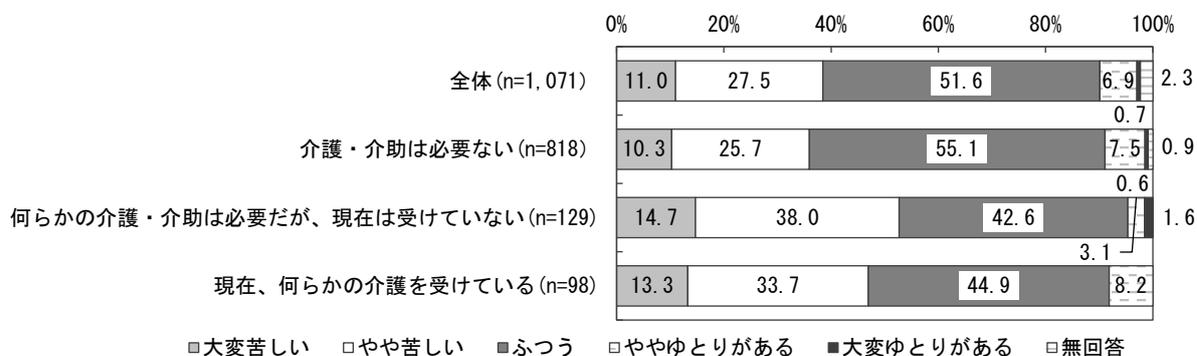


問4（8）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つに○）

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについて、「ふつう」と回答した方の割合が51.6%、「やや苦しい」が27.5%、「大変苦しい」が11.0%でした。なお、年齢別では、各回答の割合に大きな差が見られませんでした。



次に、現在の暮らしの状況と介護・介助の状況を見ると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計した『苦しい』の割合は、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」方が52.7%と最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」方が47.0%、「介護・介助は必要ない」方が36.0%となっています。



2. 日常生活について

問5 からだを動かすことについて

結果のポイント

国の手引きによる機能別リスク該当者の割合を算出した結果、運動器の機能低下リスク該当者は、現在何らかの介護を受けている方で約60%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で約40%、介護・介助が必要ない方で約10%となっています。

また、閉じこもりのリスク該当者は、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在何らかの介護を受けている方で30%弱、介護・介助が必要ない方で10%程度となっています。

転倒リスクは、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在何らかの介護を受けている方で約50%、介護・介助が必要ない方で約25%となっています。

機能別リスク該当者割合の算出

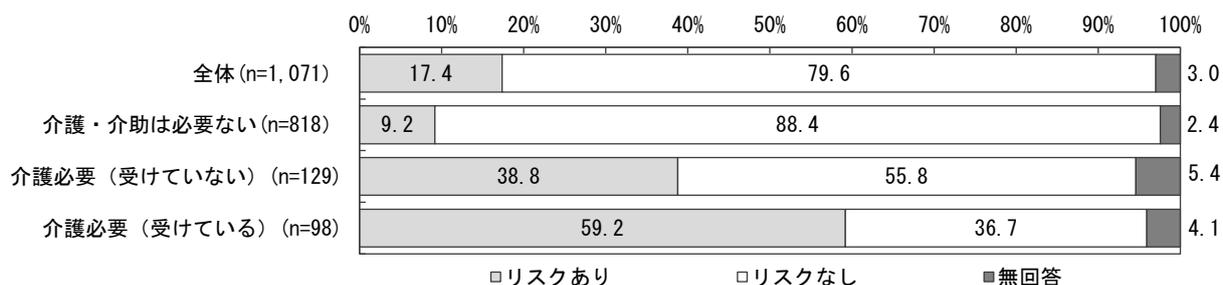
(1) 運動器

【判定基準：以下の5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体の17.4%、介護・介助の必要がない方の9.2%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の38.8%、現在何らかの介護を受けている方の59.2%が、運動器の機能低下リスク該当者となっています。



注) 選択肢が長いものについては、グラフ上において簡略化して表現しています。(以下、同じ)

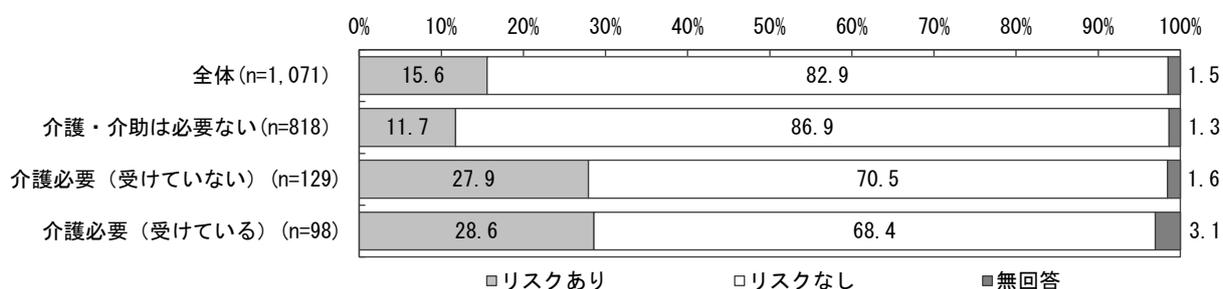
(2) 閉じこもり

【判定基準：以下の項目に該当する人を閉じこもりリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体の15.6%、介護・介助の必要がない方の11.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の27.9%、現在何らかの介護を受けている方の28.6%が、閉じこもりのリスク該当者となっています。



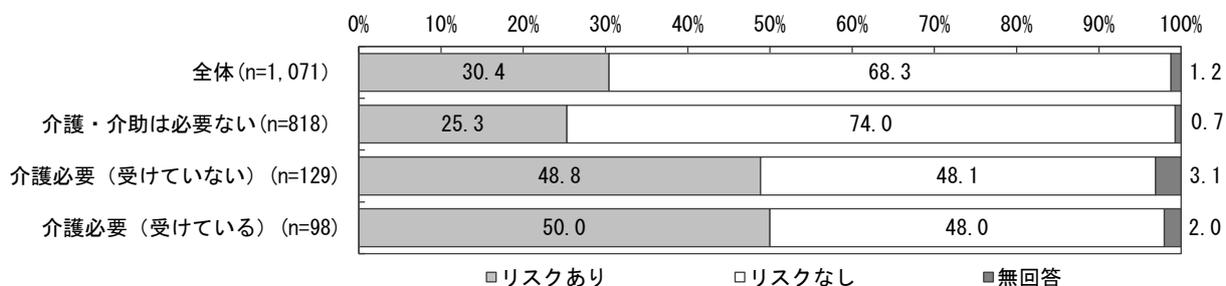
(3) 転倒

【判定基準：以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体の30.4%、介護・介助の必要がない方の25.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の48.8%、現在何らかの介護を受けている方の50.0%が、転倒のリスク該当者となっています。

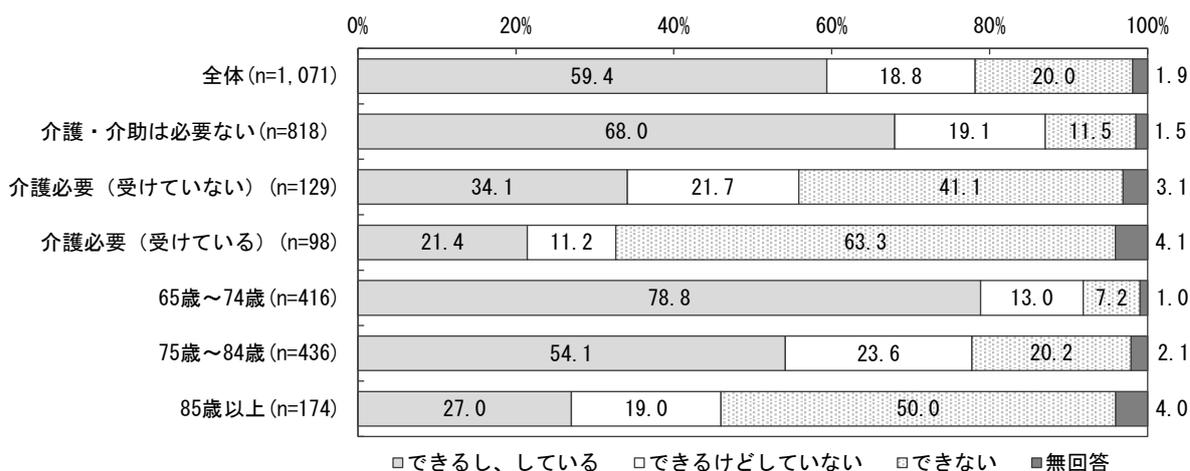


問5（1）階段を手すりや壁をつたわず昇っていますか。（1つに○）

階段を手すりや壁をつたわず昇っているかについて、全体では「できるし、している」が59.4%と最も多く、「できるけどしていない」が18.8%、「できない」が20.0%となっています。

介護・介助の必要性別の「できない」の割合をみると、現在何らかの介護を受けている方が63.3%と最も多く、次いで、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が41.1%、介護・介助は必要ない方が11.5%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「できない」の割合が多くなっています。

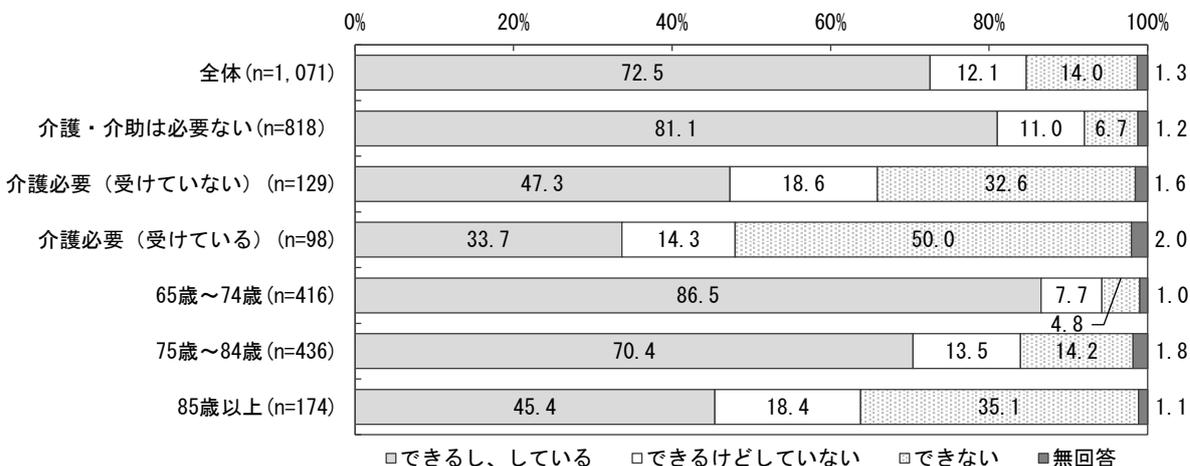


問5（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つに○）

椅子に座った状態からの立ち上がりについて、全体では「できるし、している」が72.5%と最も多く、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が14.0%となっています。

介護・介助の必要性別の「できない」の割合をみると、現在何らかの介護を受けている方が50.0%と最も多く、次いで、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が32.6%、介護・介助は必要ない方が6.7%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「できない」の割合が多くなっています。

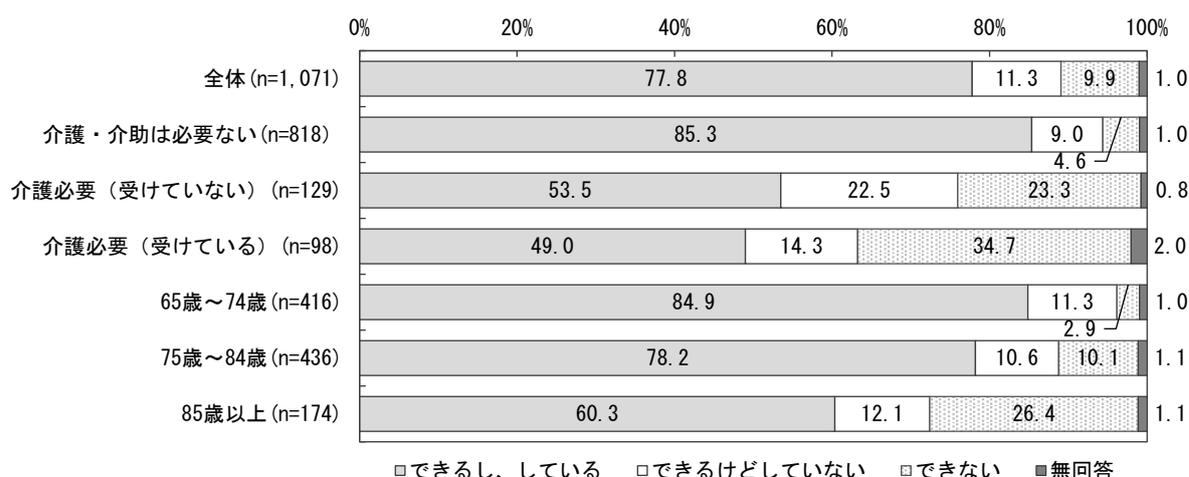


問5（3）15分位続けて歩いていますか。（1つに○）

15分位続けて歩いているかについて、全体では「できるし、している」が77.8%と最も多く、「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が9.9%となっています。

介護・介助の必要性別の「できない」の割合をみると、現在何らかの介護を受けている方が34.7%と最も多く、次いで、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が23.3%、介護・介助は必要ない方が4.6%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「できない」の割合が多くなっています。

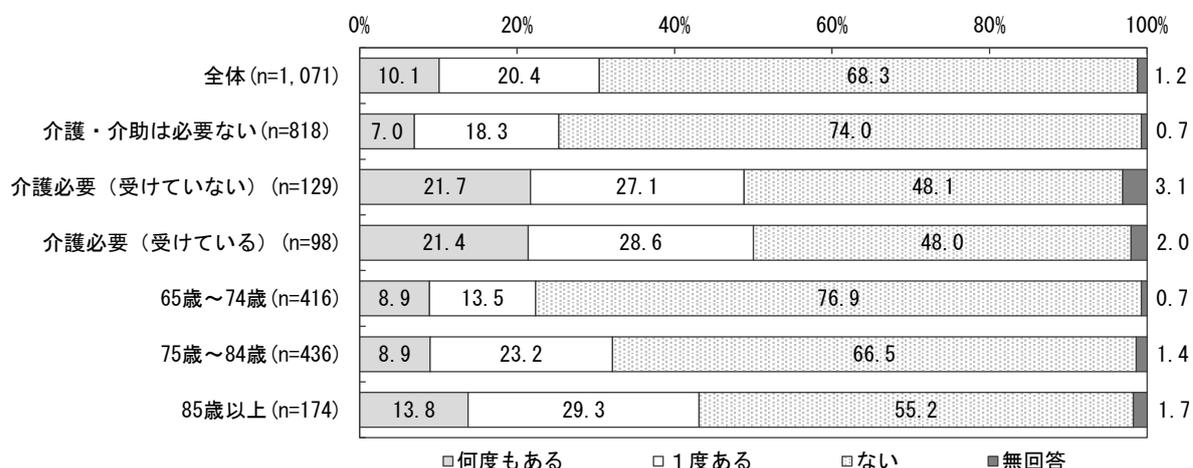


問5（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つに○）

過去1年間の転んだ経験について、全体では「ない」が68.3%と最も多く、「1度ある」が20.4%、「何度もある」が10.1%となっています。

介護・介助の必要性別の「何度もある」の割合をみると、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が21.7%と最も多く、次いで、現在何らかの介護を受けている方が21.4%、介護・介助は必要ない方が7.0%となっています。

年齢別では、85歳以上で「何度もある」の割合が多くなっています。

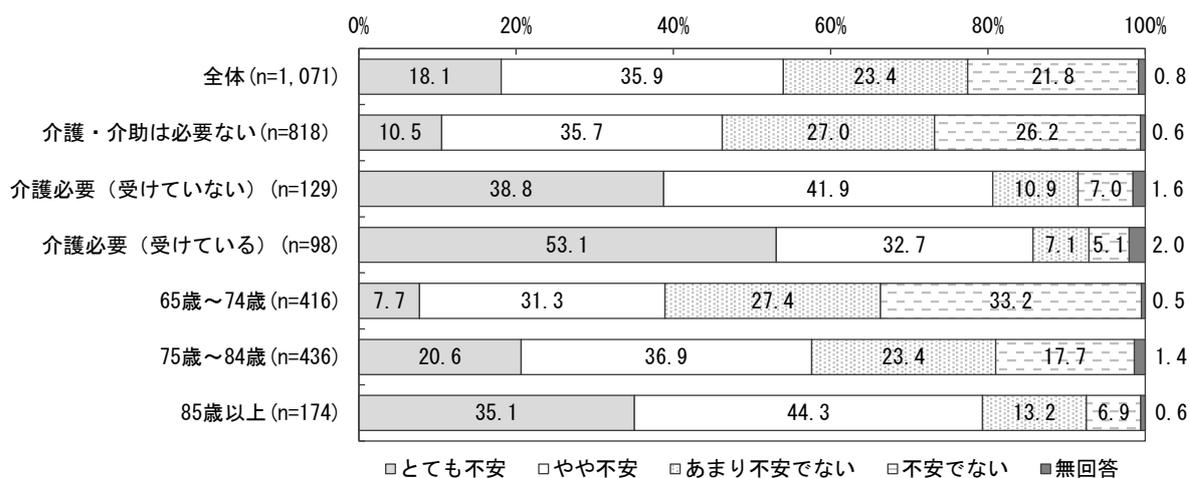


問5 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

転倒に対する不安について、全体では「やや不安」が35.9%と最も多く、「あまり不安でない」が23.4%、「不安でない」が21.8%、「とても不安」が18.1%となっています。

介護・介助の必要性別の「とても不安」の割合をみると、現在何らかの介護を受けている方が53.1%と最も多く、次いで、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が38.8%、介護・介助は必要ない方が10.5%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「とても不安」の割合が多くなっています。

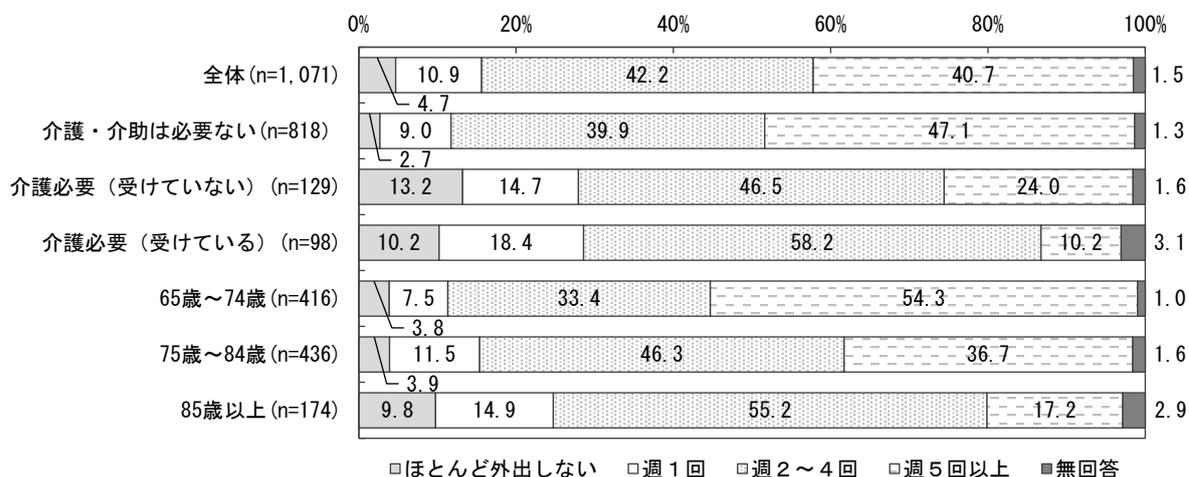


問5 (6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

週に1回以上の外出について、全体では「週2～4回」が42.2%と最も多く、「週5回以上」が40.7%、「週1回」が10.9%、「ほとんど外出しない」が4.7%となっています。

介護・介助の必要性別の「ほとんど外出しない」の割合をみると、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が13.2%と最も多く、次いで、現在何らかの介護を受けている方が10.2%、介護・介助は必要ない方が2.7%となっています。

年齢別では、85歳以上の方で「ほとんど外出しない」の割合が多くなっています。

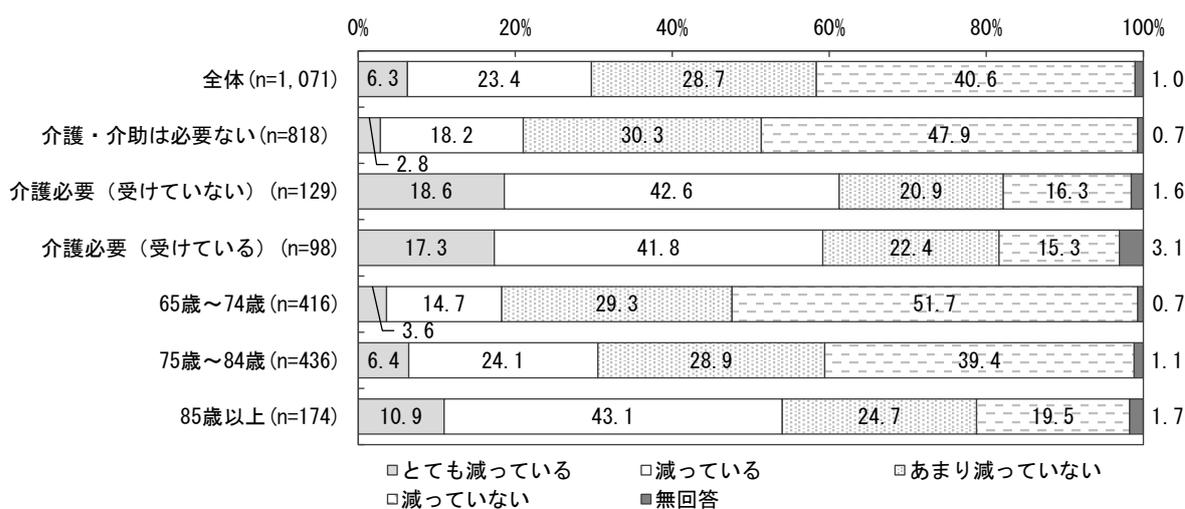


問5（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）

昨年と比べて外出の回数について、全体では「減っていない」が40.6%と最も多く、「あまり減っていない」が28.7%、「減っている」が23.4%、「とても減っている」が6.3%となっています。

介護・介助の必要性別の「とても減っている」の割合をみると、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方が18.6%と最も多く、次いで、現在何らかの介護を受けている方が17.3%、介護・介助は必要ない方が2.8%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「とても減っている」の割合が多くなっています。



問6 食べることについて

結果のポイント

国の手引きによる機能別リスク該当者の割合を算出した結果、口腔機能低下のリスク該当者は、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在何らかの介護を受けている方で、概ね4割～5割弱となっています。

男女別のBMI（平均）は、女性よりも男性のほうが高く、女性の「肥満ぎみ」が15.3%に対し、男性の「肥満ぎみ」が22.6%となっています。一方、「やせぎみ」の割合は、男性よりも女性のほうが多く、男性が5.3%であるのに対し、女性は10.6%となっています。

どなたかと食事をとる機会があるかについて、「ほとんどない」と回答した割合は、女性が8.9%であるのに対し、男性が12.1%と高くなっており、同居世帯が10%未満であるのに対し、1人暮らしでは18.6%となっています。

機能別リスク該当者割合の算出

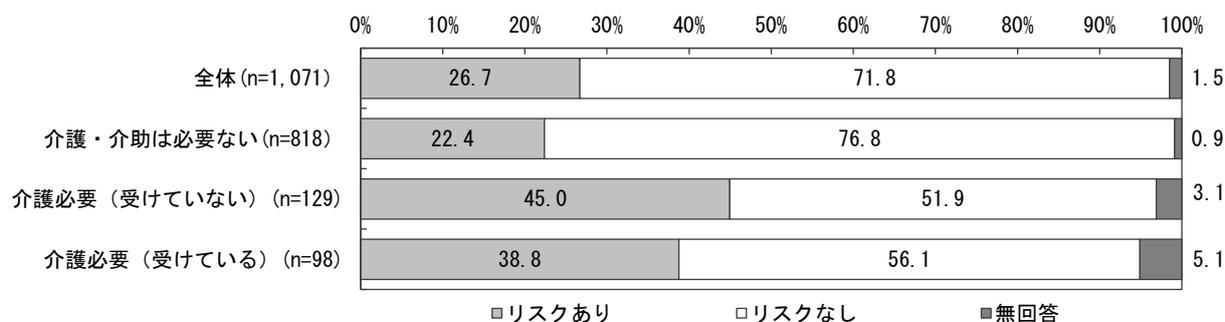
(1) 口腔

【判定基準：以下の3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体の26.7%、介護・介助の必要がない方の22.4%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の45.0%、現在何らかの介護を受けている方の38.8%の方が口腔のリスク該当者となっています。



問6（1）あなた（あて名のご本人）の身長と体重をお教えてください。（記述式）

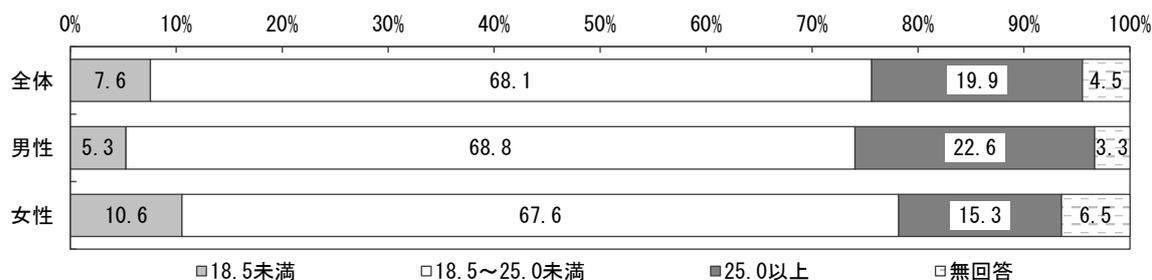
身長と体重から算出されるBMIは、全体では「普通（18.5以上～25未満）」が68.1%と最も多く、次いで「肥満（25以上）」が19.9%、「やせぎみ（18.5未満）」が7.6%となっています。

■ 男女別平均身長・体重・BMI

	身長 (平均)	体重 (平均)	BMI (平均)
全体(n=1,071)	159.7cm	58.1kg	22.7
男性(n=628)	165.2cm	62.9kg	23.0
女性(n=417)	151.1cm	50.7kg	22.2

男女別でみると、男性は、「普通（18.5以上～25未満）」が68.8%、「肥満（25以上）」が22.6%、「やせぎみ（18.5未満）」が5.3%、女性は、「普通（18.5以上～25未満）」が67.6%、「肥満（25以上）」が15.3%、「やせぎみ（18.5未満）」が10.6%となっており、女性よりも男性の方が「肥満」の割合が多く、男性よりも女性のほうが「やせぎみ」の割合が多くなっています。

なお、男女別の身長・体重・BMIの平均値は、上表のとおりとなっています。



BMIは、身長と体重から算出される肥満度を表す体格指数です。

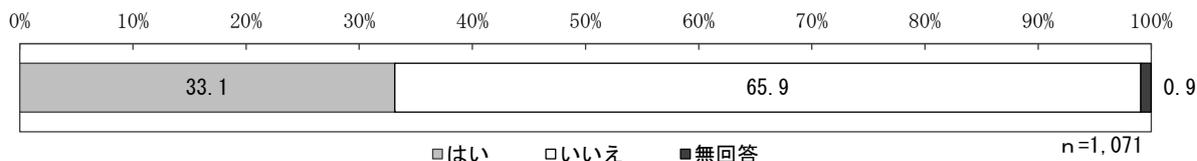
$$BMI = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

例：身長160cm、体重70kgの方 = $70\text{kg} \div (1.6 \times 1.6) = 27.3$ (肥満)

※ BMIが18.5未満 やせぎみ (低体重)
 18.5～25.0未満 普通
 25.0以上 肥満

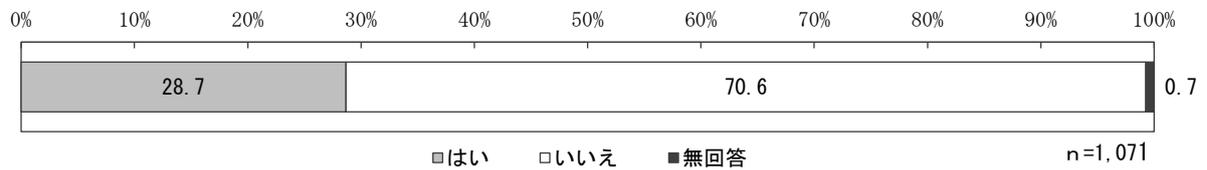
問6（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（1つに○）

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が33.1%、「いいえ」が65.9%となっており、「はい」に比べて「いいえ」の割合が32.8%多くなっています。



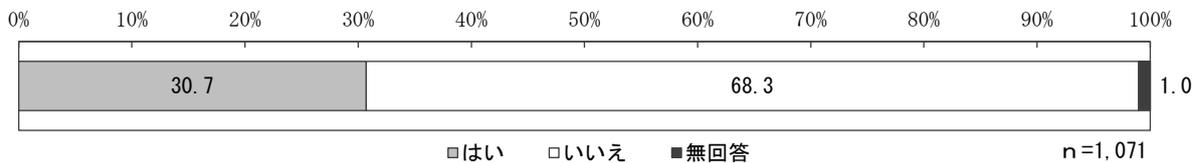
問6（3）お茶や汁物等でむせることがありますか。（1つに○）

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が28.7%、「いいえ」が70.6%となっており、「はい」に比べて「いいえ」の割合が41.9%多くなっています。



問6（4）口の渇きが気になりますか。（1つに○）

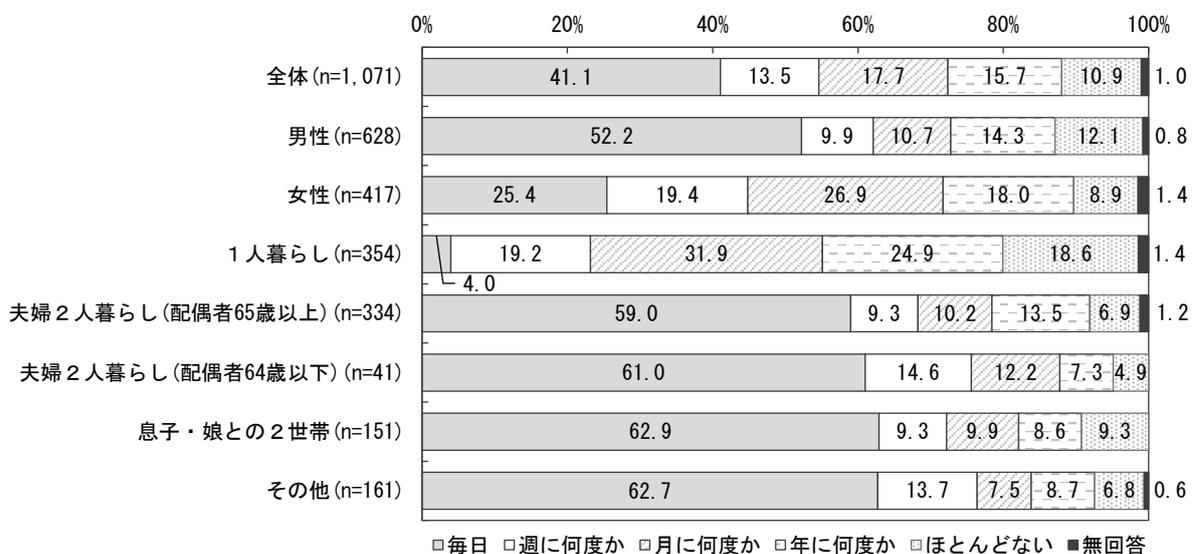
口の渇きが気になるかについては、「はい」が30.7%、「いいえ」が68.3%となっており、「はい」に比べて「いいえ」の割合が37.6%多くなっています。



問6（5）どなたかと食事をとにもする機会がありますか。（1つに○）

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、全体では「毎日」が41.1%と最も多く、次いで「月に何度か」が17.7%となっています。

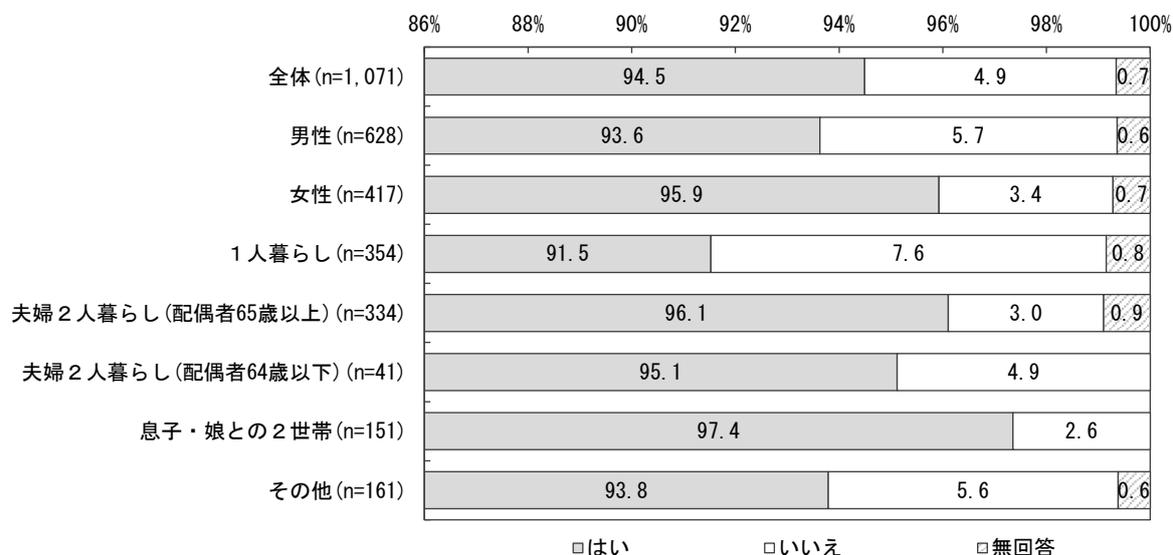
どなたかと食事をとにもする機会が「ほとんどない」の割合について男女別でみると、女性が8.9%であるのに対し、男性が12.1%となっており、家族構成別では同居世帯が10%未満であるのに対し、1人暮らしでは18.6%となっています。



問6（6）朝食を食べていますか。（1つに○）

朝食について、全体では94.5%の人が食べていますが、4.9%の人が食べていない状況です。

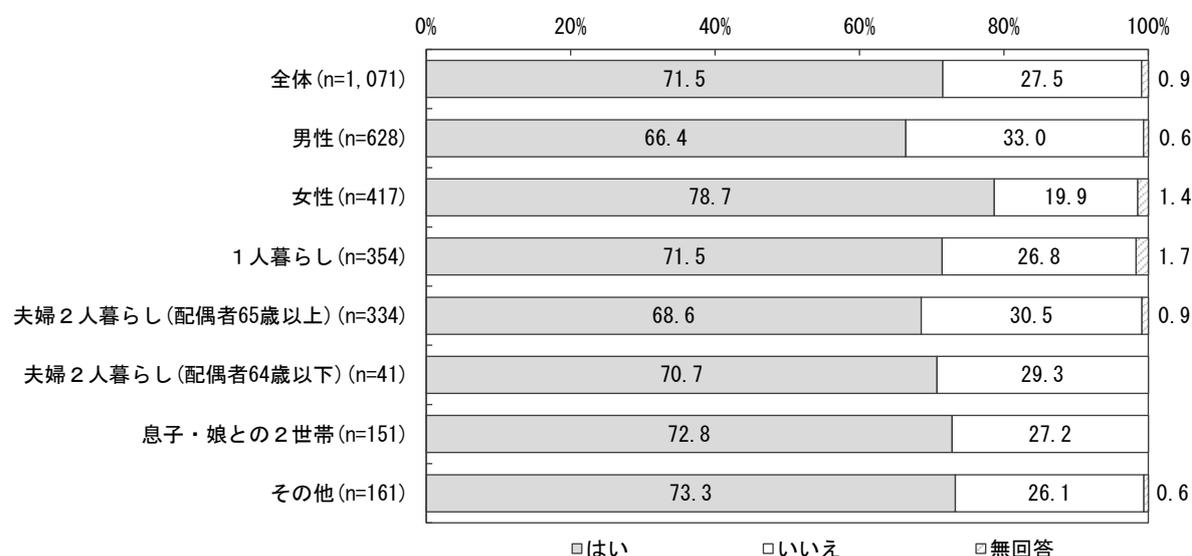
朝食を食べているかについて、「いいえ」と回答した方の割合を男女別で見ると、女性が3.4%であるのに対し、男性が5.7%となっており、家族構成別では1人暮らしが7.6%と最も多くなっています。



問6（7）食事はゆっくりよく噛んで食べていますか。（1つに○）

食事をゆっくりよく噛んで食べているかについて、全体では「はい」が71.5%、「いいえ」が27.5%となっています。

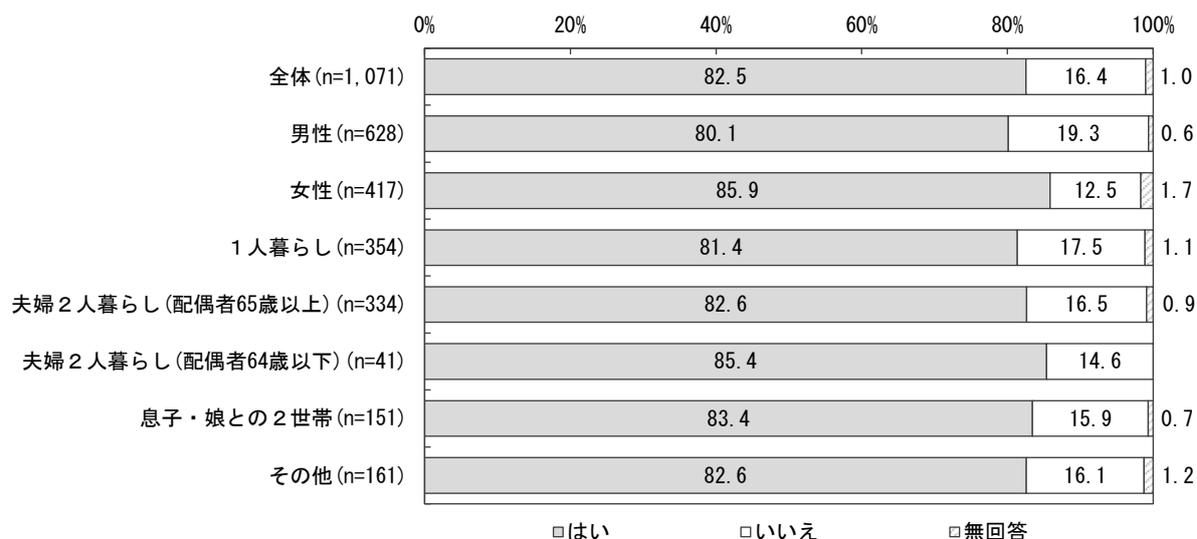
食事をゆっくりよく噛んで食べているかについて、「いいえ」と回答した方の割合を男女別で見ると、女性が19.9%であるのに対し、男性が33.0%となっており、家族構成別では夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が30.5%と最も多くなっています。



問6（8）普段から食事に気をつけていますか。（1つに○）

普段から食事に気をつけているかについて、全体では「はい」が82.5%、「いいえ」が16.4%となっています。

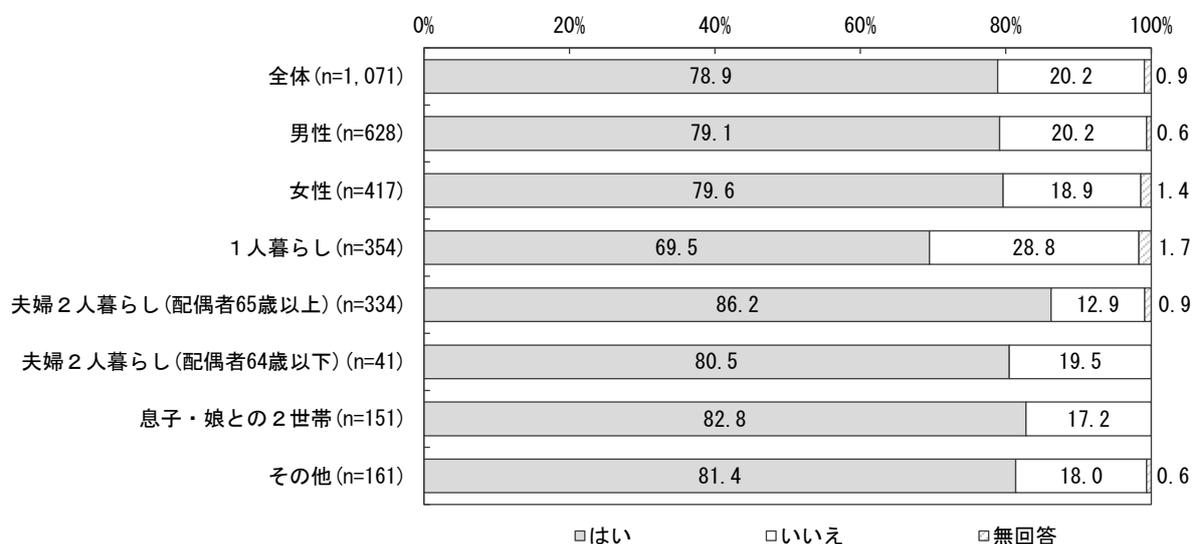
普段から食事に気をつけているかについて、「いいえ」と回答した方の割合を男女別でみると、女性が12.5%であるのに対し、男性が19.3%となっており、家族構成別では1人暮らしでの割合が多くなっています。



問6（9）主食・主菜・副菜をそろえた食事が1日2回以上ありますか。（1つに○）

主食・主菜・副菜をそろえた食事が1日2回以上あるかについて、全体では「はい」が78.9%、「いいえ」が20.2%となっています。

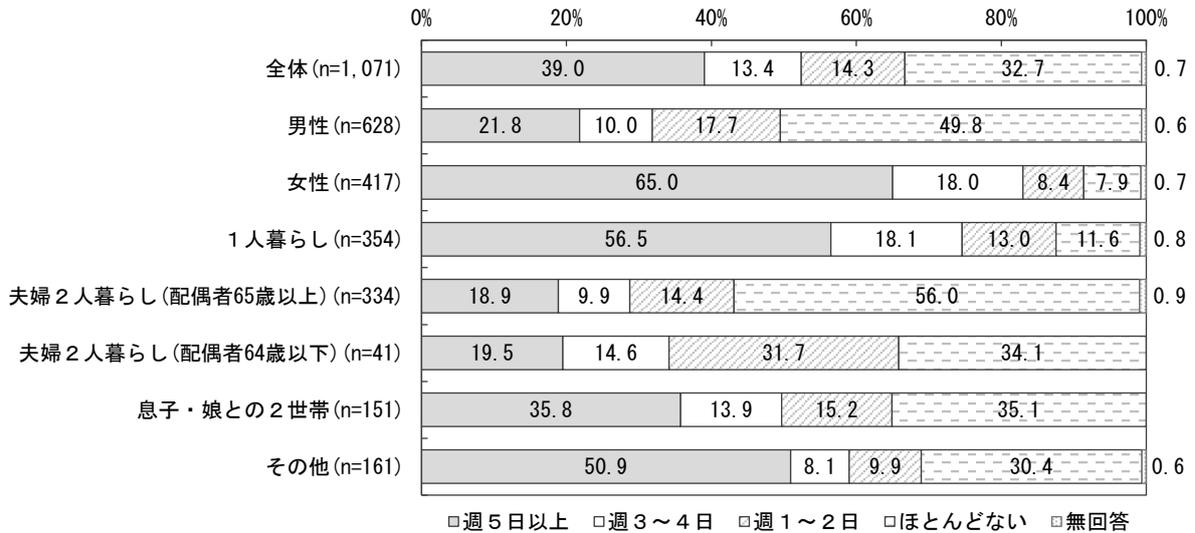
主食・主菜・副菜をそろえた食事が1日2回以上あるかについて、「いいえ」と回答した方の割合を男女別でみると、女性が18.9%であるのに対し、男性が20.2%となっており、家族構成別では1人暮らしでの割合が多くなっています。



問6 (10) 普段、調理をしていますか。(1つに○)

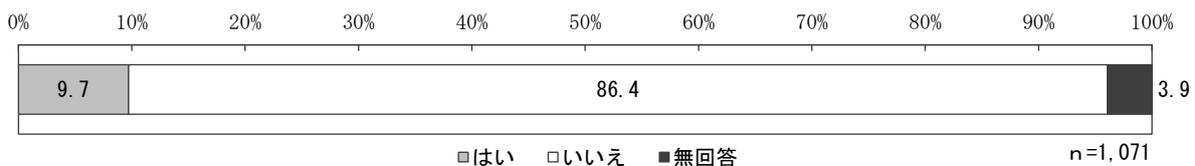
普段、調理をしているかについて、全体では「週5日以上」が39.0%と最も多く、次いで「ほとんどない」が32.7%、「週1～2日」が14.3%、「週3～4日」が13.4%となっています。

「ほとんどない」と回答した方の割合を男女別でみると、女性が7.9%であるのに対し、男性が49.8%となっており、家族構成別では夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)が56.0%と最も多くなっています。



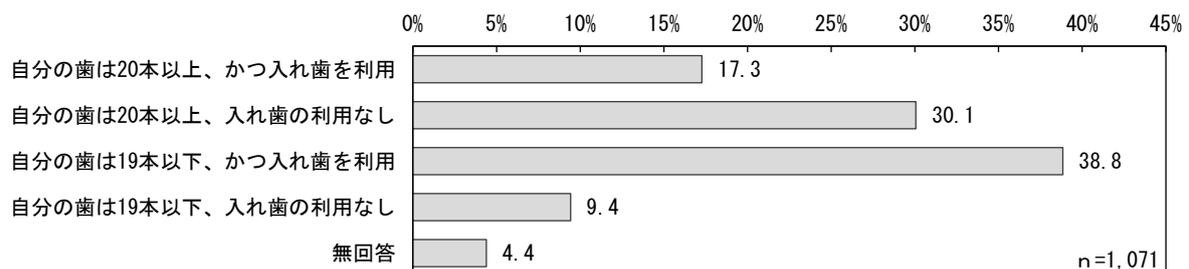
問6 (11) 「スマイルケア食」を知っていますか。(1つに○)

「スマイルケア食」について、知っている方は9.7%であり、86.4%の方が知らないと回答しています。



問6 (12) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.8%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.1%となっています。



問7 毎日の生活について

結果のポイント

国の手引きによる機能別リスク該当者の割合を算出した結果、認知機能のリスク該当者は、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方、現在何らかの介護を受けている方ともに60%程度であり、介護・介助が必要ない方で40%程度となっています。

趣味や生きがいについて、「ある」と回答された割合は、趣味で約70%、生きがいでは約50%となっており、趣味の内容では、「読書」「手芸（裁縫・編み物・刺繍等）」が多く、生きがいの内容では、「孫、孫の成長」「仕事」「旅行」が多くなっています。

機能別リスク該当者割合の算出

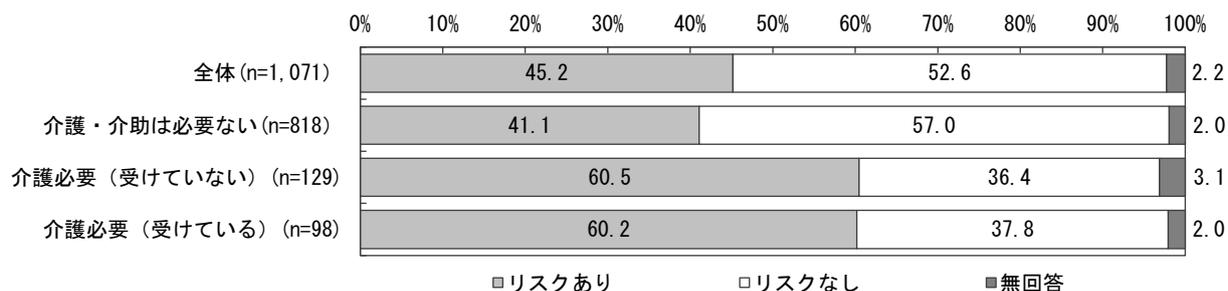
(1) 認知機能

【判定基準：以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体の45.2%、介護・介助の必要がない方の41.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の60.5%、現在何らかの介護を受けている方の60.2%の方が認知機能のリスク該当者となっています。



(2) 手段的自立度 (IADL)

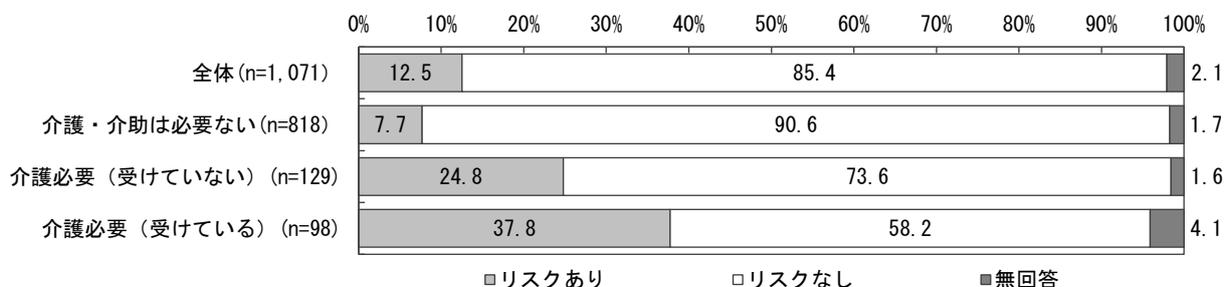
【判定基準：以下の設問において「1」又は「2」を回答した場合を1点として5点満点で評価】

問番号	設問	該当する選択肢
(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
(4)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
(5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点

※5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価し、4点以下を手段的自立度 (IADL) の低下者と評価 (老研式活動能力指標)

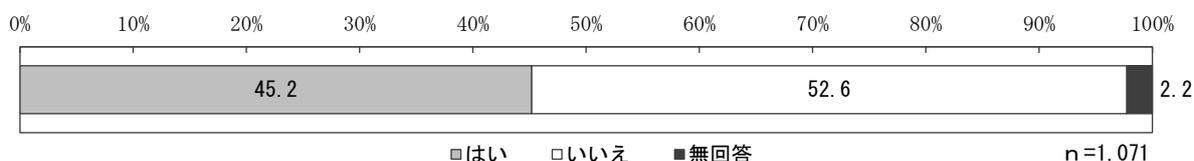
【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく手段的自立度 (IADL) の評価結果をみると、全体の12.5%、介護・介助の必要がない方の7.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の24.8%、現在何らかの介護を受けている方の37.8%の方が手段的自立度 (IADL) のリスク該当者となっています。



問7 (1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が45.2%、「いいえ」が52.6%となっており、「はい」に比べて「いいえ」の割合が7.4%多くなっています。



問7（2）バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）（1つに○）

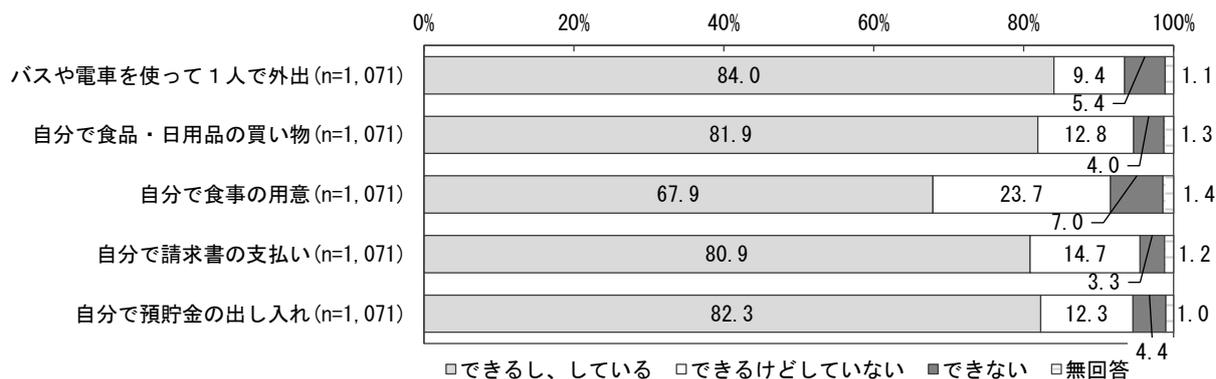
問7（3）自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つに○）

問7（4）自分で食事の用意をしていますか。（1つに○）

問7（5）自分で請求書の支払いをしていますか。（1つに○）

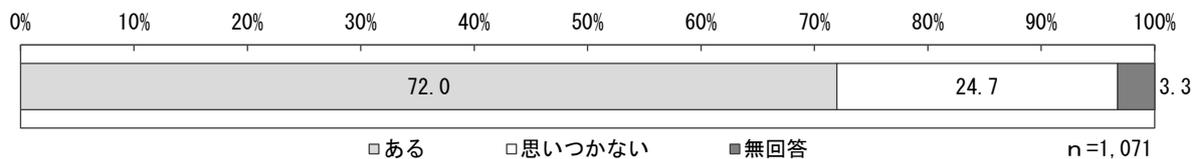
問7（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（1つに○）

バスや電車を使って1人で外出することについて、『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた割合）（※以下、同じ）が93.4%、「できない」が5.4%となっており、自分で食品・日用品の買い物が『できる』が94.7%、「できない」が4.0%となっています。同様に、自分で食事の用意が『できる』は91.6%、「できない」が7.0%、自分で請求書の支払いが『できる』は95.6%、「できない」が3.3%、自分で預貯金の出し入れが『できる』は94.6%、「できない」が4.4%となっています。



問7（7）趣味はありますか。（1つに○）及び（記述式）

趣味の有無では、「ある」が72.0%、「思いつかない」が24.7%となっており、趣味の内容では、「読書」「手芸（裁縫・編み物・刺繍等）」が上位を占めています。



■ 趣味の内容（上位10位）

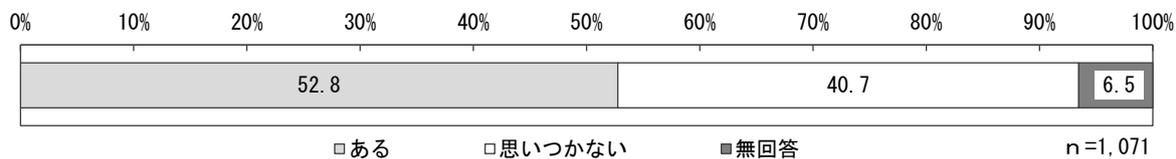
単位：%

順位	内容	回答率	順位	内容	回答率
1	読書	14.0	6	園芸	7.5
2	手芸（裁縫・編み物・刺繍等）	11.7	7	スポーツ（観戦含む）	5.9
3	ゴルフ	8.9	8	旅行	5.4
4	音楽（楽器演奏、音楽鑑賞等）	8.8	9	散歩、ウォーキング	5.3
5	カラオケ	7.8	10	釣り	4.3

n=716

問7（8）生きがいはありますか。（1つに○）及び（記述式）

生きがいの有無では、「ある」が52.8%、「思いつかない」が40.7%となっており、生きがいの内容では、「孫、孫の成長」「仕事」「旅行」が上位を占めています。



■ 生きがいの内容（上位 10 位）

単位：%

順位	内容	回答率	順位	内容	回答率
1	孫、孫の成長	27.8	6	スポーツ（観戦含む）	9.4
2	仕事	12.9	7	子ども（息子・娘）	8.1
3	旅行	11.3	8	家族	7.3
4	友人	9.7	9	健康	7.3
5	趣味	9.7	10	毎日の生活	5.5

n=381

3. 地域とのつながり等について

問8 地域での活動について

結果のポイント

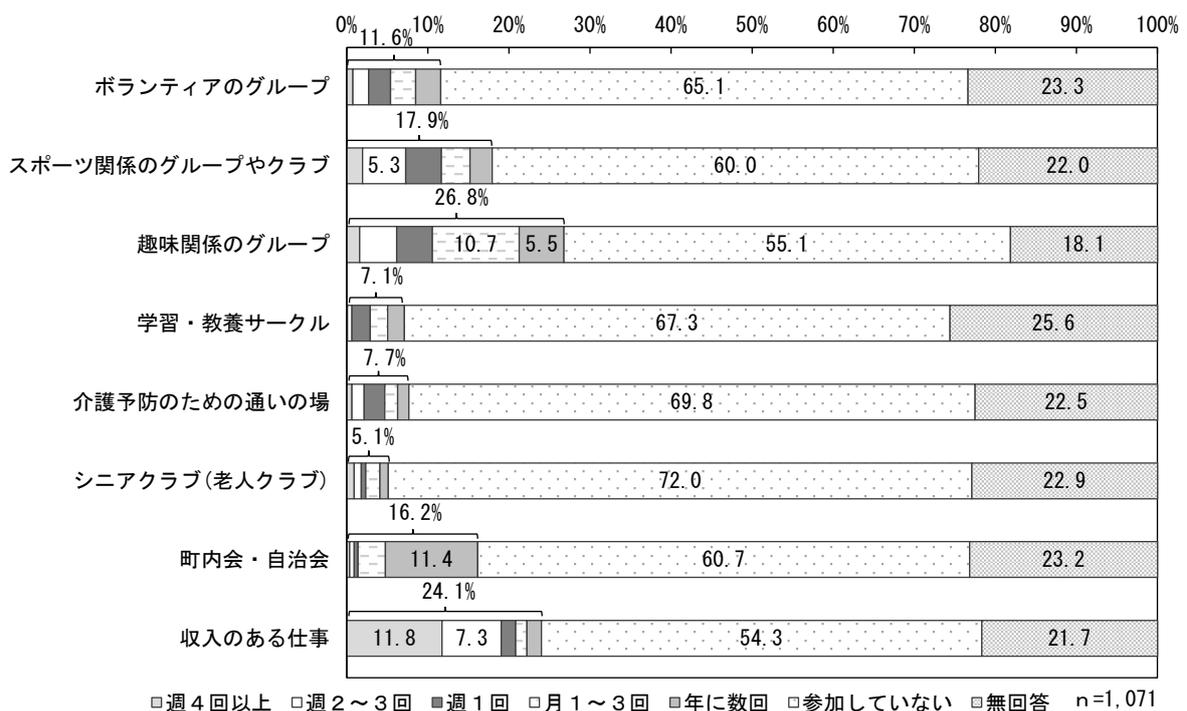
地域活動への参加頻度では、「趣味関係のグループ」、「収入のある仕事」、「スポーツ関係のグループやクラブ」で多くなっており、参加者としての参加意向は50%を超えている一方、既に参加している割合は5%程度にとどまっています。

また、地域活動に取り組むきっかけとしては、「関心・興味がある活動であれば（参加する）」、「活動拠点が身近であれば（参加する）」、「時間に余裕があれば（参加する）」といった回答が多くなっています。

地域活動への参加意向（※ここでは、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた割合と定義します。）について、参加者もしくは企画・運営（お世話役）者としての参加意向を比較すると、企画・運営（お世話役）者としての参加意向は、参加者としての参加意向よりも約20%少なくなっています。

問8（1） 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。（それぞれ1つに○）

地域活動への参加頻度をみると、『参加している』（※ここでは、「年に数回」～「週4回以上」までの合計割合と定義します。）割合は、「趣味関係のグループ」が26.8%と最も多く、次いで「収入のある仕事」が24.1%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が17.9%、「町内会・自治会」が16.2%となっています。



問8 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

地域活動への参加者としての参加意向について、全体では、「参加してもよい」が46.3%と最も多く、次いで「参加したくない」が35.1%、「是非参加したい」が7.3%となっています。

地区別の参加意向をみると、「是非参加したい」では、梅園地区が14.3%と最も多く、次いで松山地区が9.5%となっています。同様に、「参加してもよい」では、梅園地区が57.1%と最も多く、次いで、上清戸地区が54.8%、「参加したくない」では、中清戸地区が40.5%と最も多く、次いで、中里地区が38.7%となっています。

	回答者 (人・%)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	1,071	78	496	376	56	65
	100.0	7.3	46.3	35.1	5.2	6.1
上清戸	62	1	34	22	3	2
	100.0	1.6	54.8	35.5	4.8	3.2
中清戸	111	9	49	45	2	6
	100.0	8.1	44.1	40.5	1.8	5.4
下清戸	70	6	31	25	6	2
	100.0	8.6	44.3	35.7	8.6	2.9
元町	84	3	40	31	6	4
	100.0	3.6	47.6	36.9	7.1	4.8
下宿	56	5	24	17	4	6
	100.0	8.9	42.9	30.4	7.1	10.7
旭が丘	117	7	51	44	5	10
	100.0	6.0	43.6	37.6	4.3	8.5
中里	191	14	80	74	11	12
	100.0	7.3	41.9	38.7	5.8	6.3
野塩	93	5	42	30	9	7
	100.0	5.4	45.2	32.3	9.7	7.5
松山	105	10	51	34	2	8
	100.0	9.5	48.6	32.4	1.9	7.6
竹丘	125	10	65	38	6	6
	100.0	8.0	52.0	30.4	4.8	4.8
梅園	35	5	20	10	0	0
	100.0	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0

問8 (3) どのようなきっかけがあれば、地域活動に取り組もうと思いますか。すでに参加している活動がある方は地域活動を増やすきっかけはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

地域活動に参加するきっかけについては、全体及び地区別においても、「関心・興味がある活動であれば(参加する)」が最も多く、次いで「活動拠点が身近であれば(参加する)」、「時間に余裕があれば(参加する)」の割合が多くなっている一方、旭が丘地区及び中里地区では、「関心がない」の割合についても多くなっています。

	回答者 (人・%)	紹介があれば	時間に余裕があれば	知り合いがいれば	関心・興味がある活動であれば	活動拠点が身近であれば	体調がよくなったら	既に参加しており、現状で満足している	その他	関心がない	無回答
全体	1,071	112	233	156	451	235	124	77	61	187	74
	100.0	10.5	21.8	14.6	42.1	21.9	11.6	7.2	5.7	17.5	6.9
上清戸	62	9	14	14	24	16	6	2	2	9	4
	100.0	14.5	22.6	22.6	38.7	25.8	9.7	3.2	3.2	14.5	6.5
中清戸	111	13	26	12	47	21	11	6	5	19	11
	100.0	11.7	23.4	10.8	42.3	18.9	9.9	5.4	4.5	17.1	9.9
下清戸	70	5	21	11	31	13	5	4	4	15	2
	100.0	7.1	30.0	15.7	44.3	18.6	7.1	5.7	5.7	21.4	2.9
元町	84	8	20	14	34	17	8	10	5	16	4
	100.0	9.5	23.8	16.7	40.5	20.2	9.5	11.9	6.0	19.0	4.8
下宿	56	8	16	2	21	9	5	2	4	9	4
	100.0	14.3	28.6	3.6	37.5	16.1	8.9	3.6	7.1	16.1	7.1
旭が丘	117	9	19	23	47	25	15	4	5	25	11
	100.0	7.7	16.2	19.7	40.2	21.4	12.8	3.4	4.3	21.4	9.4
中里	191	15	33	22	82	37	22	16	19	41	10
	100.0	7.9	17.3	11.5	42.9	19.4	11.5	8.4	9.9	21.5	5.2
野塩	93	9	18	10	38	16	15	10	8	13	8
	100.0	9.7	19.4	10.8	40.9	17.2	16.1	10.8	8.6	14.0	8.6
松山	105	13	29	18	57	30	15	5	4	17	5
	100.0	12.4	27.6	17.1	54.3	28.6	14.3	4.8	3.8	16.2	4.8
竹丘	125	17	27	25	47	29	13	12	5	18	10
	100.0	13.6	21.6	20.0	37.6	23.2	10.4	9.6	4.0	14.4	8.0
梅園	35	5	6	4	15	15	5	4	0	3	2
	100.0	14.3	17.1	11.4	42.9	42.9	14.3	11.4	0.0	8.6	5.7

問8 (4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

地域活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向について、全体では、「参加したくない」が55.2%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.9%、「既に参加している」が3.3%となっています。先述の地域活動への参加者としての参加意向と比べると、「参加したくない」は、参加者としての参加と比べて20.1%多く、「参加してもよい」は15.4%、「是非参加したい」は5.0%少なくなっています。

地区別の参加意向をみると、「参加してもよい」では、中清戸地区及び梅園地区で多く、「参加したくない」は中里地区及び元町地区で多くなっています。

	回答者 (人・%)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	1,071	25	331	591	35	89
	100.0	2.3	30.9	55.2	3.3	8.3
上清戸	62	1	22	35	1	3
	100.0	1.6	35.5	56.5	1.6	4.8
中清戸	111	2	42	60	2	5
	100.0	1.8	37.8	54.1	1.8	4.5
下清戸	70	2	20	40	3	5
	100.0	2.9	28.6	57.1	4.3	7.1
元町	84	1	18	49	6	10
	100.0	1.2	21.4	58.3	7.1	11.9
下宿	56	2	20	26	2	6
	100.0	3.6	35.7	46.4	3.6	10.7
旭が丘	117	2	32	65	3	15
	100.0	1.7	27.4	55.6	2.6	12.8
中里	191	3	52	117	7	12
	100.0	1.6	27.2	61.3	3.7	6.3
野塩	93	3	32	43	2	13
	100.0	3.2	34.4	46.2	2.2	14.0
松山	105	3	32	61	2	7
	100.0	2.9	30.5	58.1	1.9	6.7
竹丘	125	4	43	65	4	9
	100.0	3.2	34.4	52.0	3.2	7.2
梅園	35	2	13	18	2	0
	100.0	5.7	37.1	51.4	5.7	0.0

問8 (5) 地域活動を運営する上で必要なものは何ですか。(2つまでに○)

地域活動を運営する上で必要なものでは、全体及び地区別においても、「身近で気軽に集える場所」が最も多く、次いで「市民センターなど公共施設の充実」が多くなっています。

	回答者 (人・%)	市民センターなど公共施設の充実	身近で気軽に集える場所	養成 リーダーやサポーターの	活動団体などの情報発信	各種活動と参加者のマッチング	運営資金援助(補助)	その他	特にない	無回答
全体	1071	238	437	118	121	90	113	19	294	101
	100.0	22.2	40.8	11.0	11.3	8.4	10.6	1.8	27.5	9.4
上清戸	62	9	28	4	6	3	7	0	21	5
	100.0	14.5	45.2	6.5	9.7	4.8	11.3	0.0	33.9	8.1
中清戸	111	21	48	13	13	7	16	2	32	13
	100.0	18.9	43.2	11.7	11.7	6.3	14.4	1.8	28.8	11.7
下清戸	70	15	32	9	11	9	7	2	15	6
	100.0	21.4	45.7	12.9	15.7	12.9	10.0	2.9	21.4	8.6
元町	84	19	30	5	11	9	9	1	27	9
	100.0	22.6	35.7	6.0	13.1	10.7	10.7	1.2	32.1	10.7
下宿	56	15	23	8	6	8	8	3	11	6
	100.0	26.8	41.1	14.3	10.7	14.3	14.3	5.4	19.6	10.7
旭が丘	117	29	42	12	12	5	13	0	32	19
	100.0	24.8	35.9	10.3	10.3	4.3	11.1	0.0	27.4	16.2
中里	191	36	77	23	17	17	15	5	59	11
	100.0	18.8	40.3	12.0	8.9	8.9	7.9	2.6	30.9	5.8
野塩	93	32	41	10	7	7	10	1	23	8
	100.0	34.4	44.1	10.8	7.5	7.5	10.8	1.1	24.7	8.6
松山	105	22	38	16	13	7	8	4	31	7
	100.0	21.0	36.2	15.2	12.4	6.7	7.6	3.8	29.5	6.7
竹丘	125	26	46	15	19	11	16	1	32	10
	100.0	20.8	36.8	12.0	15.2	8.8	12.8	0.8	25.6	8.0
梅園	35	7	20	2	2	6	4	0	8	4
	100.0	20.0	57.1	5.7	5.7	17.1	11.4	0.0	22.9	11.4

問9 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

結果のポイント

心配事や愚痴を聞いてくれる人や聞いてあげる人、また、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人やしてあげる人では、「配偶者」や「子」の割合が多い一方、「近隣」の割合が少なくなっています。

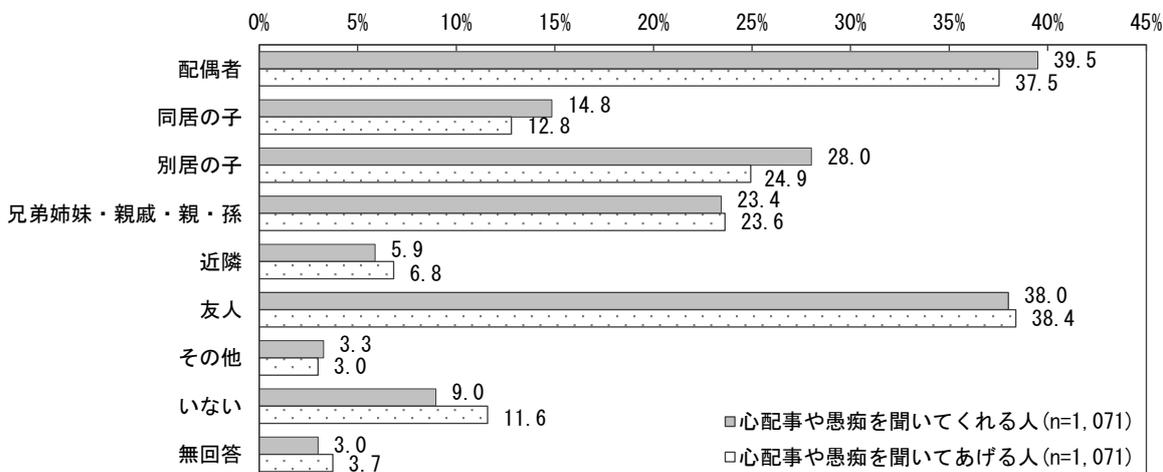
また、友人・知人と会う頻度において、2割弱の人が「ほとんどない」と回答されており、「(だれかと食事をする機会が)ほとんどない」方の半数以上が孤独感を感じてると回答されています。なお、孤独感については、「男性」よりも「女性」のほうが多く、家族構成別では、同居世帯よりも「1人暮らし」の方のほうが多く、年収別では、「700万円～1,000万円未満」を除き、年収が少ない人ほど多く、要支援認定別では、認定を「受けていない」方よりも、受けている方のほうが多くなっています。

問9 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

問9 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人では「配偶者」が最も多く、心配事や愚痴を聞いてあげる人では「友人」が最も多くなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人と聞いてあげる人を比較すると、「配偶者」「同居の子」「別居の子」「その他」において、心配事や愚痴を聞いてくれる人の割合が多く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「いない」において心配事や愚痴を聞いてあげる人の割合が多くなっています。

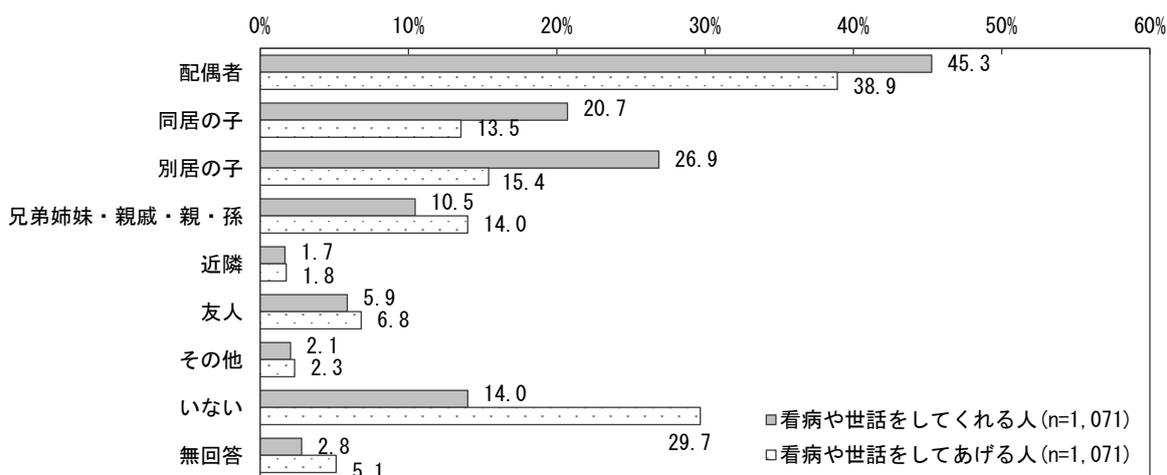


問9（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

（あてはまるものすべてに○）

問9（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

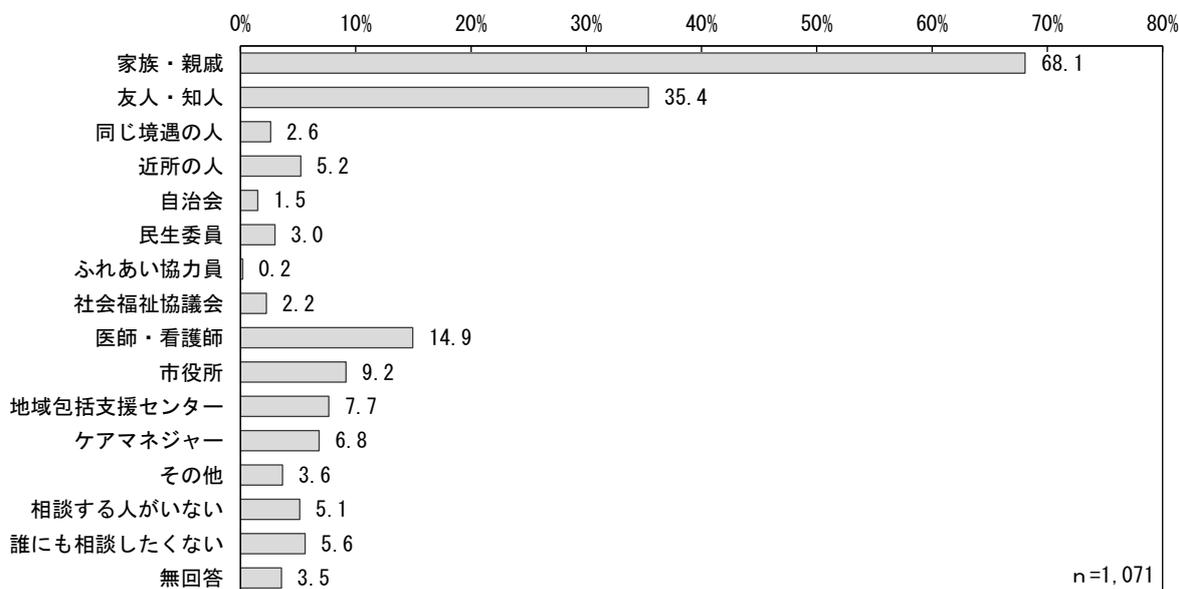
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、反対に看病や世話をしてあげる人ともに、「配偶者」が最も多く、次いで、看病や世話をしてくれる人では「別居の子」や「同居の子」が多くなっている一方、看病や世話をしてあげる人では「いない」が多くなっています。



問9（5）あなたは、悩みや不安、困ったことがあるとき、どこに相談しますか。

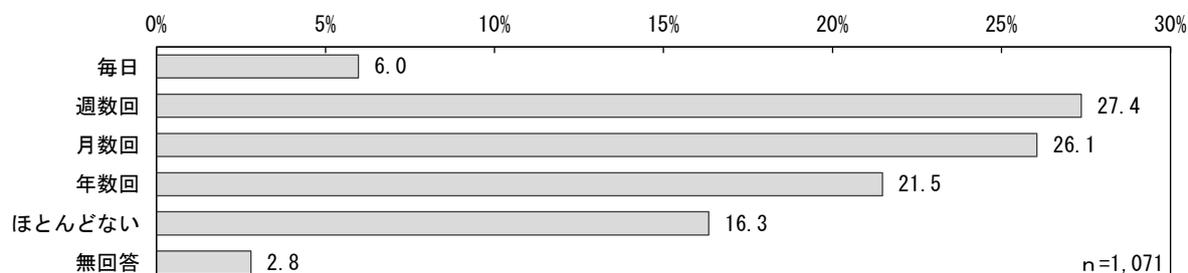
（あてはまるものすべてに○）

悩みや不安、困ったことがあるときの相談先では、「家族・親戚」が68.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が35.4%、「医師・看護師」が14.9%となっています。



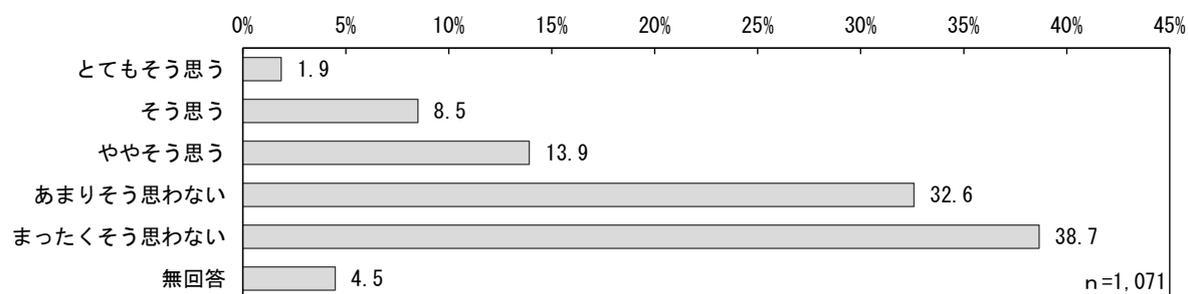
問9（6）友人・知人と会う頻度はどれぐらいですか。（1つに○）

友人・知人と会う頻度では、「週数回」が27.4%と最も多く、次いで「月数回」が26.1%、「年数回」が21.5%、「ほとんどない」が16.3%となっています。



問9（7）あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。（1つに○）

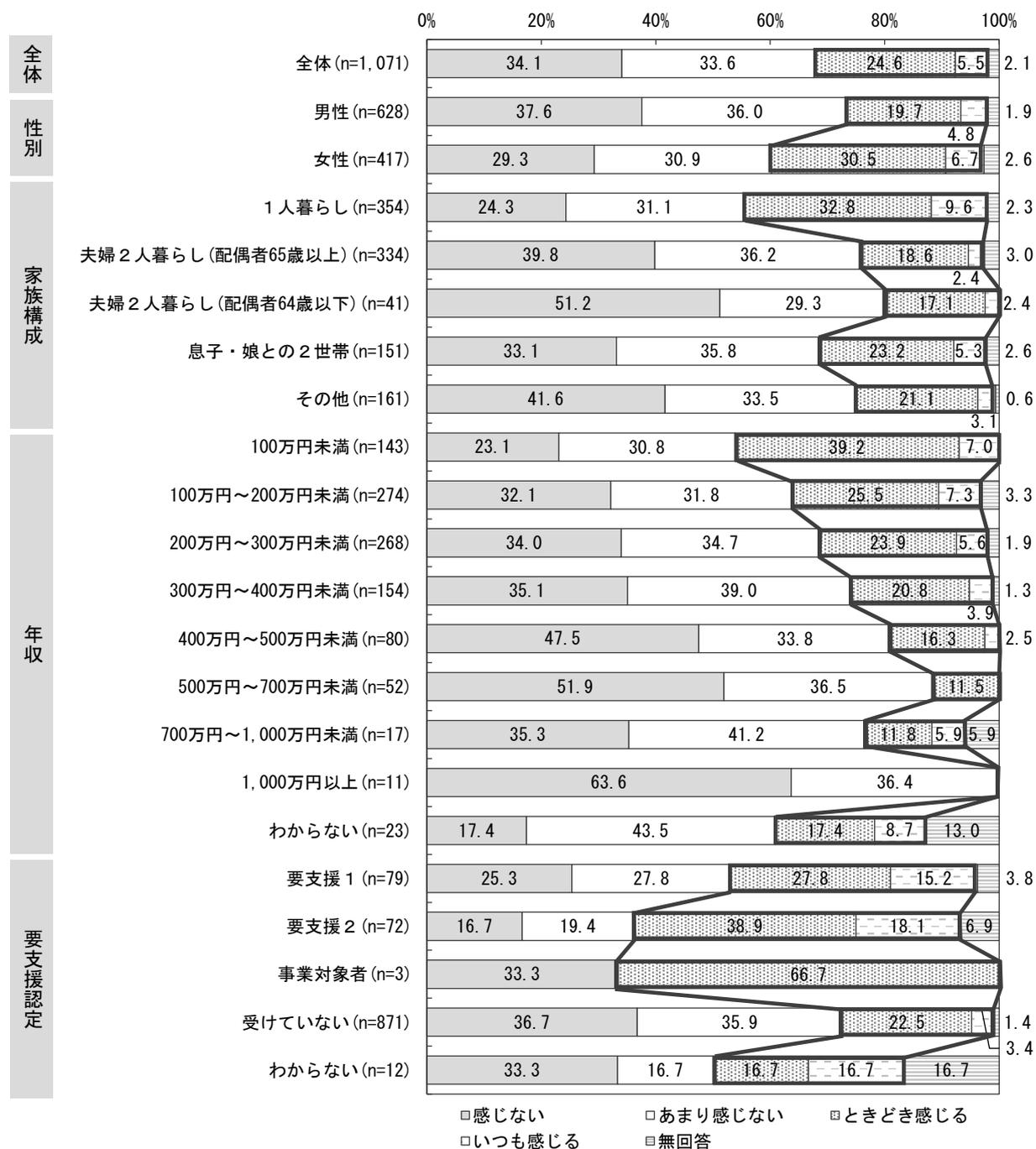
お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思うかでは、「まったくそう思わない」が38.7%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が32.6%、「ややそう思う」が13.9%となっています。



問9 (8) あなたは、日常生活の中で孤独感を感じることはありますか。(1つに〇)

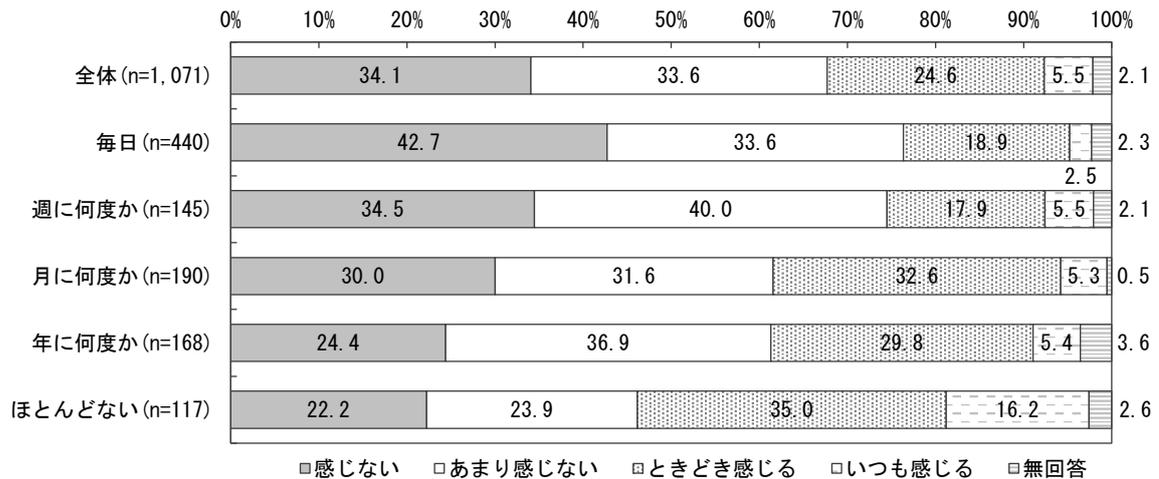
日常生活の中での孤独感について、全体では「感じない」が34.1%と最も多く、「あまり感じない」が33.6%、「ときどき感じる」が24.6%、「いつも感じる」が5.5%となっています。

「ときどき感じる」と「いつも感じる」を合わせた『(孤独感を)感じる』の割合をみると、性別では「男性」よりも「女性」のほうが多く、家族構成別では「1人暮らし」で多くなっています。また、年収別では、「100万円未満」で多く、要支援認定別では、サンプル数が少ない「事業対象者」を除き、「要支援2」で多くなっています。



つぎに、だれかと食事をする機会との関連性をみると、「ときどき感じる」と「いつも感じる」を合わせた『(孤独感を)感じる』の割合では、「(だれかと食事をする機会が)ほとんどない」が51.2%と最も多く、次いで「(だれかと食事をする機会が)月に何度か」が37.9%となっています。

一方、「(だれかと食事をする機会が)毎日」では、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『(孤独感を)感じない』割合が76.3%、「(だれかと食事をする機会が)週に何度か」では、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『(孤独感を)感じない』割合が74.5%となっています。



4. 健康等について

問 10 健康について

結果の ポイント

国の手引きによる機能別リスク該当者の割合を算出した結果、うつのリスク該当者は、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方、現在何らかの介護を受けている方ともに50%台であり、介護・介助が必要ない方で30%程度となっています。

生きがいと健康状態及び幸福度の関係では、生きがいを持っている人ほど健康状態がよく、また、幸福度も高くなっています。

その他、現在治療中、または後遺症のある病気では「高血圧」の方の割合が多く、かかりつけ医等の有無では、かかりつけの診療所・病院は、80%以上の方が持っていますが、かかりつけの歯科医院及びかかりつけの薬局がある方は、60%～70%台にとどまっています。

機能別リスク該当者割合の算出

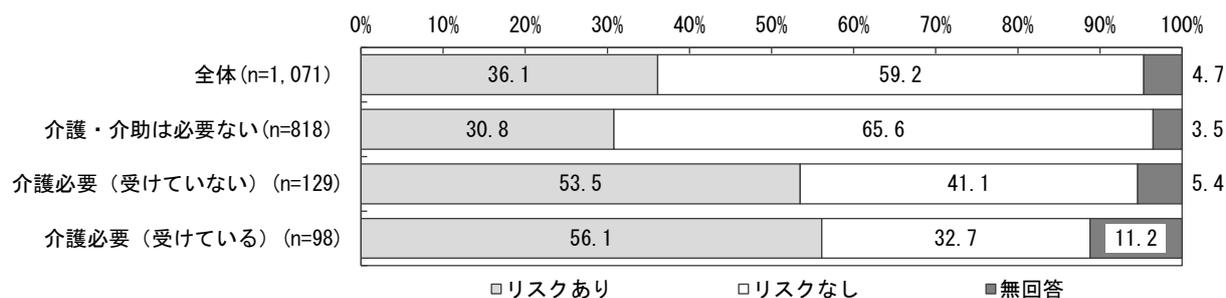
(1) うつ

【判定基準：以下の2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
(3)	この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
(4)	この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

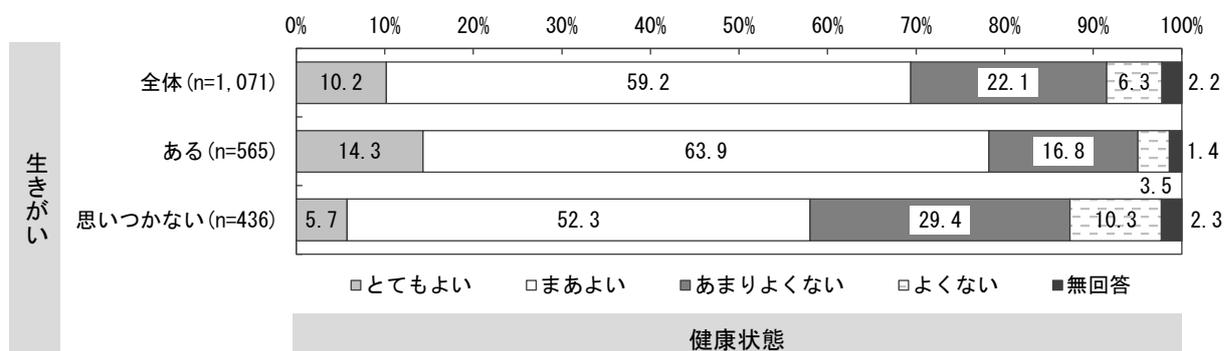
国の手引きに基づくうつの評価結果をみると、全体の36.1%、介護・介助の必要がない方の30.8%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の53.5%、現在何らかの介護を受けている方の56.1%の方がうつのリスク該当者となっています。



問 10（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つに○）

現在の健康状態について、全体では「まあよい」が 59.2%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 22.1%、「とてもよい」が 10.2%となっています。

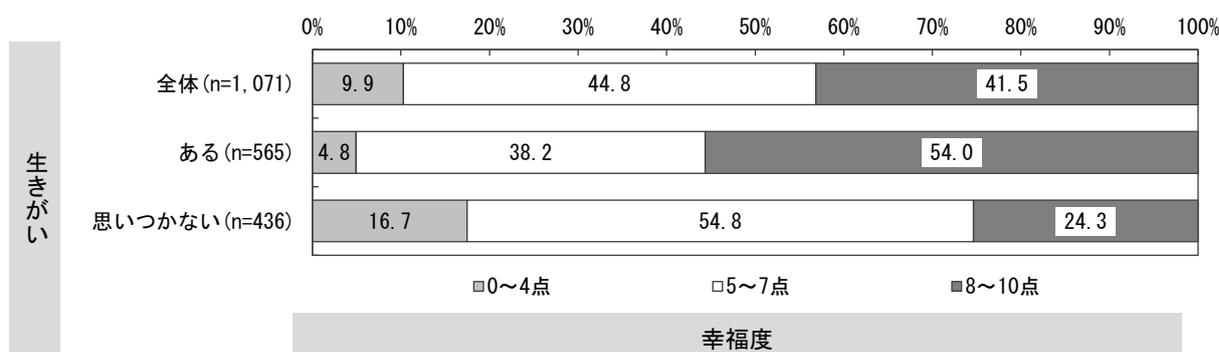
生きがいの有無との関係を見ると、生きがいが「ある」では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康状態がよい』と回答された方の割合が 78.2%であるのに対し、生きがいが「思いつかない」では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康状態がよい』と回答された方の割合が 58.0%にとどまっています。



問 10（2）あなたは、現在、どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をしてください。

現在の幸福度（※ここでは、「0～4点」を『あまり幸福ではない』、「5～7点」を『まあ幸福である』、「8～10点」を『とても幸福である』と定義します。）について、全体では「まあ幸福である」が 44.8%と最も多く、次いで「とても幸福である」が 41.5%、「あまり幸福ではない」が 9.9%となっています。

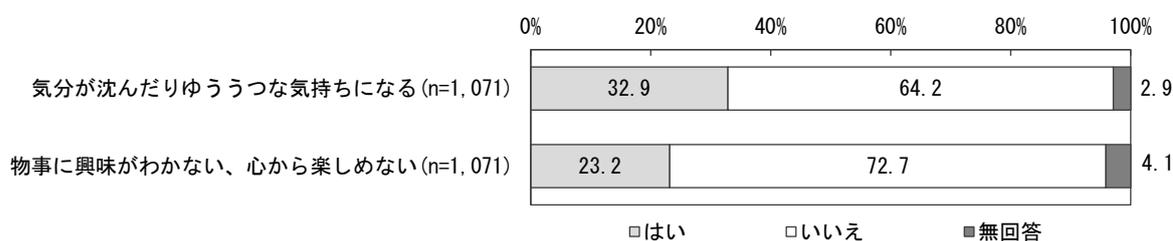
生きがいの有無との関係を見ると、生きがいが「ある」では、『とても幸福である』が 54.0%であるのに対し、生きがいが「思いつかない」では、『とても幸福である』が 24.3%にとどまっています。



問 10 (3) この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

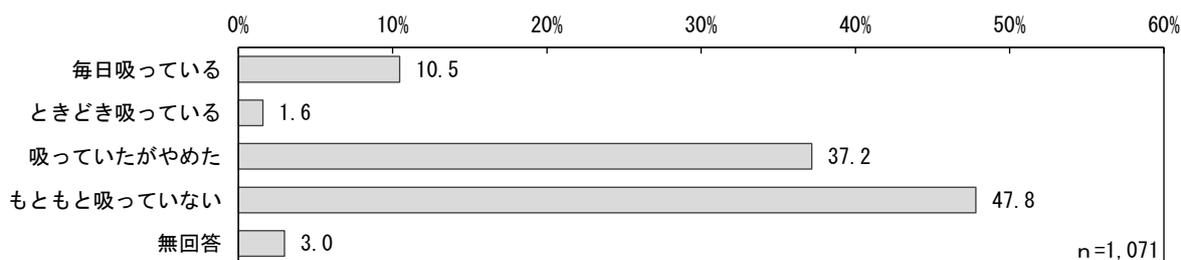
問 10 (4) この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかでは、「はい(あった)」が32.9%、「いいえ(なかった)」が64.2%となっており、この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかでは、「はい(あった)」が23.2%、「いいえ(なかった)」が72.7%となっています。



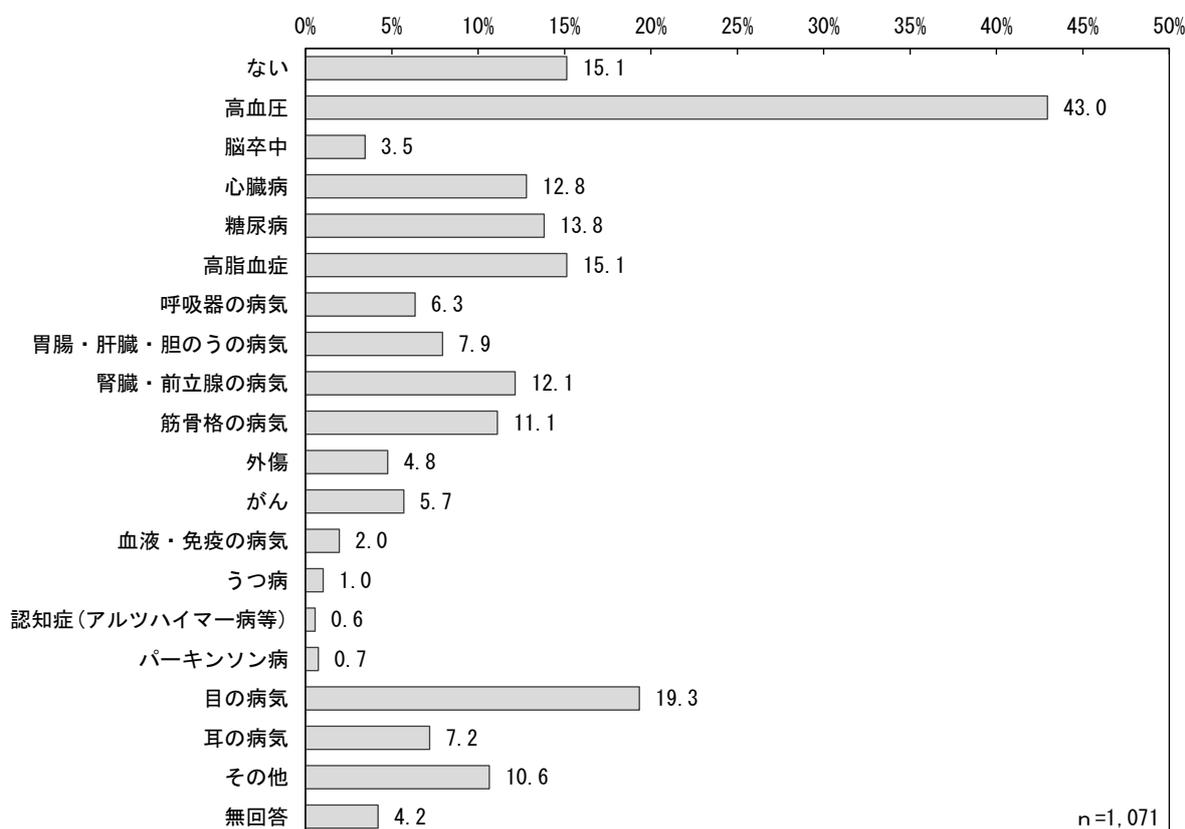
問 10 (5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

タバコは吸っているかでは、「もともと吸っていない」が47.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が37.2%、「毎日吸っている」が10.5%、「ときどき吸っている」が1.6%となっています。



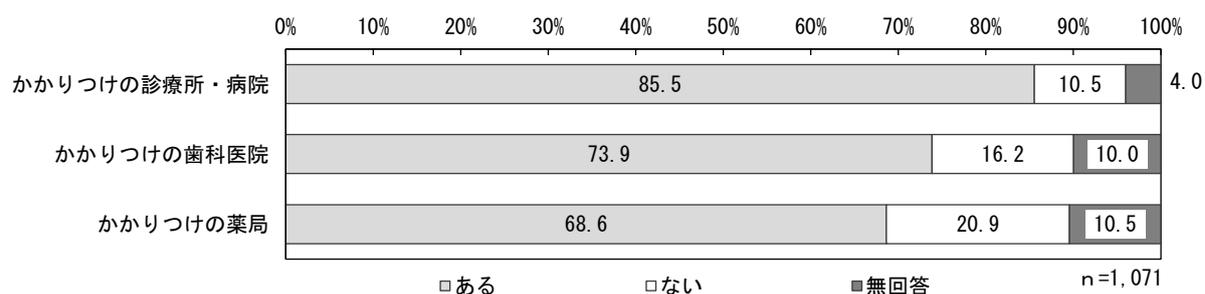
問 10（6）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

現在治療中、または後遺症のある病気では、「高血圧」が43.0%と最も多く、次いで「目の病気」が19.3%、「高脂血症」が15.1%となっています。なお、「認知症（アルツハイマー病等）」は0.6%となっています。



問 10（7）ご自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる、かかりつけの診療所・病院、歯科医院、薬局はありますか。（それぞれ「ある」または「ない」のどちらかに○）

かかりつけの診療所・病院について、「ある」方が85.5%、「ない」方が10.5%、同様に、かかりつけの歯科医院について、「ある」方が73.9%、「ない」方が16.2%、かかりつけの薬局について、「ある」方が68.6%、「ない」方が20.9%となっています。



問 11 認知症について

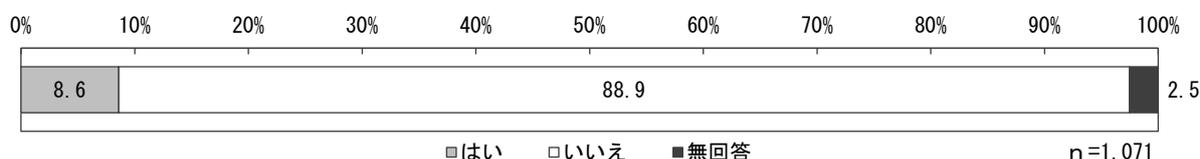
結果の ポイント

認知症に関する相談窓口や「認知症サポーター」の養成についての認知度が、それぞれ2割前後にとどまっています。

また、認知症についての関心事では、認知症予防や日常生活における注意点、認知症の症状に関することが上位に挙げられています。

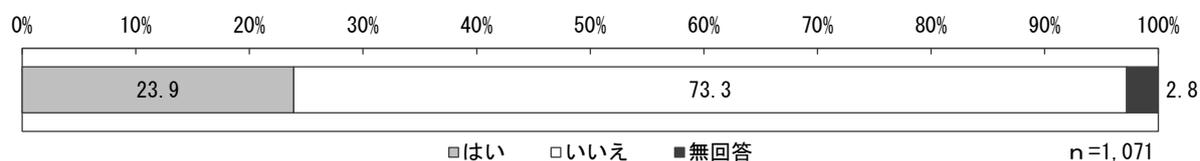
問 11（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。（1つに○）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる方は8.6%となっています。



問 11（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（1つに○）

認知症相談窓口の認知度は23.9%であり、73.3%の方が相談窓口を知らないと回答しています。



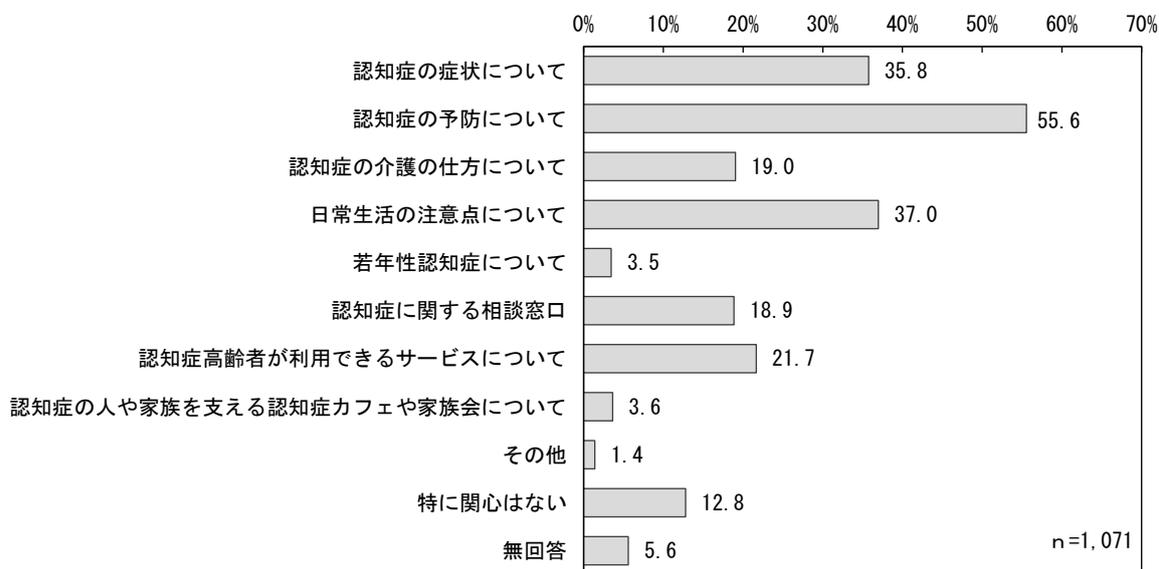
問 11（3）清瀬市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか。（1つに○）

「認知症サポーター」の養成の認知度は17.8%であり、79.1%の方が「認知症サポーター」の養成を知らないと回答しています。



問 11（4）認知症についてどのようなことに関心がありますか。（3つまでに○）

認知症についての関心事では、「認知症の予防について」が 55.6%と最も高く、次いで「日常生活の注意点について」が 37.0%、「認知症の症状について」が 35.8%となっています。



5. 各種事業やサービス等について

問 12 介護保険・福祉制度、サービスについて

結果の ポイント

全体の約 2/3 (67%) の方が、介護保険料の支払いに負担を感じていますが、「介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない」という意見は 16.1%にとどまっています。

今後の介護予防事業や保健福祉サービスの利用希望では、「シルバー人材センター」や「健康増進室」、「緊急通報システム機器の貸与」、「住宅・設備改修費の助成」などが上位に挙げられており、また、市に力を入れてほしい高齢者福祉施策では、「家族の介護負担の軽減」や「健康管理」、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が挙げられています。

その他、福祉に関する情報の入手先では、「市の広報」や「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」の割合が多くなっていますが、85歳以上では「ケアマネジャー」や「地域包括支援センター」、65歳～74歳では「インターネット」からの情報入手が比較的多く見られます。

問 12 (1) 介護保険法では、国民の努力義務として、「自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めること」、「要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービスおよび福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めること」とされています。

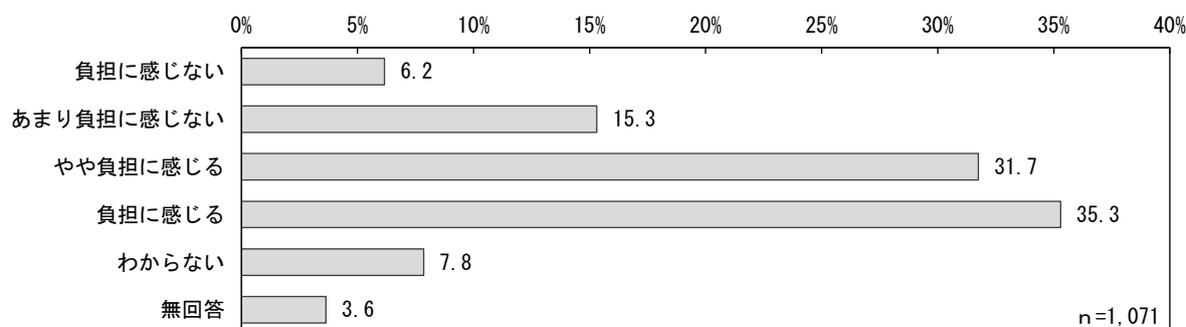
国民に対する、こうした法律上の規定を知っていましたか。(1つに○)

介護保険法の規定する国民の努力義務について、知っていた方は 33.4%で、62.3%の方が知らないと回答しています。



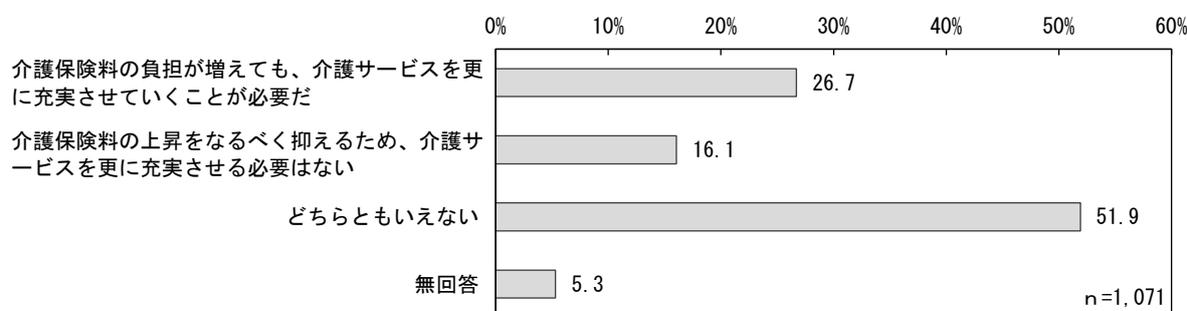
問 12（2）現在の介護保険料の支払いについて、どのように感じていますか。（1つに○）

介護保険料の支払いについて、「負担を感じる」が 35.3%と最も多く、「やや負担を感じる」を合わせた『負担と感じている』割合は 67.0%となっています。



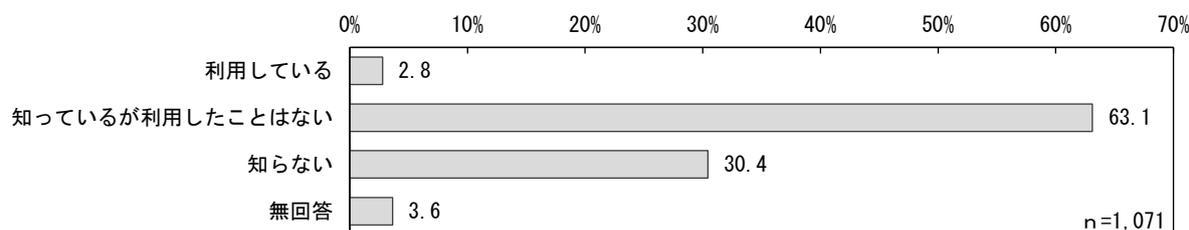
問 12（3）介護保険サービスを今後更に充実させるために、皆さんの介護保険料の負担が増えることについてどう思いますか。（1つに○）

介護保険サービスを更に充実させるための今後の負担に対する考え方について、「どちらともいえない」が 51.9%と最も多く、「介護保険料の負担が増えても、介護サービスをさらに充実させていくことが必要だ」が 26.7%、「介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない」が 16.1%となっています。



問 12（4）「成年後見制度」を知っていますか。（1つに○）

成年後見制度について、65.9%の方が認知しており、「知らない」方は 30.4%となっています。



問 12 (5) 「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」を知っていますか。(1つに○)

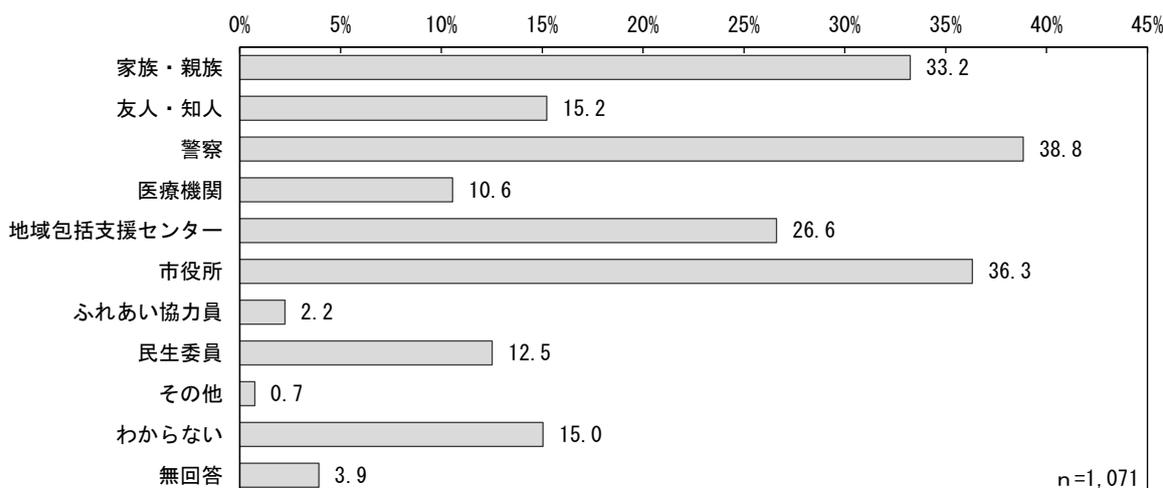
地域福祉権利擁護事業について、29.4%の方が認知しており、「知らない」方は66.4%となっています。



問 12 (6) 高齢者への虐待に気づいたとき、どこに相談しますか。

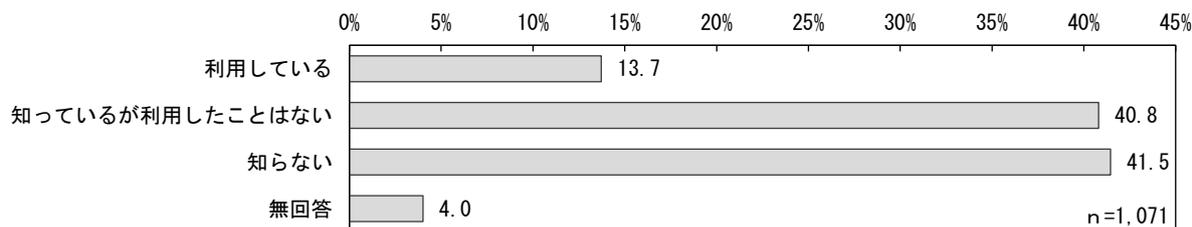
(あてはまるものすべてに○)

高齢者への虐待に気づいたときの相談先では、「警察」が38.8%と最も多く、次いで「市役所」が36.3%、「家族・親族」が33.2%となっています。



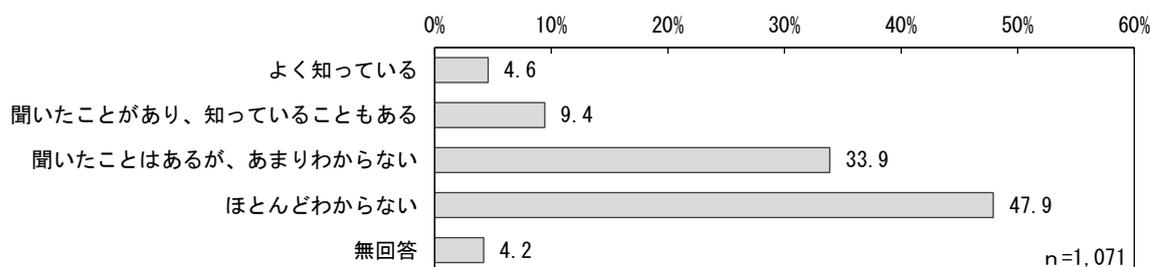
問 12 (7) 清瀬市には、現在4か所の地域包括支援センターが設置されています。地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

地域包括支援センターについては、54.5%の方が認知しており、「知らない」方は41.5%となっています。



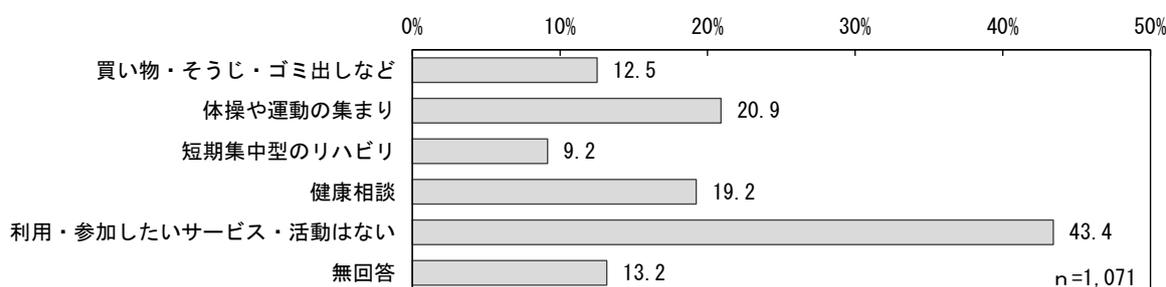
問 12 (8) 清瀬市では、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という。）に
取り組んでいます。総合事業を知っていますか。（1つに○）

総合事業については、「ほとんどわからない」が47.9%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、あまりわからない」が33.9%となっています。



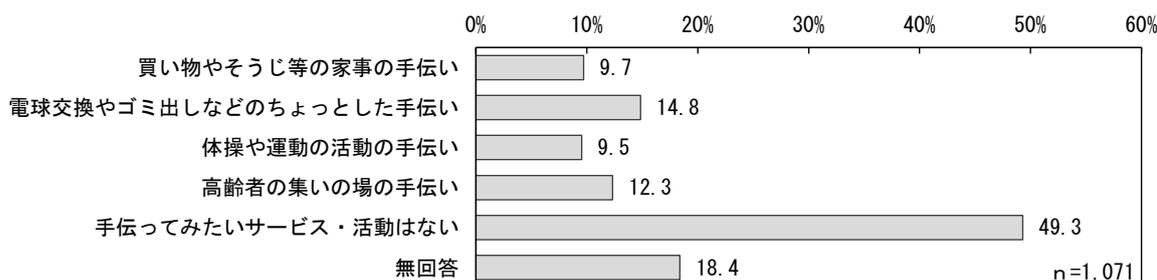
問 12 (9) 総合事業の以下のサービス等について、あなた（あて名のご本人）は利用・参加
したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

総合事業の利用・参加意向では、「利用・参加したいサービス・活動はない」が43.4%と最も多く、次いで「体操や運動の集まり」が20.9%、「健康相談」が19.2%となっています。



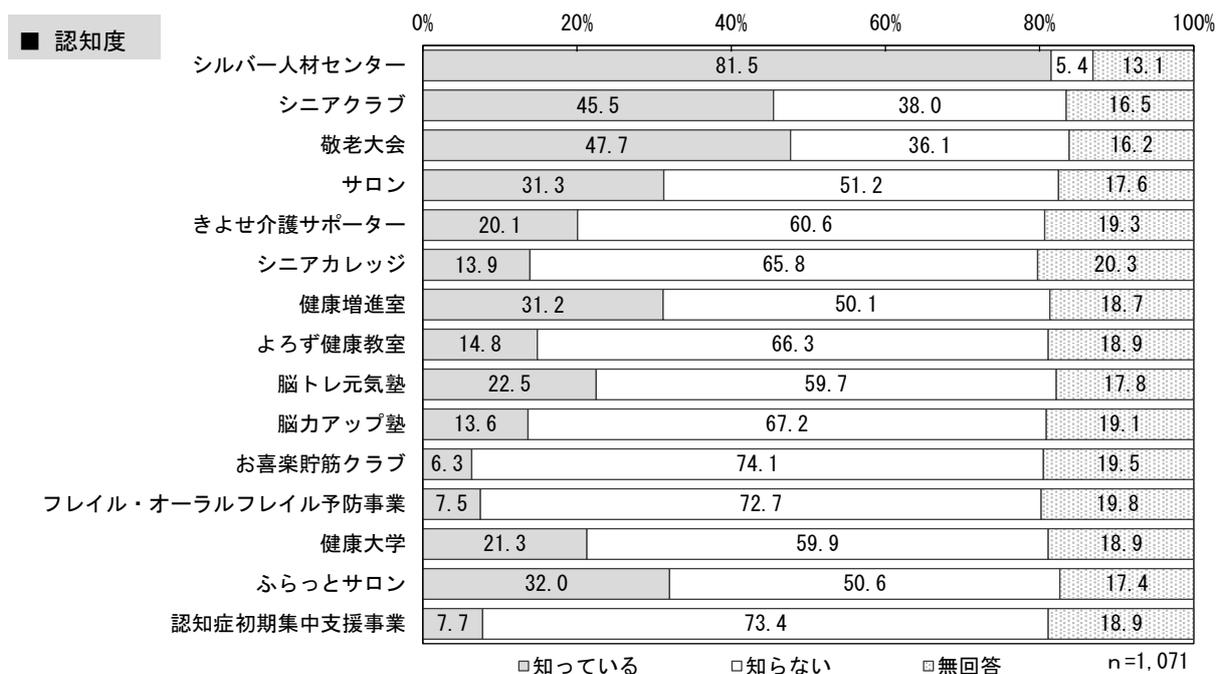
問 12 (10) 総合事業は地域の皆さんが担い手となることで、地域の支え合い体制づくりを推
進するものです。以下のサービス等について、あなた（あて名のご本人）は手
伝ってみたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

手伝ってみたい総合事業では、「電球交換やゴミ出しなどのちょっとした手伝い」と「高齢者の集いの場の手伝い」がそれぞれ10%を越えています。

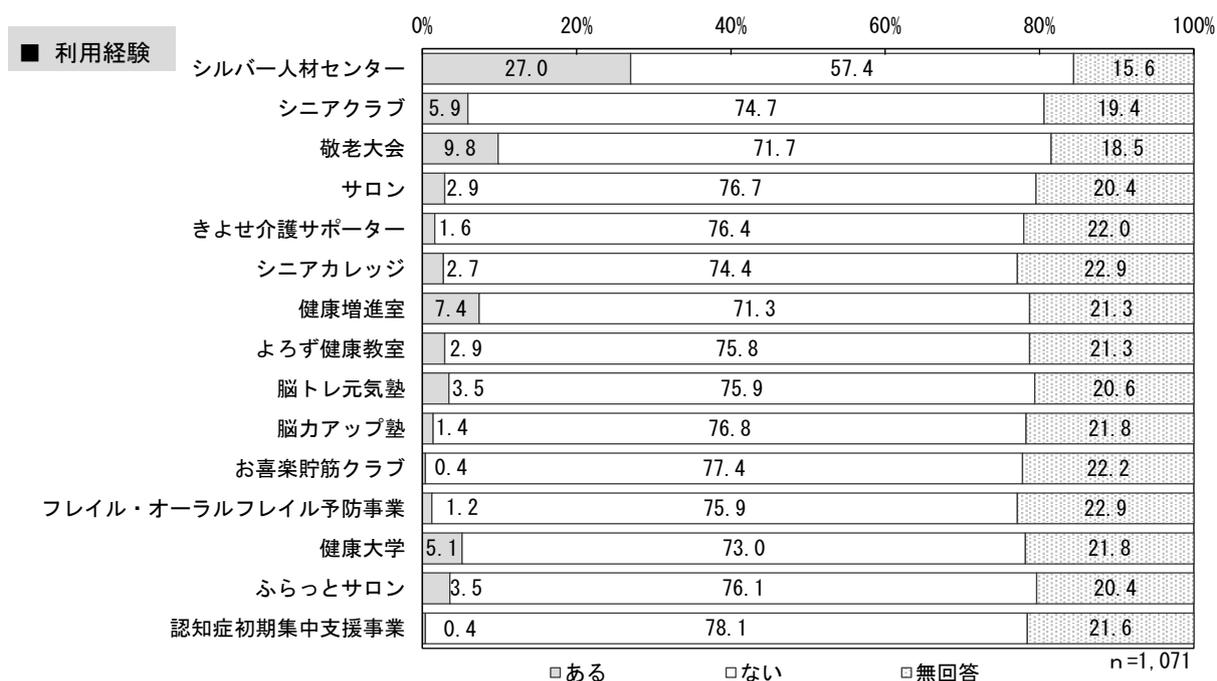


問 12 (11) 清瀬市には、地域交流の場の充実や介護予防を目的とした各種事業があります。
 以下のような会・事業等に対する認知度・利用経験・今後の利用希望についてお
 教えてください。(それぞれ1つずつに○)

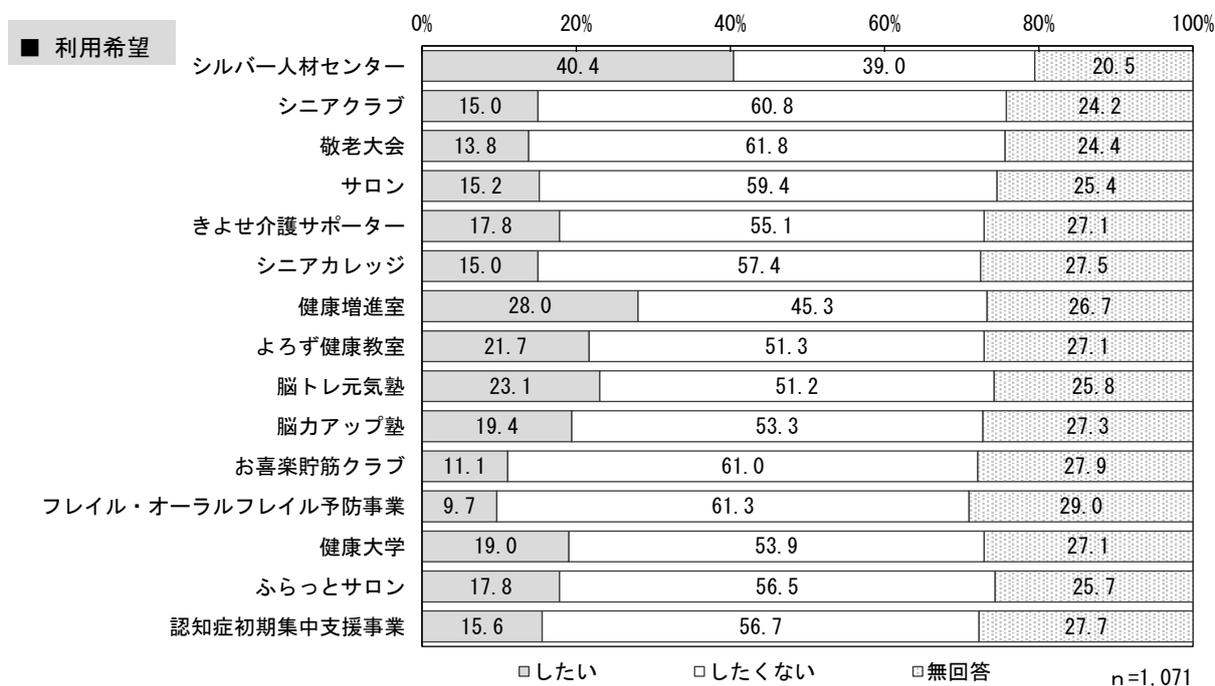
清瀬市の各種事業等に対する認知度では、「シルバー人材センター」が81.5%と最も高く、次いで「敬老大会」が47.7%、「シニアクラブ」が45.5%となっています。



利用経験においても「シルバー人材センター」が27.0%と最も多く、次いで「敬老大会」が9.8%となっています。

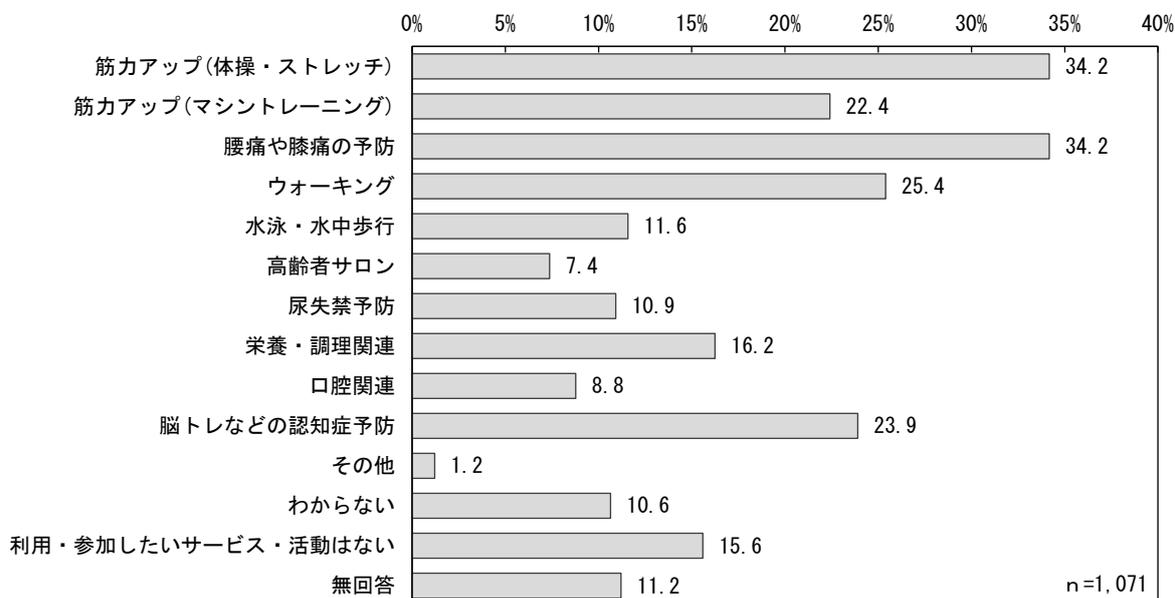


今後の利用希望も同様に、「シルバー人材センター」が40.4%と最も多く、次いで「健康増進室」が28.0%、「脳トレ元気塾」が23.1%、「よろず健康教室」が21.7%となっています。



問 12 (12) 健康づくりや介護予防について、どのような事業があれば参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

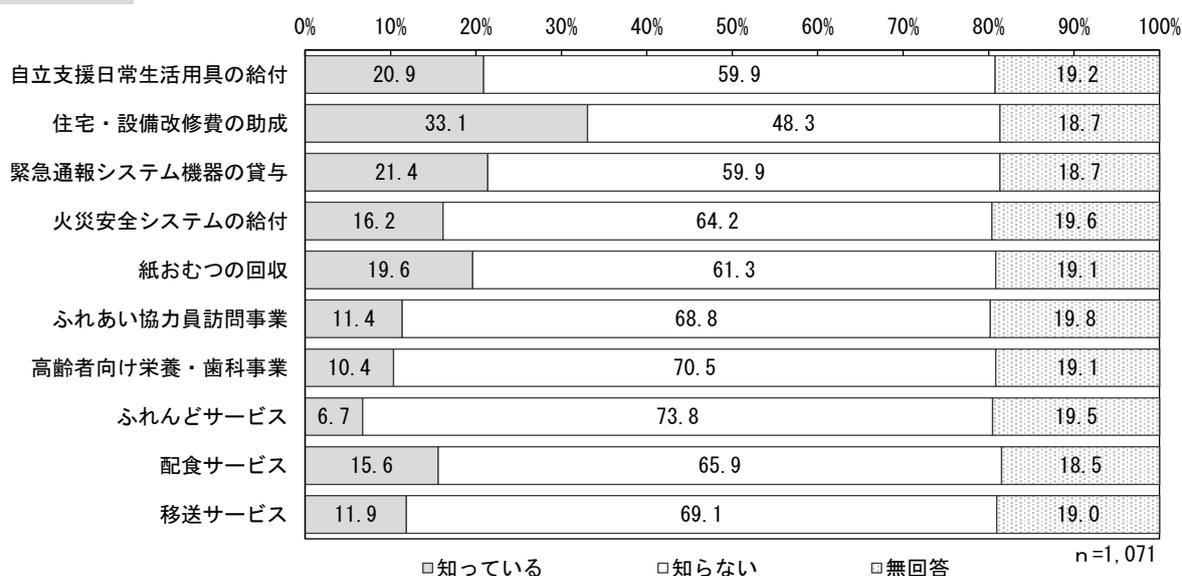
健康づくりや介護予防の参加してみたい事業では、「筋力アップ (体操・ストレッチ)」及び「腰痛や膝痛の予防」が34.2%と最も多く、次いで「ウォーキング」が25.4%、「脳トレなどの認知症予防」が23.9%、「筋力アップ (マシントレーニング)」が22.4%となっています。



問 12 (13) 清瀬市では、高齢者の自立や生活支援を支えるため、以下の保健福祉サービス等を行っています。これら保健福祉サービス等に対する認知度・利用経験・今後の利用希望についてお教えてください。(それぞれ1つずつに○)

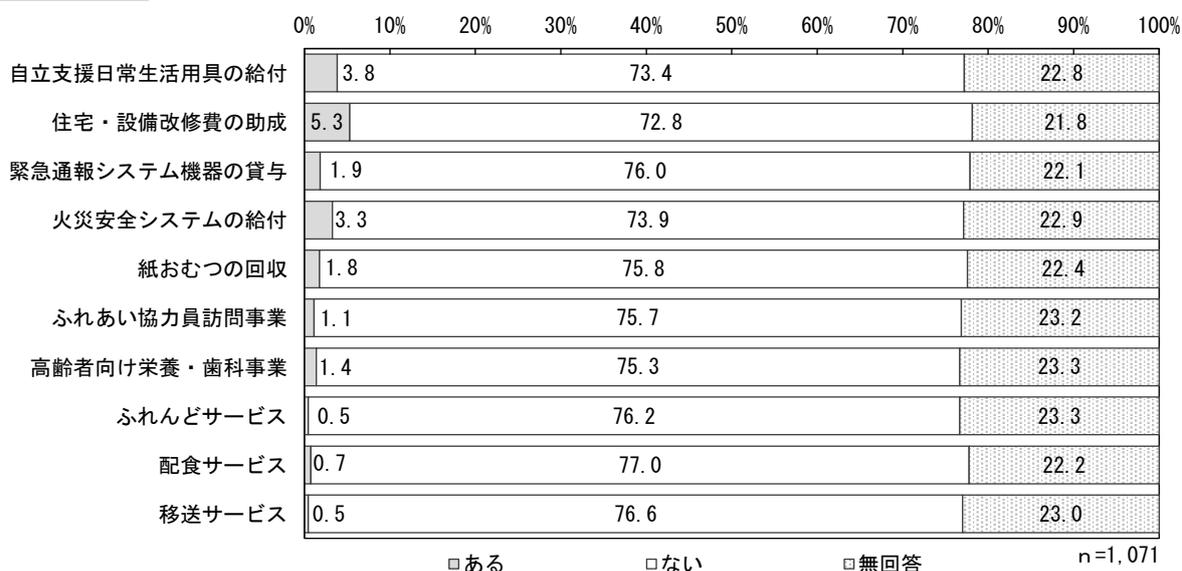
保健福祉サービスにおける認知度では、「住宅・設備改修費の助成」が33.1%と最も高く、次いで「緊急通報システム機器の貸与」が21.4%、「自立支援日常生活用具の給付」が20.9%となっています。

■ 認知度



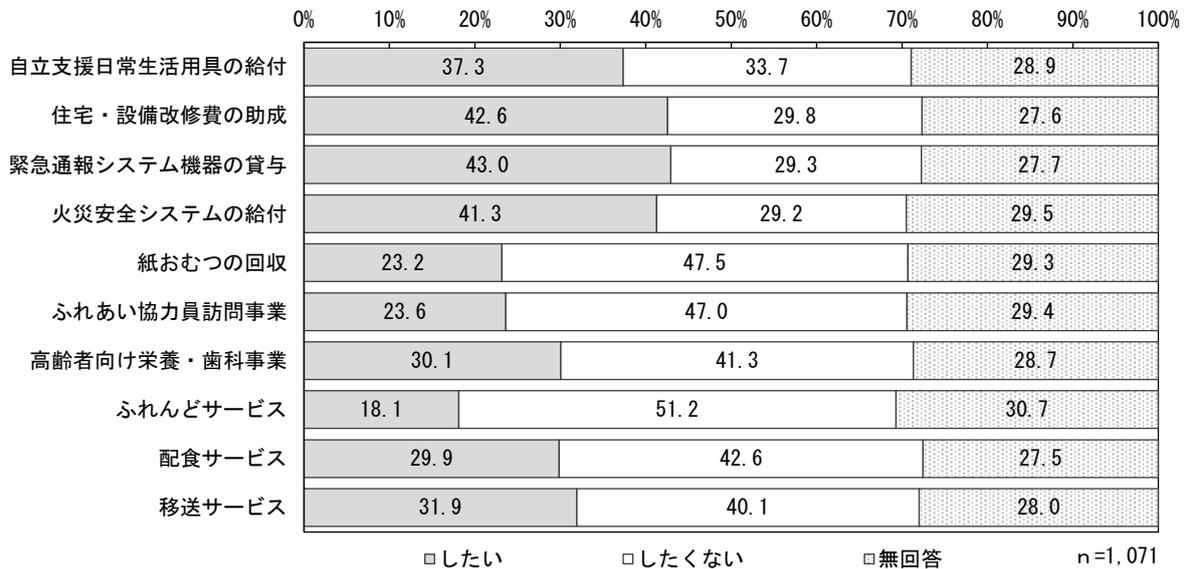
利用経験においても「住宅・設備改修費の助成」が5.3%と最も多く、次いで「自立支援日常生活用具の給付」が3.8%となっています。

■ 利用経験



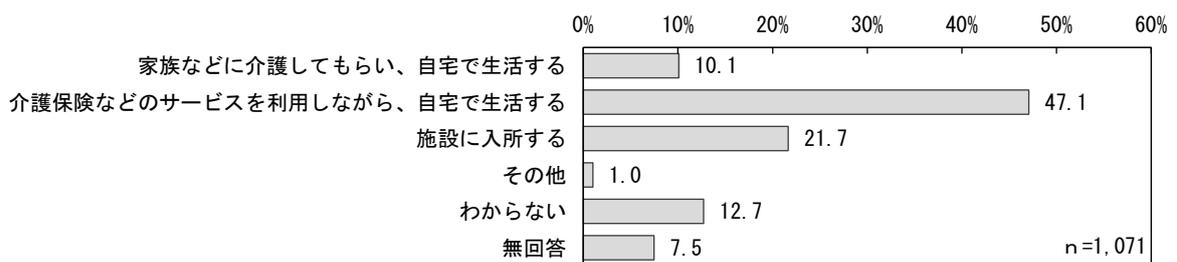
今後の利用希望では、「緊急通報システム機器の貸与」が43.0%と最も多く、次いで「住宅・設備改修費の助成」が42.6%、「火災安全システムの給付」が41.3%となっています。

■ 利用希望



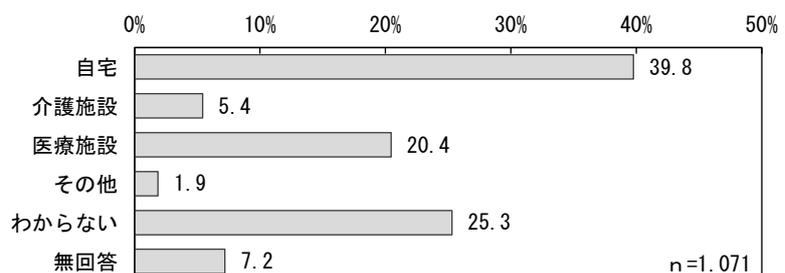
問 12 (14) あなたが、介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいと思いますか。
(1つに○)

介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいかについて、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活する」が47.1%と最も多く、次いで「施設に入所する」が21.7%、「家族などに介護してもらい、自宅で生活する」が10.1%となっています。



問 12 (15) あなたが、人生の最期を迎えるとき、どこで迎えたいですか。(1つに○)

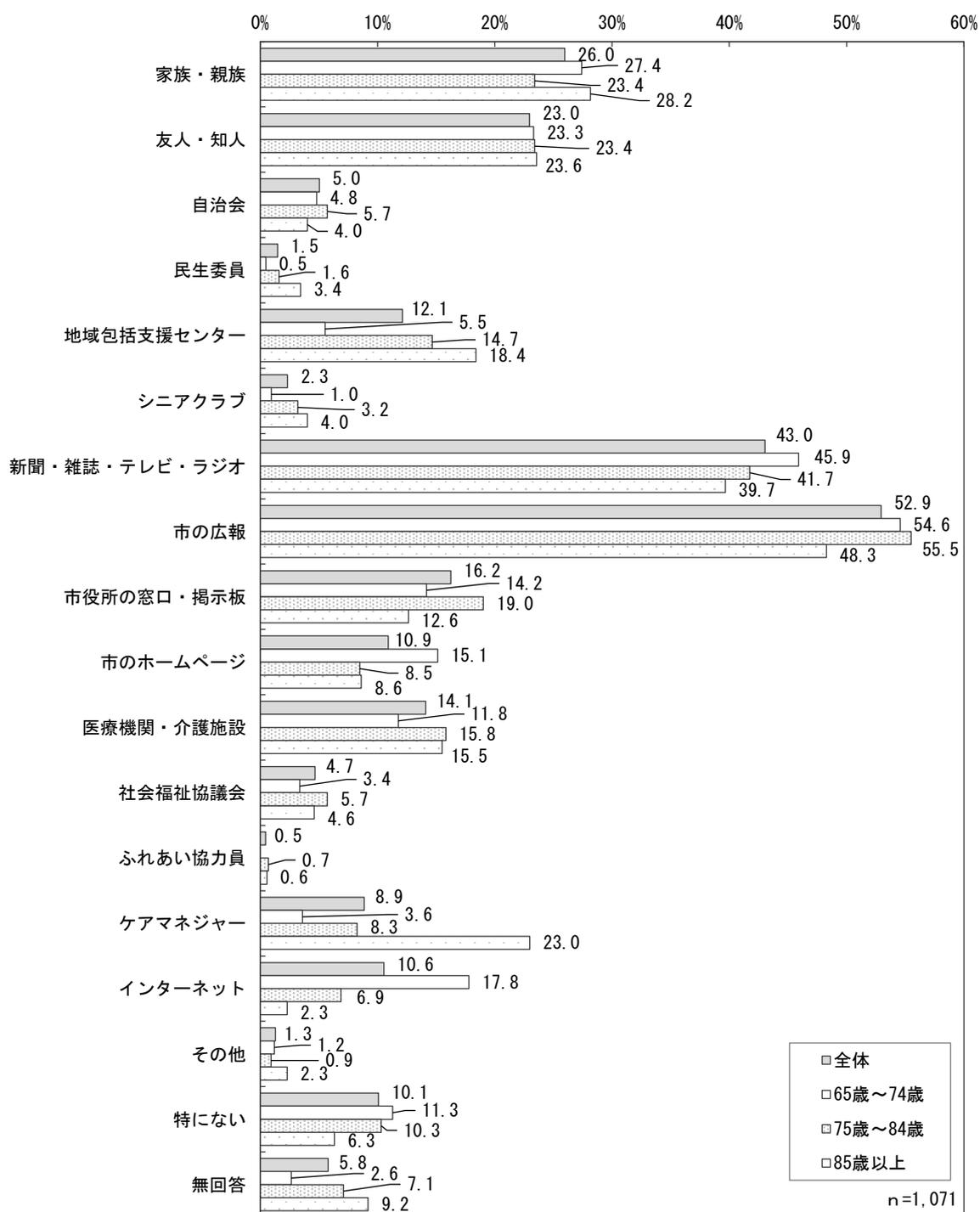
人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が39.8%と最も多く、「医療施設」が20.4%、「介護施設」が5.4%となっています。



問 12 (16) あなたは、普段、福祉に関する情報を、どこから入手していますか。

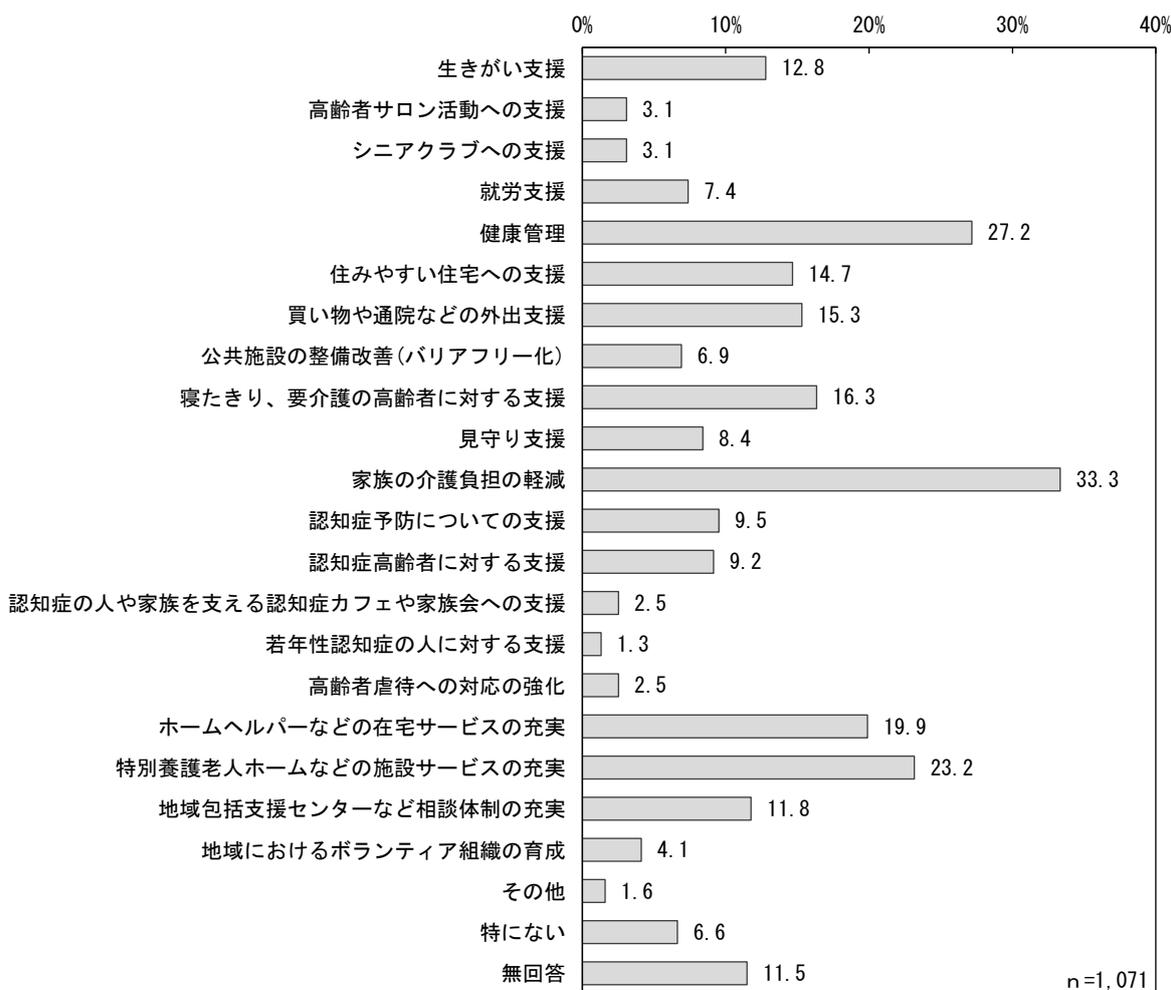
(あてはまるものすべてに○)

情報の入手先について、いずれの年齢層においても、「市の広報」「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」の割合が多くなっていますが、その他では、85歳以上では「ケアマネジャー」、65歳～74歳では「インターネット」の割合が多くなっています。また、75～84歳では、「市の広報」に加え、「市役所の窓口・掲示板」の割合が多くなっています。



問 12 (17) これからの高齢者福祉施策で、市に力を入れてほしいと思うものはどれですか。
(3つまでに○)

これからの高齢者福祉施策で、市に力を入れてほしいと思うものでは、「家族の介護負担の軽減」が33.3%と最も多く、次いで「健康管理」が27.2%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が23.2%、「ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実」が19.9%となっています。



問 12 (18) 清瀬市の保健福祉施策全般について、どのように感じていますか。(1つに○)

清瀬市の保健福祉施策全般については、「まあ充実している」が46.1%と最も多く、「とても充実している」と合わせた『充実している』は51.4%となっています。



問 12 (19) 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたら
ご記入ください。(記述式)

以下は、自由記載頂いたご意見を内容ごとに分類し、主要意見を抜粋・一部要約したものです。

なお、掲載内容は、頂いたご意見をできるだけそのまま掲載していますので、一部実態と異なる部分や曖昧な表現があることも想定されますが、ご了承ください。

① 感謝・激励 (38 件)

- ・清瀬市は高齢者福祉サービスがとても充実していると思います。
- ・訪問看護に週 1 回来て頂いております。お会いできるのを楽しみに、その日の来るのを待っております。
- ・長年住んでいるこの清瀬で元気に生活できることを心より願っています。どうぞ宜しくお願い致します。
- ・福祉に関して充実している清瀬市に住んでいて良かったと思いました。事業に従事されている方々に感謝します。

② 介護保険料・利用者負担について (29 件)

- ・介護保険料の負担が高く、年金生活者にとっては負担である。
- ・介護サービスを簡素化し、今後の保険料上昇を抑制して欲しい。
- ・保険料は、介護サービスを利用する人、利用しない人によって改めて検討される必要を感じます。
- ・介護保険サービスを充実させるために保険料の負担を増やすことは絶対に反対です。

③ 介護者の負担・支援について (27 件)

- ・仕事をしながら介護をする者にとって、低料金で必要なサービスを受けられる施設が欲しい。
- ・療養型の病院は何年も入院していられて確かに有難いが、私費の部分が大変高額で介護者の経済的負担がかなりかかります。
- ・在宅介護をやってみて、「介護はプロでないとうまくできないな」という思いを持っています。
- ・在宅介護をしている人は、たとえ短時間でも一人残して外出することが難しい。短時間でも代わりに見守りをするサービスを考えて欲しい。

④ アンケートについて (27 件)

- ・このアンケートであまり要望のない制度、サービスは簡素化して今後の保険料上昇を抑制して欲しい。
- ・このアンケートをどう分析し、活かしていくのか、また、アンケートから推進できたことの報告を期待します。

- ・老人には理解できにくい“カタカナ用語”が散見され、回答しにくい部分があった。
- ・質問数が多く、アンケートが長すぎるとともに、非常に難しい内容になっていると思います。

⑤ 情報提供・PRについて（23件）

- ・清瀬市が行っている介護保険制度や高齢者福祉サービスの内容や実態がどのようになっているのか良く知らない。
- ・市の地図に福祉施設等の場所を入れ、施設の内容などをPRする。
- ・医療保険・介護保険等の制度の内容を解説するような座談会的なものを開いて欲しい。
- ・様々な方法、手段を用いて介護の情報を入手できる解説本、マニュアル、インターネットの索引・検索テキストブックの発行などをやって欲しい。

⑥ 介護保険制度・事業全般について（21件）

- ・介護保険制度の中身がわかりにくい。制度でどのような支援があるのか、色々な支援の内容がわかりにくい。どこに相談し、どこに連絡するかを悩む。
- ・介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、たくさんのグループ活動がありますが、もう少し地域を小さく分けてほしい。遠くて参加できません。
- ・要支援とか要介護とかの査定に際し、実際に質疑応答して、体の不自由さを見ているにもかかわらず、市の査定結果が厳しく、評価結果に不満が残る。
- ・日常的な細やかなサービス（たとえば、換気扇の掃除等）も受けられるようにして欲しいと思います。
- ・働く年代の人が高齢者の世話のために職を離れさせてはいけない。きちんと働いて税金を納めて頂き、それにより介護施設を充実させるのがよいと思う。

⑦ 施設・居住系サービスについて（16件）

- ・民間の施設は高く、なかなか入所出来ない状況であることから、安く入居できる特別養護老人ホーム等を増設し、待たずに入居できるようにして欲しい。
- ・1人で入浴することは非常に不安です。他市のように月に数回の銭湯の補助とか、高齢者用の入浴設備があればうれしいです。

⑧ 生活の不安・困りごとについて（14件）

- ・今後、高齢化していくことに対する不安があります。
- ・一人暮らしの生活者ですので突然の事態の時にどうしてよいかの不安があります。

⑨ 病院・医院について（14件）

- ・清瀬市は本格的なリハビリ専門の場所がありません。希望として送迎車付きでサポーターや理学士さんが充実した機械の設置がされている場所が欲しいです。
- ・市内のクリニックや病院・診療所など医療機関の連携を組織的に運用できるようになれば、もっと住みやすく安心して生活できるような気がします。

⑩ 相談・サービス利用手続きについて（11件）

- ・高齢化していくのに対応して、その不安を気軽に相談できる窓口、仕組みの充実、またはその不安をお互い話し合える機会があればと思います。
- ・いざ、要介護になったとき、どうしたらよいかわからない。支援・介護の制度、相談窓口、利用の手順・マニュアルなどについて具体的な指導が欲しい。
- ・介護110番のような、もし必要になったときに、「ココに連絡してください。」という電話なり窓口があると良いと思います。
- ・動ける力が衰える高齢者には公的な書類を支度するのはかなり重労働で、申請に手こずりそうなので、公共機関の連携をお願いしたい。
- ・自分は超高齢者なので定期的な訪問、相談などについて目を向けて欲しい。

⑪ 生きがい・社会参加について（11件）

- ・高齢者があまり動いていないように思う。そのような人が健康のためにもっと散歩するような所が欲しい。
- ・高齢者は体力の利用は無理、知力は活用すべき。例えば、自治体で生徒・児童のための塾を開設し、ヒマのある高齢者を講師として活用する。
- ・月2回程度、みんなで楽しく歌える会を立ち上げることを考えて欲しい。
- ・近所や町内会で触れ合う機会を「市」で企画立案して年間1~2回でもあれば情報交換も生まれてお互いに助け合いも出来ると思われれます。
- ・気軽に行ってみたい公共の施設があれば良い。ちょっと寄って人と話しようとかという場があれば良い。

⑫ 移動手段について（8件）

- ・きよバスのコースを、市役所を通るようにするなり、野塩3丁目50番地柳原住宅前を通るなりして欲しい。
- ・きよバスの本数を増やして欲しい。
- ・きよバスが市内を行き来しているが、乗客はほとんど見られない。市全体として見れば効率の悪いバスだと思うので、廃止し、その予算を他の福祉予算に回してはどうか。

⑬ 介護予防について（7件）

- ・健康づくりや介護予防に力を入れ、高齢者も可能な限り仕事に就くようにさせ、健康な老後を送るように自立を支援していく施策を充実して欲しい。
- ・高齢者になると、膝に来る人が多いようです。そのため、歩くことが大事ですので、万歩計でも配って頂けたら嬉しいです。
- ・子供に食育があり、給食を提供しているように、老人にも栄養食の給食を提供する食堂が欲しい。市役所、包括支援センター、福祉大学、看護大学、明治薬科大学等の食堂開

放を望む。

- ・清瀬市コミュニティプラザの「友遊」を、なんとか継続して欲しい。

⑭ 地域づくり・まちづくりについて（5件）

- ・歩道が車椅子で安心していけるようになっていないと感じるので、身障者・高齢者が安心して歩行できる道づくりをして欲しい。
- ・けやき通りから市役所へ行く歩道が狭く、段差が多くて高齢者にとって歩くのが大変である。
- ・畑が住宅地になる時、道路側に必ず歩道を設置するよう市条例をつくって欲しい。

⑮ 介護サービス事業者について（4件）

- ・介護業務に携わる方の資質の向上とそれを支援する仕組みの導入及び、民間施設を含め定期的な市による監視の実施が必要であると思います。

⑯ その他（4件）

- ・清瀬市は人口も少なく高齢化で財政も厳しいと思います。従って行える福祉事業やサービスも限度があると思いますので、充実のためには都や近隣の都市と共同（合併も含めて）で進めていく必要があると思います。
- ・臨終の直前までこの地域（自宅）に住み続けたい。そのためには近隣コミュニティの住む環境、人間関係など高いレベルにするために努力し、友人、知人との協力を惜しまないつもりです。
- ・市からのスピーカーでの情報受領は拡声器（スピーカー）の音が聞きづらくて聞こえないので、地震・台風等の情報の入手手段が困難です。

第3章 要介護認定1～5の方への調査

1. 基本属性

問1 はじめに、この調査票に記入される方をお教えてください。(1つに○)

調査票への記入者は、回答者数 445 人に対して、「主な介護者となっている家族・親族」が 51.2%と最も多く、「あて名のご本人が記入」が 38.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 2.2%、「その他」が 2.0%となっています。

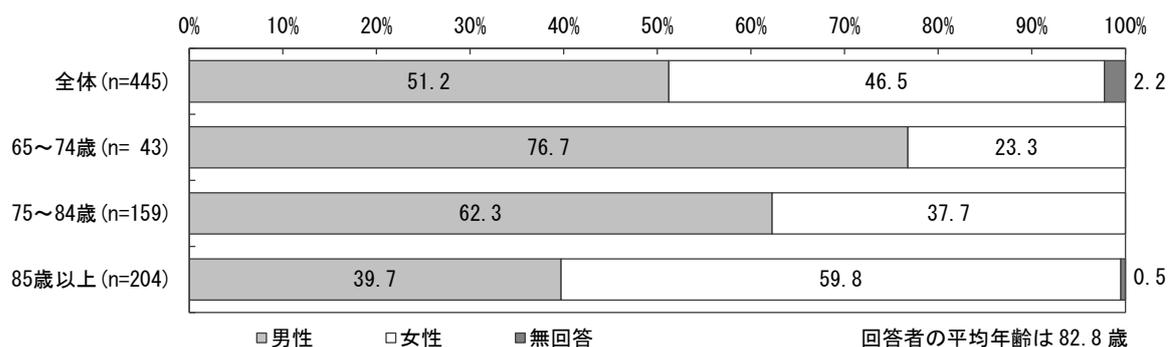
なお、「無回答」は 29 人で、全体の 6.5%となっています。

	回答者 (人・%)	あて名のご本人が記入	主な介護者となっている 家族・親族	親族 主な介護者以外の家族・ 親族	その他	無回答
全体	445	169	228	10	9	29
	100.0	38.0	51.2	2.2	2.0	6.5

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と令和元年10月1日現在の年齢をお教えてください。(1つに○)及び(記述式)

本人の性別は、「男性」が 51.2%、「女性」が 46.5%であり、女性よりも男性のほうが多くなっています。

年齢別では、65～74歳及び75～84歳では、「女性」よりも「男性」の方が多く、85歳以上では、男性よりも女性のほうが多くなっています。

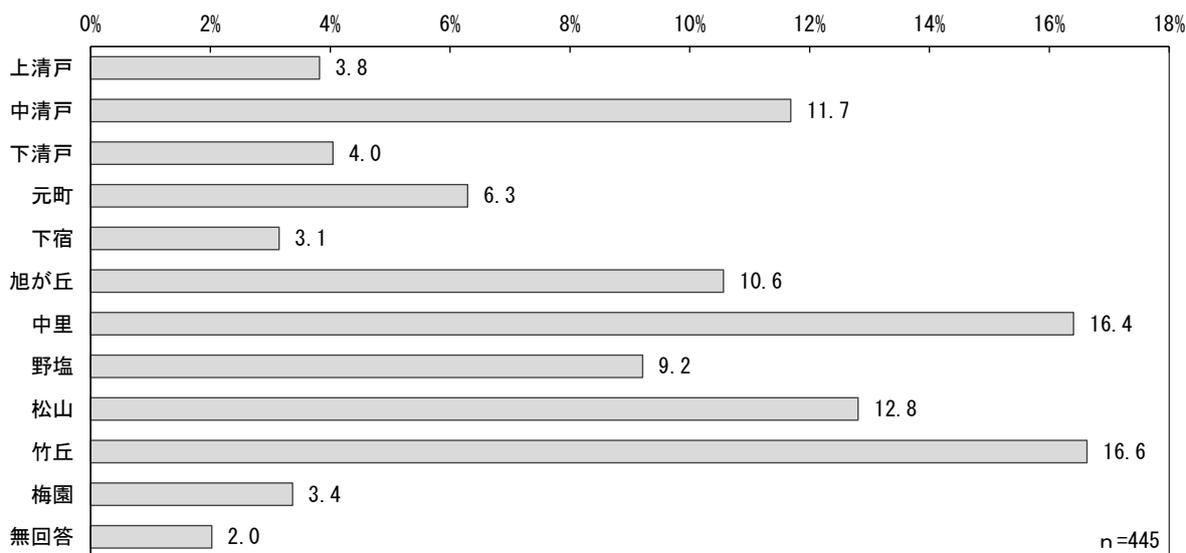


注) 回答者には 64 歳以下 19 人が含まれていましたが、本アンケート調査が 65 歳以上を対象とした調査であるため、全体集計には含めるものの、年齢別集計では表記しないこととしました。(以下、同じ) 全体集計の総数と年齢別集計の総数が異なるのは、年齢別集計に 64 歳以下及び無回答を含んでいないためです。また、その他の個別集計の総数と全体集計の総数が異なるのは、無回答を含んでいないためです。(以下、同じ)

問3 お住まいの地区、丁目について、それぞれ1つに○をしてください。

回答者の居住地区では、竹丘地区が74人（16.6%）と最も多く、下宿地区が14人（3.1%）と最も少なくなっています。

地区別の年齢区分をみると、65～74歳及び75～84歳では、中里地区の割合が多くなっており、85歳以上では、竹丘地区の割合が多くなっています。



	上清戸	中清戸	下清戸	元町	下宿	旭が丘	中里	野塩	松山	竹丘	梅園	無回答
全体	17	52	18	28	14	47	73	41	57	74	15	9
	3.8	11.7	4.0	6.3	3.1	10.6	16.4	9.2	12.8	16.6	3.4	2.0
1丁目	11	9	8	13	8	7	6	6	26	27	0	
	2.5	2.0	1.8	2.9	1.8	1.6	1.3	1.3	5.8	6.1	0.0	
2丁目	5	11	2	9	4	22	11	11	15	28	4	1
	1.1	2.5	0.4	2.0	0.9	4.9	2.5	2.5	3.4	6.3	0.9	0.2
3丁目		2	2		0	3	11	3	14	14	10	
		0.4	0.4		0.0	0.7	2.5	0.7	3.1	3.1	2.2	
4丁目		13	1			0	18	7				
		2.9	0.2			0.0	4.0	1.6				
5丁目		12	4			7	5	10				
		2.7	0.9			1.6	1.1	2.2				
6丁目						5	14					
						1.1	3.1					
無回答	1	5	1	6	2	3	8	4	2	5	1	8
	0.2	1.1	0.2	1.3	0.4	0.7	1.8	0.9	0.4	1.1	0.2	1.8

	回答者(人・%)	上清戸	中清戸	下清戸	元町	下宿	旭が丘	中里	野塩	松山	竹丘	梅園	無回答
全体	445	17	52	18	28	14	47	73	41	57	74	15	9
	100.0	3.8	11.7	4.0	6.3	3.1	10.6	16.4	9.2	12.8	16.6	3.4	2.0
65～74歳	43	0	8	1	1	0	5	12	4	5	7	0	0
	100.0	0.0	18.6	2.3	2.3	0.0	11.6	27.9	9.3	11.6	16.3	0.0	0.0
75～84歳	159	12	13	8	10	8	19	30	14	18	23	3	1
	100.0	7.5	8.2	5.0	6.3	5.0	11.9	18.9	8.8	11.3	14.5	1.9	0.6
85歳以上	204	4	29	9	12	4	18	25	21	32	39	10	1
	100.0	2.0	14.2	4.4	5.9	2.0	8.8	12.3	10.3	15.7	19.1	4.9	0.5

問4 あなた(あて名ご本人)の要介護度について、お教えてください。(1つに○)

本人の要介護度では、「要介護1」が41.3%と最も多く、要介護度が上がるにつれ少なくなっています。

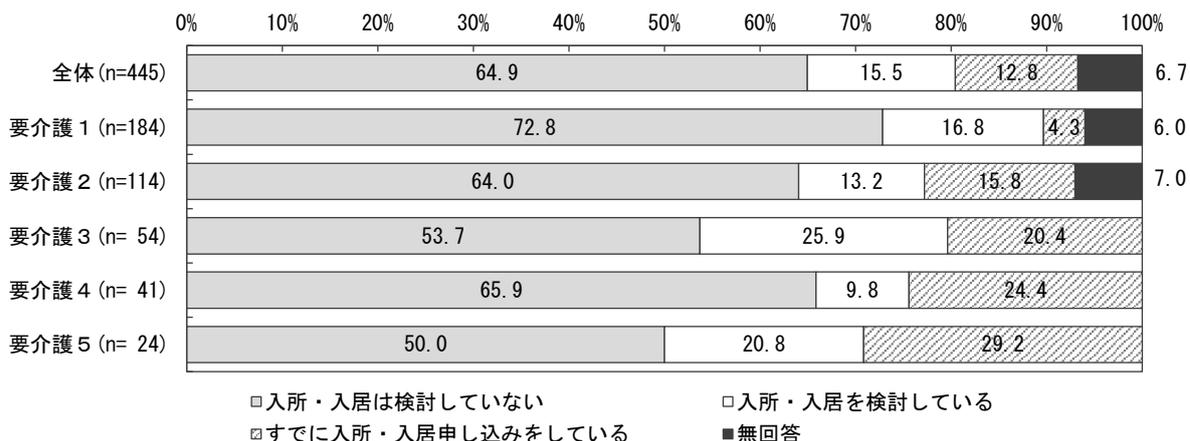
年齢別の要介護度の割合をみると、65～74歳では「要介護2」の割合が最も多く、75～84歳及び85歳以上では「要介護1」の割合が最も多くなっています。

	回答者(人・%)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体	445	184	114	54	41	24	13	15
	100.0	41.3	25.6	12.1	9.2	5.4	2.9	3.4
65～74歳	43	13	14	4	6	5	1	0
	100.0	30.2	32.6	9.3	14.0	11.6	2.3	0.0
75～84歳	159	76	42	17	7	11	4	2
	100.0	47.8	26.4	10.7	4.4	6.9	2.5	1.3
85歳以上	204	87	51	30	24	4	4	4
	100.0	42.6	25.0	14.7	11.8	2.0	2.0	2.0

問5 現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、お教えてください。(1つに○)

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が64.9%と最も多く、「入所・入居を検討している」は15.5%となっています。

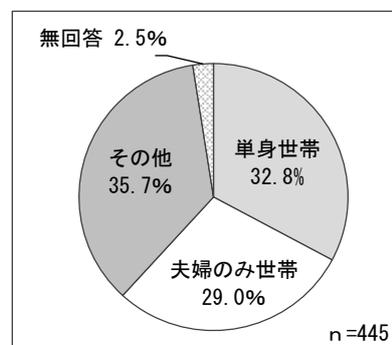
要介護度別の「入所・入居を検討している」割合をみると、要介護3で25.9%と最も多く、「すでに入所・入居申し込みをしている」では、要介護5が29.2%と最も多くなっています。



注) 「分からない」と「無回答」は表記せず。

問6 世帯類型について、お教えてください。(1つに○)

世帯類型では、「単身世帯」が32.8%、「夫婦のみ世帯」が29.0%、「その他」が35.7%となっています。なお、その他と回答された方の内訳をみると、「子ども(独身)との同居」が40.3%と最も多く、次いで「子ども世帯などとの同居(2世帯・3世帯)」が20.8%となっています。



■ その他と回答された方の回答内容

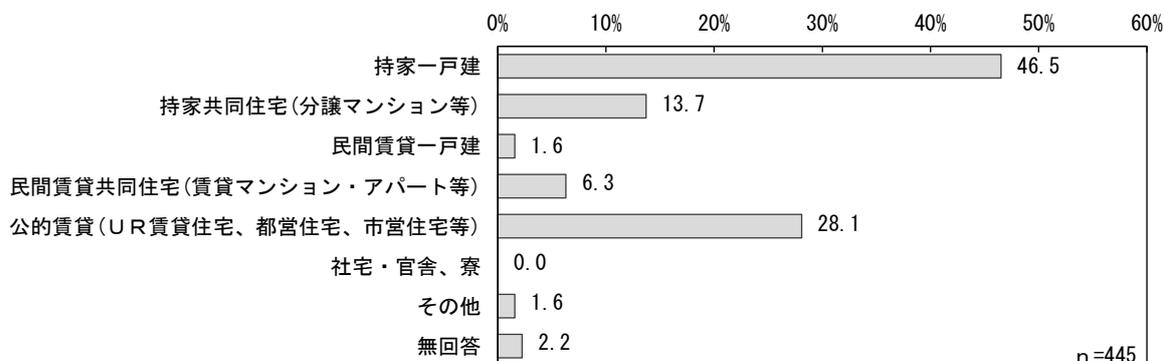
単位：%

順位	内容	回答率
1	子ども(独身)との同居	40.3
2	子ども世帯などとの同居(2世帯・3世帯)	20.8
3	兄弟姉妹	1.9
4	その他	6.3
5	無回答	30.7

注) 無回答は、「3 その他()」を選択された方で具体的記述がない n=159もの

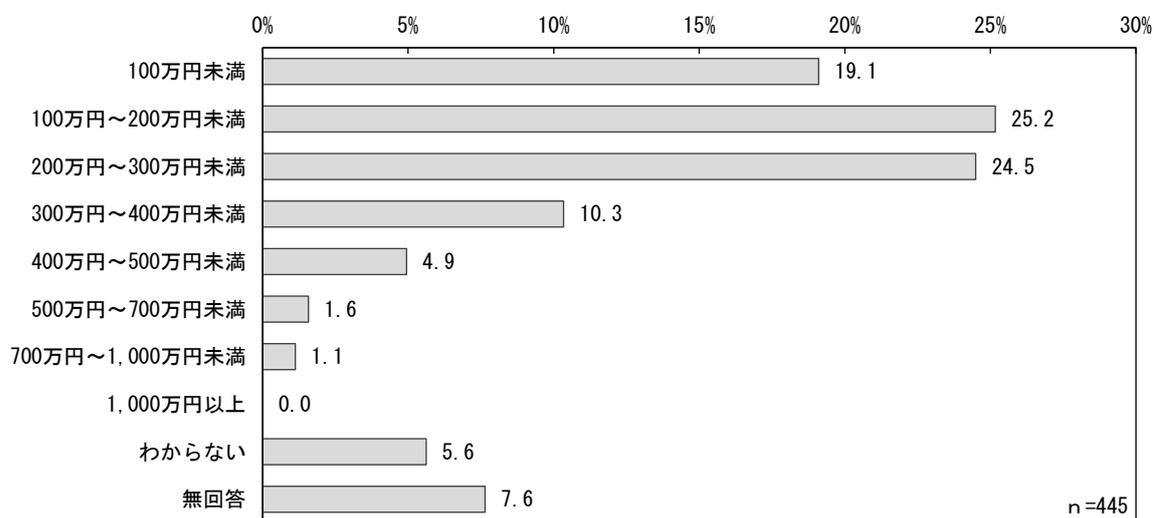
問7 お住まいの住宅の種類について教えてください。(1つに○)

お住まいの住宅の種類は、「持家一戸建」が46.5%と最も多く、次いで「公的賃貸（UR賃貸住宅、都営住宅、市営住宅等）」が28.1%、「持家共同住宅（分譲マンション等）」が13.7%となっています。



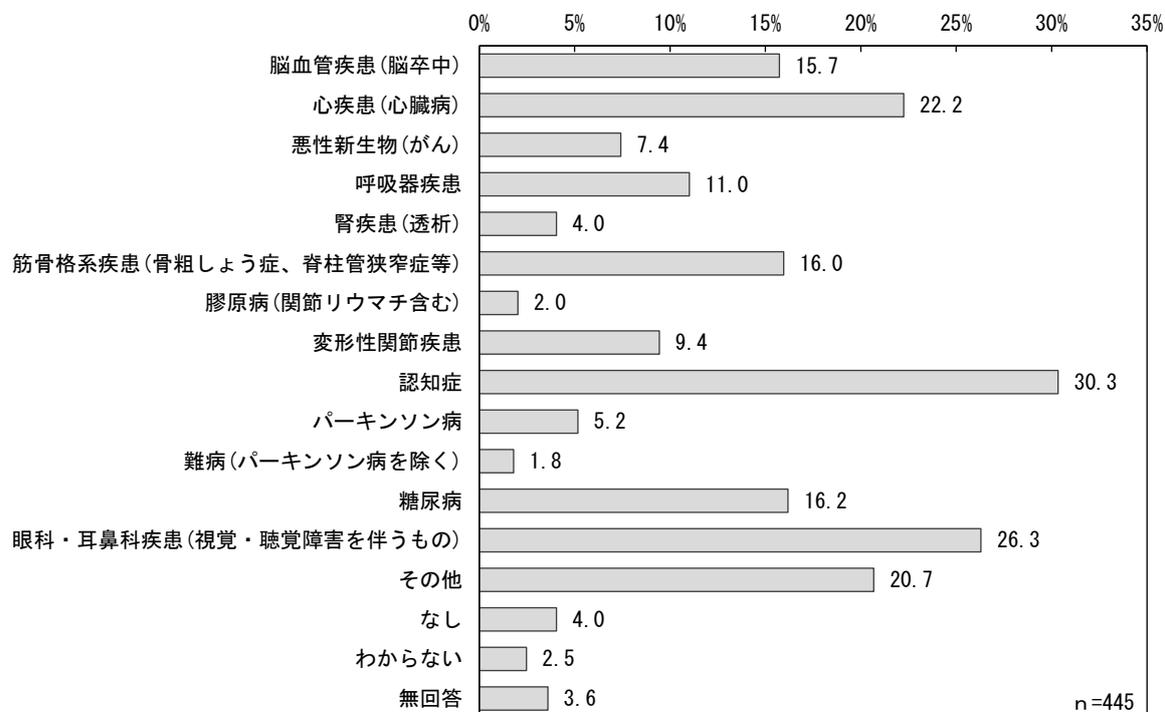
問8 あなたの年収額（年金、給料、仕送りなどすべて含み、配偶者がいる場合は、配偶者の収入も含まれます。）は合計でいくらくらいですか。(1つに○)

年収額は、「100万円～200万円未満」が25.2%と最も多く、「200万円～300万円未満」が24.5%、「100万円未満」が19.1%となっています。



問9 現在抱えている傷病について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

現在抱えている傷病では、「認知症」が30.3%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.3%、「心疾患（心臓病）」が22.2%となっています。



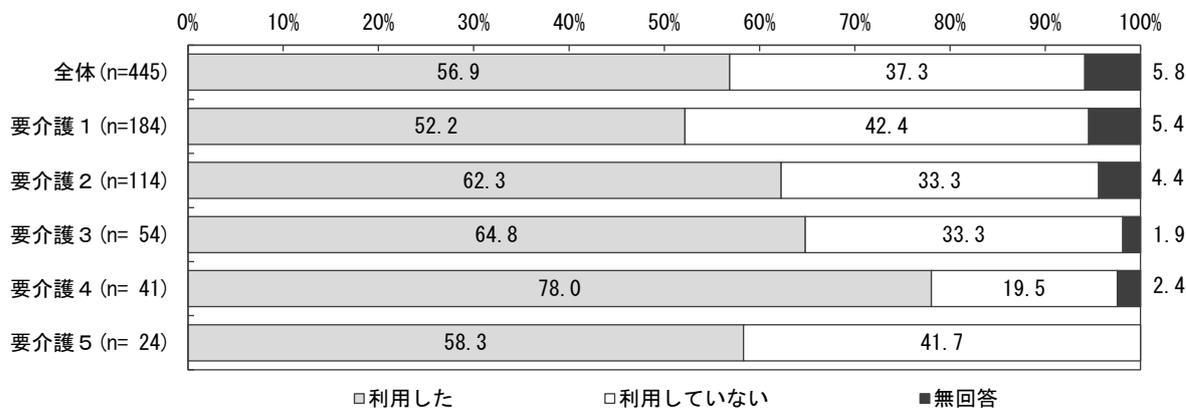
2. 介護保険サービスの利用状況について

結果のポイント

在宅サービスは、要介護者の半数以上で利用されており、特に、通所介護（デイサービス）の利用が多く、訪問リハビリテーションの利用は少ない状況となっています。また、サービスの利用によって、「精神的に楽になった」との回答が多い一方、「金銭的な負担が増えた」という回答も多くなっています。その他、サービスを利用していない方の利用していない理由では、「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっていますが、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護するため必要ない」といった回答も多くなっています。

問 10 令和元年 10 月の 1 か月の間に（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険の在宅サービスを利用しましたか。（1 つに〇）

介護保険の在宅サービスの利用状況は、全体では「利用した」が 56.9%、「利用していない」が 37.3%となっており、要介護度別の利用割合をみると、要介護 4 での利用が 78.0%と最も多く、要介護 1 での利用が 52.2%と最も少なくなっています。



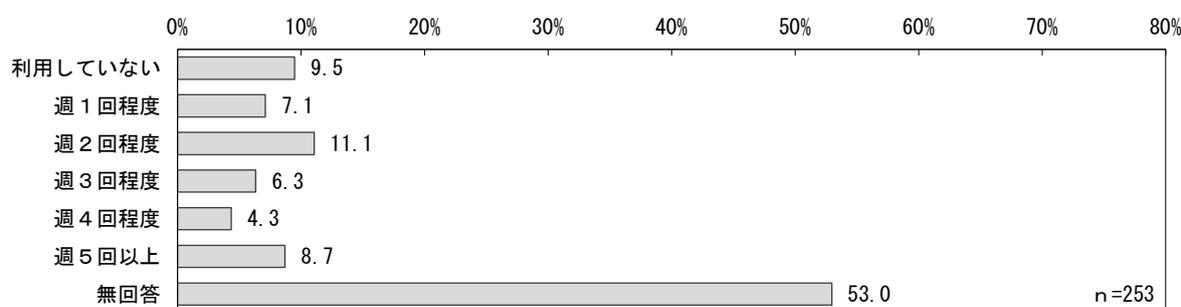
問11 問10で「1 利用した」を選んだ方におたずねします。

以下の介護保険サービスについて、令和元年10月の1か月の間の利用状況をお教えてください。（対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。）

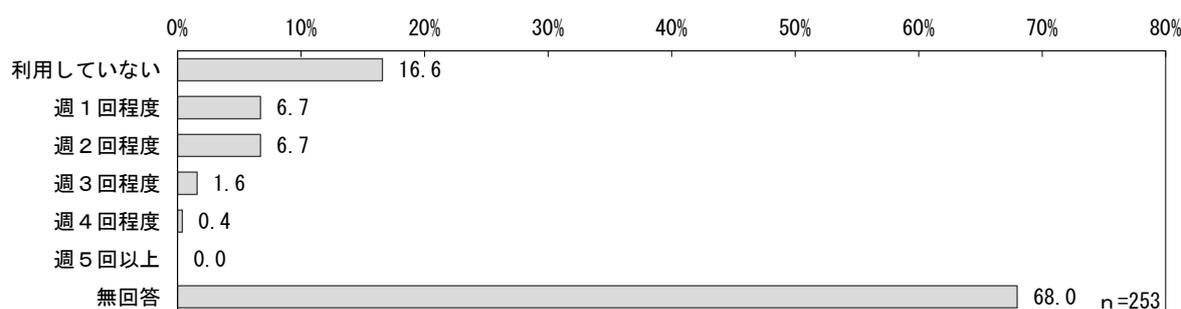
問11（1）令和元年10月、1週間にどの位利用しましたか。（それぞれ1つに○）

令和元年10月の1週間の介護保険サービスの利用状況では、訪問介護（ホームヘルプサービス）及び通所介護（デイサービス）では、「週2回程度」の利用が最も多く、訪問看護では「週1回程度」の利用が最も多くなっています。また、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーション（デイケア）では、「利用していない」と回答された方の割合が最も多くなっています。

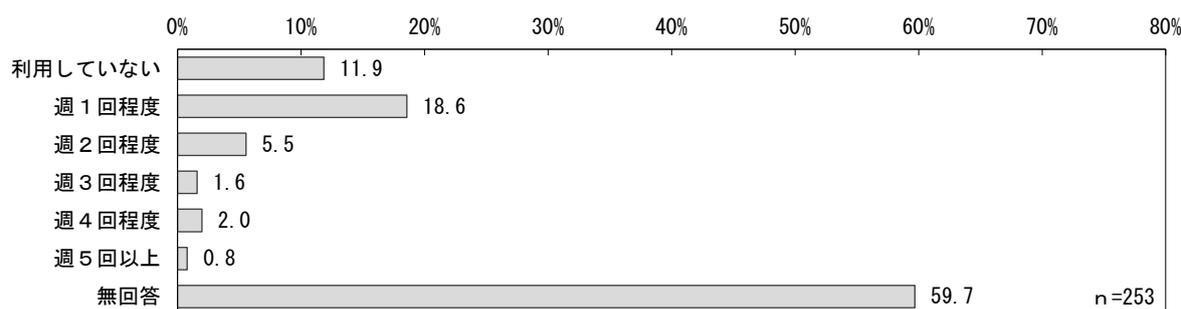
■ 訪問介護（ホームヘルプサービス）



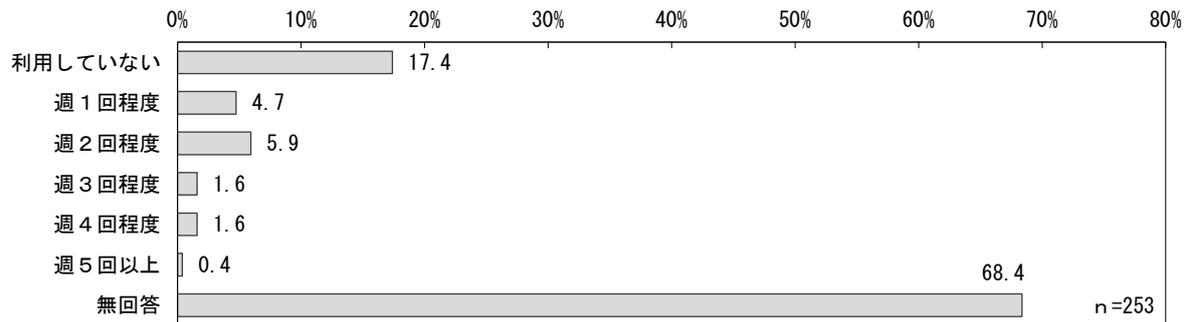
■ 訪問入浴介護



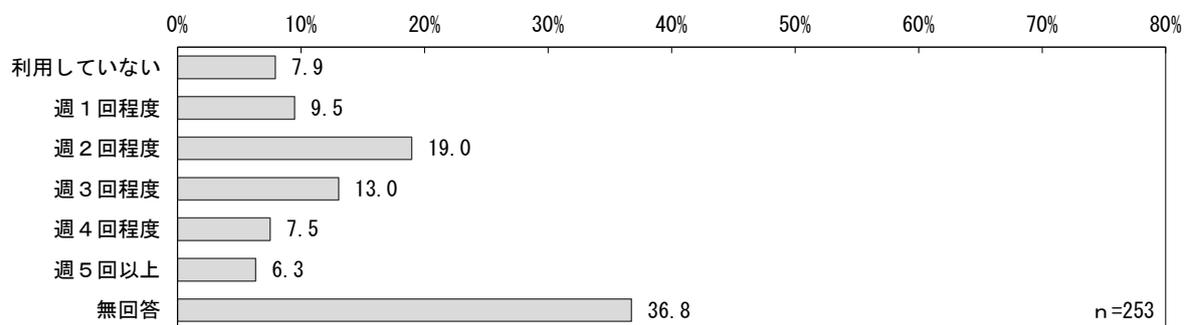
■ 訪問看護



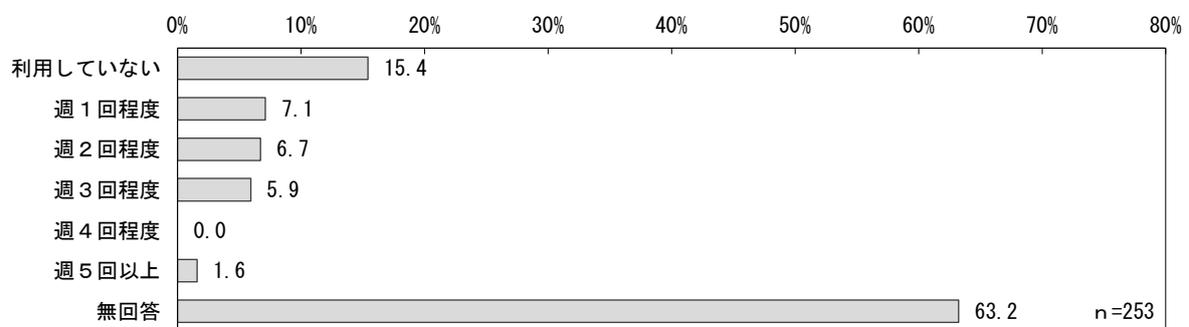
■ 訪問リハビリテーション



■ 通所介護（デイサービス）



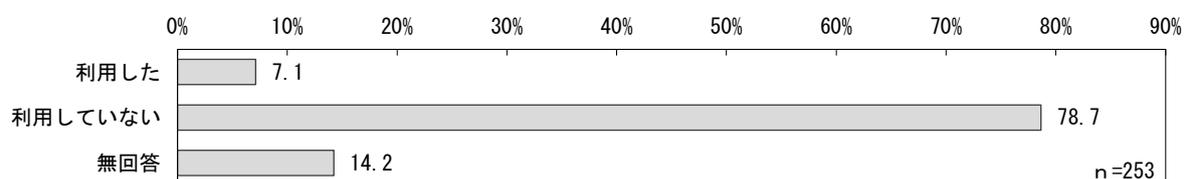
■ 通所リハビリテーション（デイケア）



問 11（2）令和元年10月に、以下のサービスを利用しましたか。（1つに○）

令和元年10月の看護小規模多機能居宅介護の利用状況では、「利用した」が7.1%、「利用していない」が78.7%となっています。

■ 看護小規模多機能居宅介護

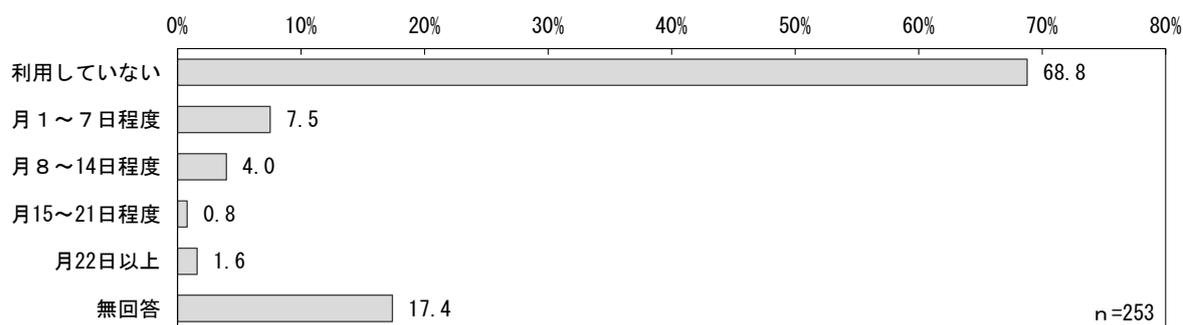


問 11 (3) 令和元年 10 月に、以下のサービスを利用しましたか。(それぞれ 1 つに○)

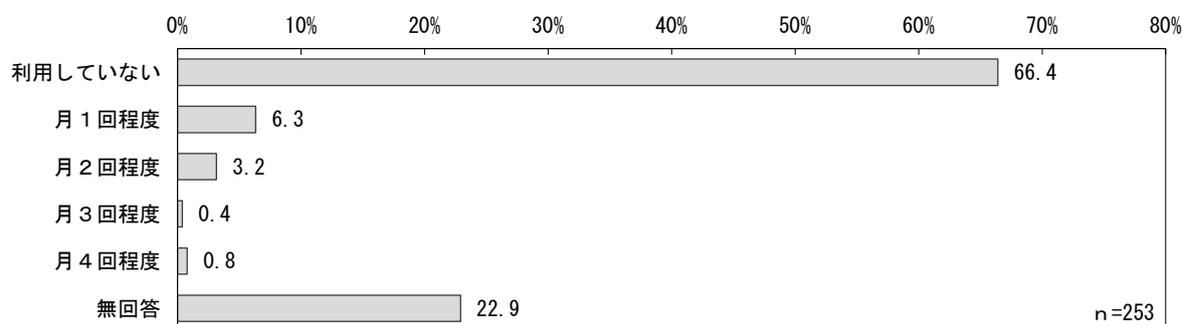
令和元年 10 月のショートステイの利用状況では、「利用していない」が 68.8%と最も多く、次いで「月 1～7 日程度」が 7.5%となっています。

令和元年 10 月の居宅療養管理指導の利用状況では、「利用していない」が 66.4%と最も多く、次いで「月 1 回程度」が 6.3%となっています。

■ ショートステイ

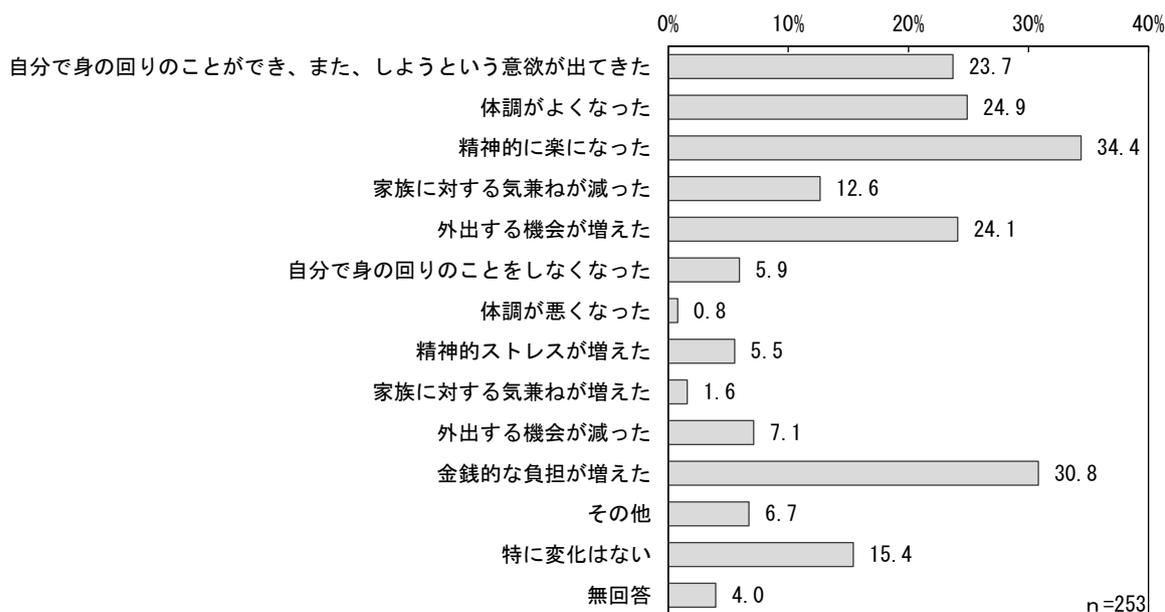


■ 居宅療養管理指導



問 11 (4) 介護保険サービスを利用することで、あなた（あて名のご本人）の生活にどのような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

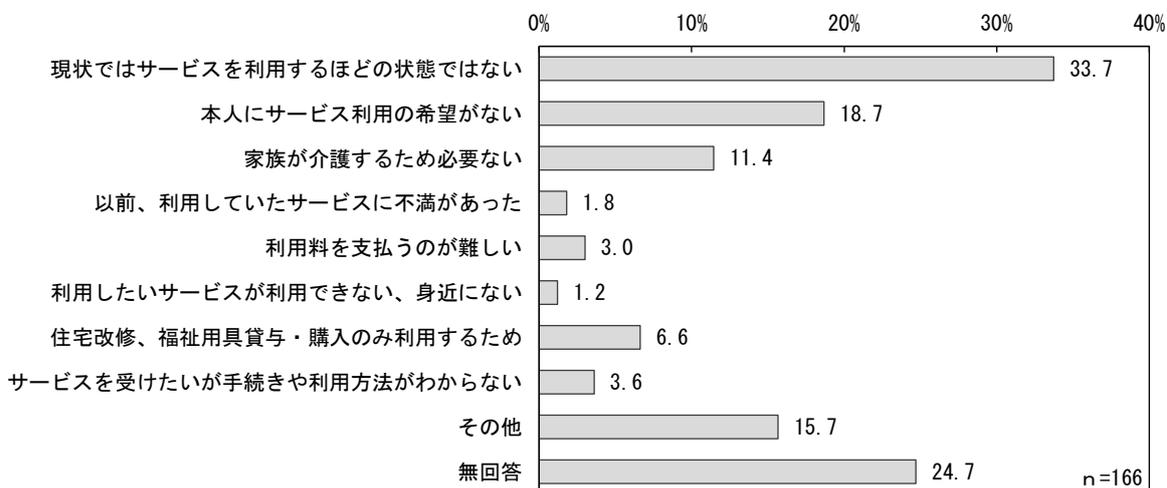
介護保険サービスを利用することによる生活の変化については、「精神的に楽になった」が34.4%と最も多く、次いで「金銭的な負担が増えた」が30.8%、「体調がよくなった」が24.9%、「外出する機会が増えた」が24.1%、「自分で身の回りのことができ、また、しようという意欲が出てきた」が23.7%となっています。



問 12 問 10 で「2 利用していない」を選んだ方におたずねします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービスを利用しない理由では、「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」が33.7%と最も多く、次いで、「無回答」を除き、「本人にサービス利用の希望がない」が18.7%となっています。



3. 家族の介護について

**結果の
ポイント**

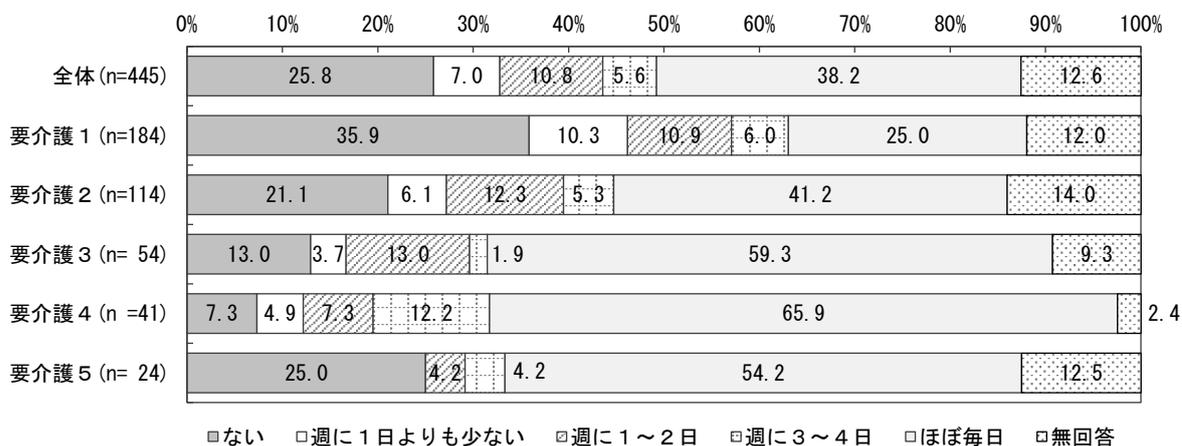
家族や親族の方からの介護の頻度では、要介護1の方を除き、「ほぼ毎日」との回答が最も多くなっており、主な介護者の方が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「入浴・洗身」の割合が多くなっています。

過去1年間に、介護を理由に、主な介護者が仕事を辞めた割合は、前回調査（※第7期計画策定時調査（平成28年度）（以下、同じ））と比べて7.3%減少しています。

問13 すべての方におたずねします。

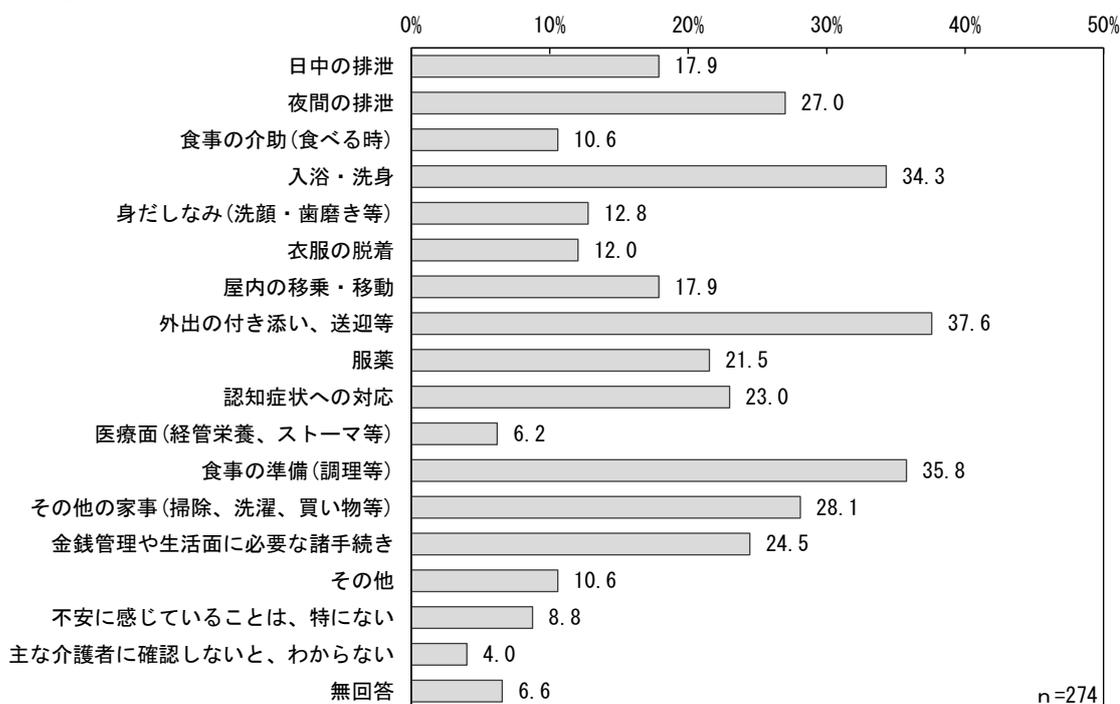
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどの位ありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

家族や親族の方からの介護の頻度について、全体では「ほぼ毎日」が38.2%と最も多くなっていますが、要介護1の方では「ない」が35.9%と最も多くなっています。また、「週に1日よりも少ない」割合においても要介護1の方の割合が多く、「週に3～4日」の割合では、要介護4の方の割合が多くなっています。



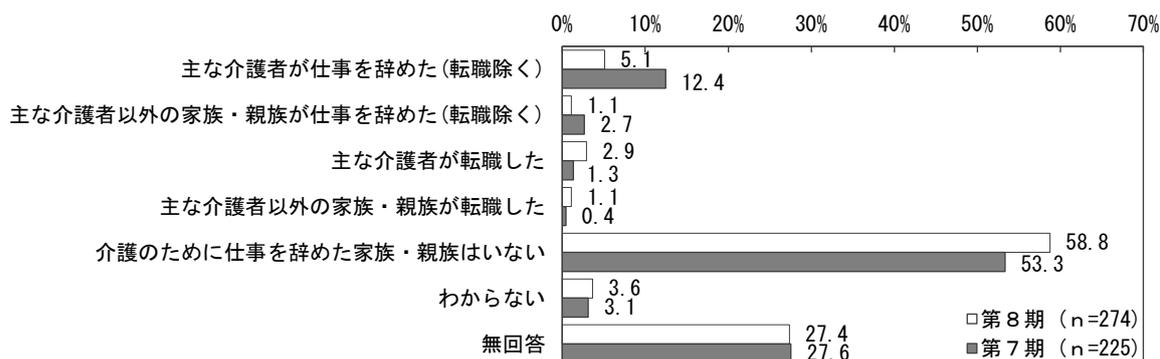
問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、お教えてください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまでに○)

現在の生活を継続していくにあたって、介護者が不安を感じる介護等では、「外出の付き添い、送迎等」が37.6%と最も多く、「食事の準備(調理等)」が35.8%、「入浴・洗身」が34.3%となっています。



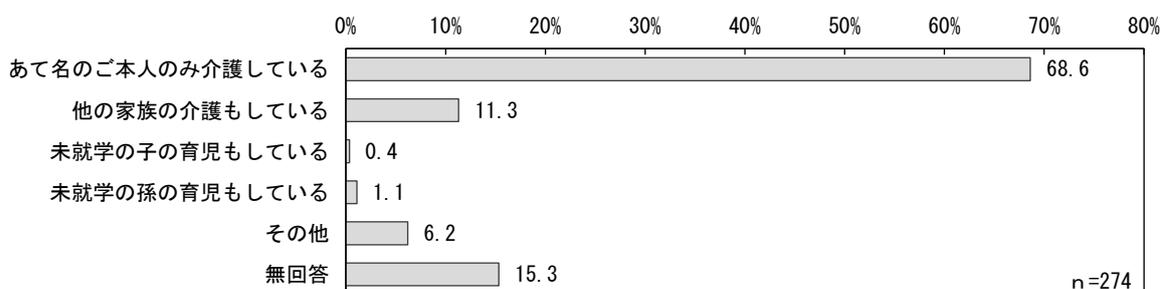
問 15 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者等の過去1年間の就労の状況では、介護を主な理由として、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」方の割合は5.1%となっており、前回調査と比べて7.3%減少していますが、「主な介護者が転職した」割合は、前回調査と比べて1.6%増加しています。



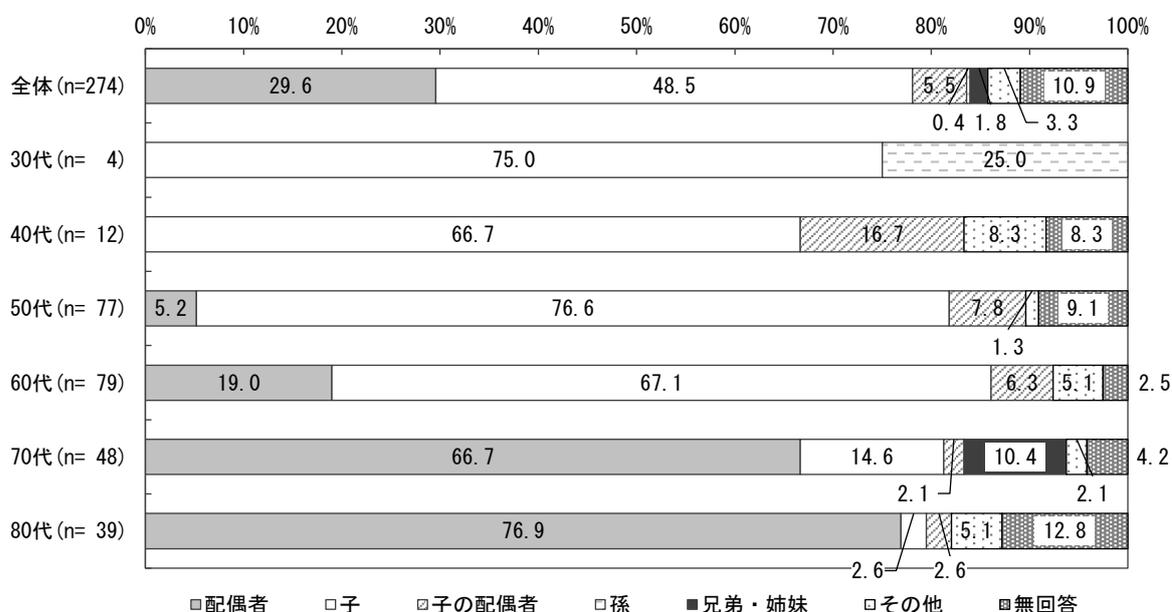
問 16 主な介護者の方は、あて名ご本人の介護以外に育児や他の家族の方の介護をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の方の介護の状況については、「あて名のご本人のみ介護している」が 68.6%と最も多くなっていますが、他の家族の介護や未就学の子・孫の育児も行っているダブル介護・ダブルケアの方の割合が 12.8%となっています。



問 17 主な介護者の方のご年齢と続柄について、教えてください。(1つに○)

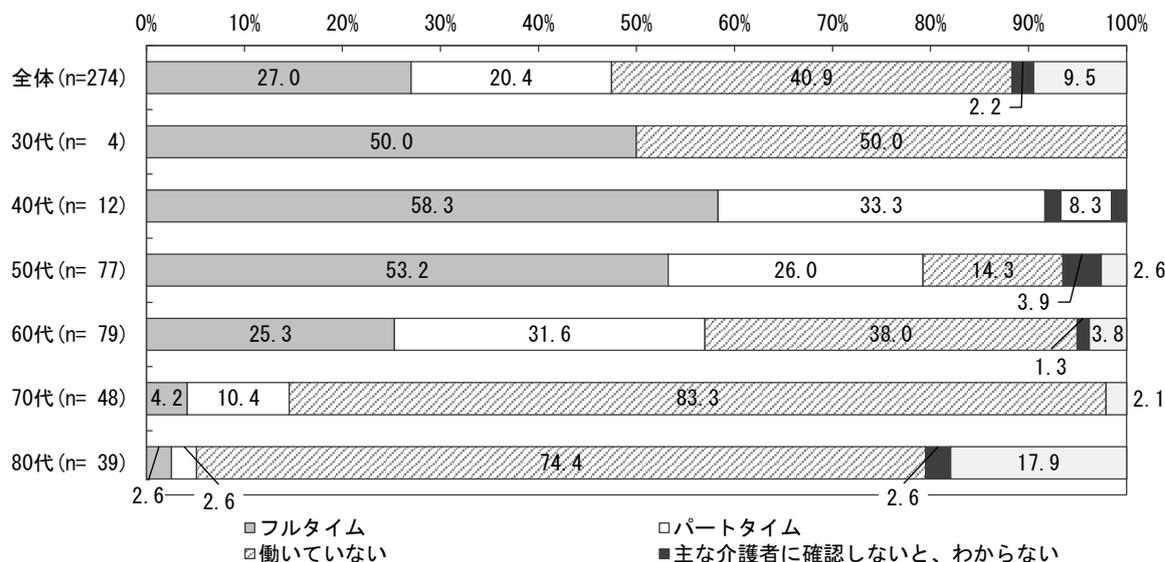
主な介護者の方のご年齢と続柄について、全体では「子」が 48.5%と最も多く、次いで「配偶者」が 29.6%となっています。70代以降は「子」よりも「配偶者」の割合が多くなっており、70代では 66.7%、80代では 76.9%が「配偶者」となっています。



注) 主な介護者として、20歳未満及び20代は0人だったため、記載を省略しています。(以下、同じ)

問 18 主な介護者の方の勤務形態について、お教えてください。(1つに○)

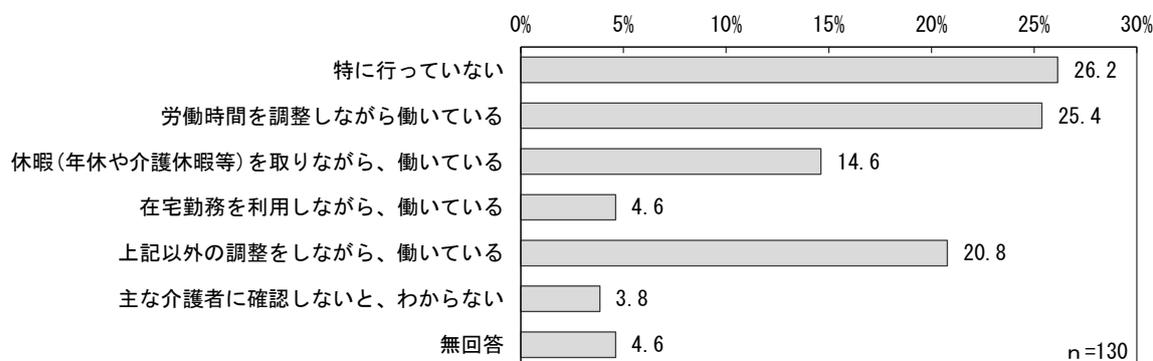
主な介護者の勤務形態では、「働いていない」が40.9%、「フルタイム」が27.0%、「パートタイム」が20.4%となっています。また、各年代別の勤務形態の差異が大きくなりました。



問 19 問 18 で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」を選んだ方におたずねします。

問 19 (1) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整をしていますか。(1つに○)

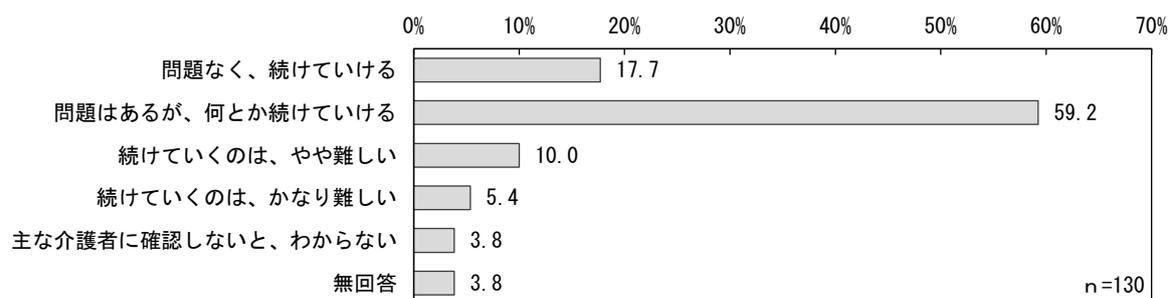
主な介護者の働き方の調整では、「特に行っていない」が26.2%と最も多く、次いで「労働時間を調整しながら働いている」が25.4%となっています。



注)「労働時間を調整しながら働いている」は、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」を略したものです。

問 19（2）主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに○）

主な介護者の方の、仕事と介護の両立については、「問題はあるが、何とか続けていける」が59.2%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が17.7%となっていますが、一方で、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた仕事と介護の両立が『難しい』と感じている方は15.4%となっています。



4. 認知症について

問 20 認知症のことについて

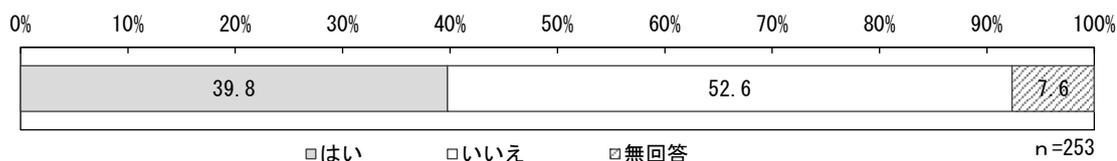
結果の ポイント

認知症に関する相談窓口や「認知症サポーター」の養成についての認知度は、3割～4割前後となっています。

また、認知症についての関心事では、認知症予防や症状に関すること、介護の仕方に関することが上位に挙げられています。

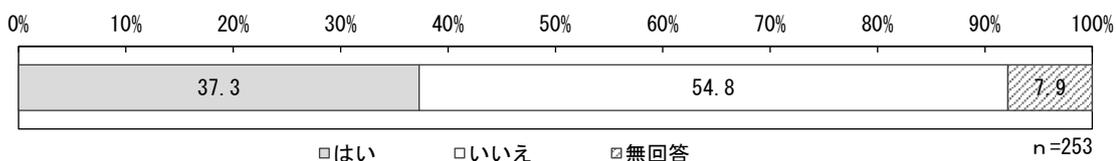
問 20（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。（1つに○）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる方は 39.8% となっています。



問 20（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（1つに○）

認知症相談窓口の認知度は 37.3% で、54.8% の方が知らないと回答しています。



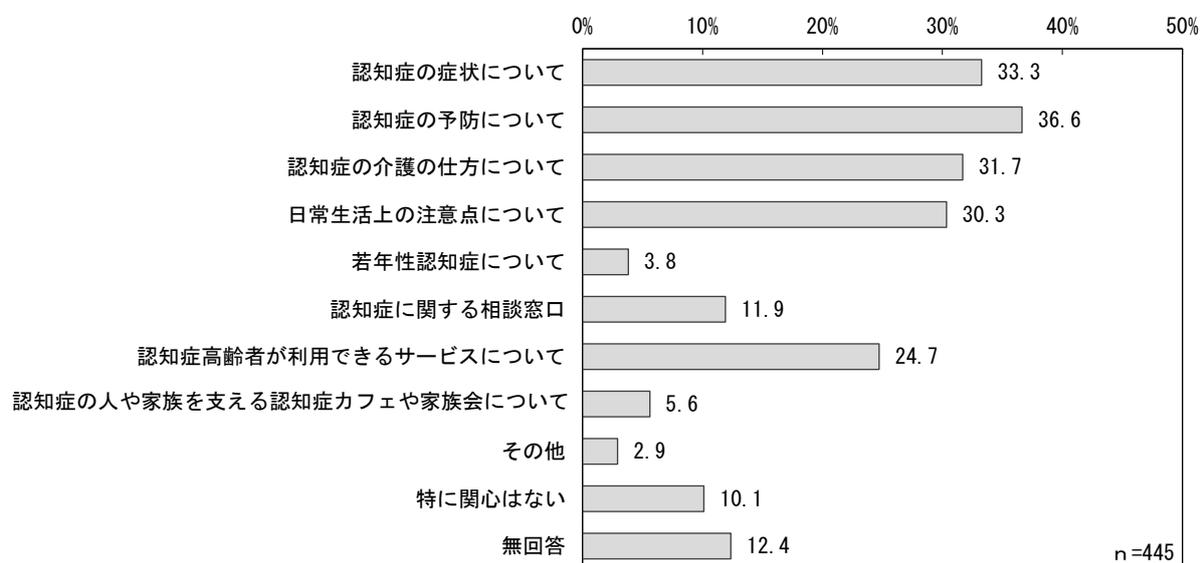
問 20（3）清瀬市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか。（1つに○）

「認知症サポーター」の養成の認知度は 29.0% で、64.5% の方が「認知症サポーター」の養成を知らないと回答しています。



問 20（4）普段、認知症についてどのようなことに関心がありますか。（3つまでに○）

認知症についての関心事では、「認知症の予防について」が36.6%と最も多く、次いで「認知症の症状について」が33.3%、「認知症の介護の仕方について」が31.7%となっています。



5. 困った時の相談先やケアマネジャーについて

結果のポイント

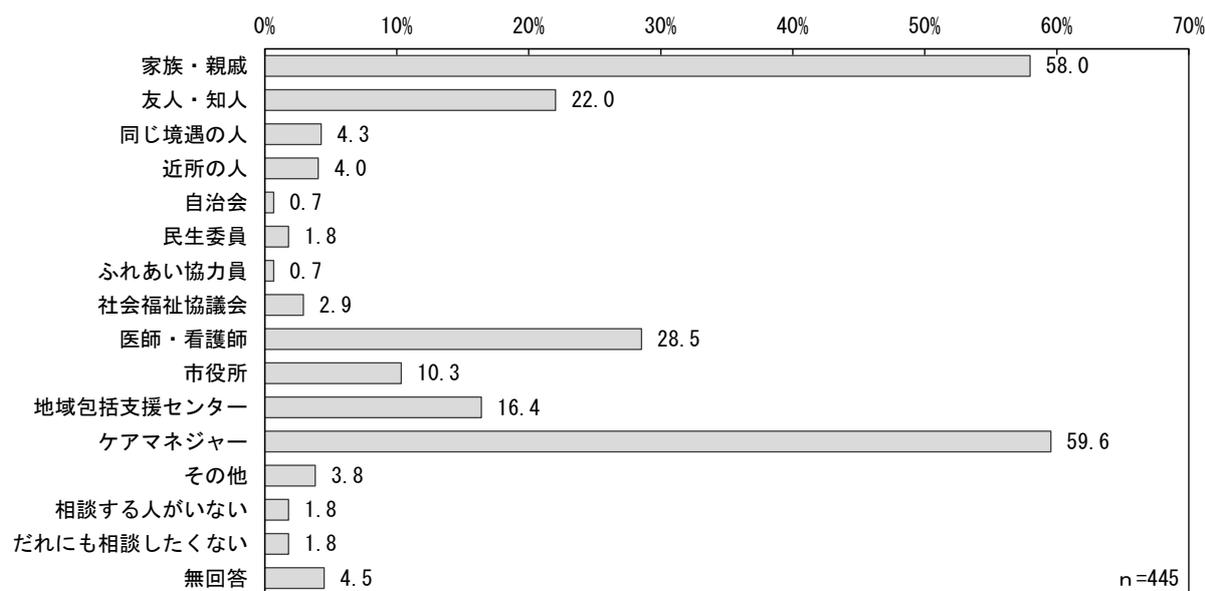
孤独感を感じる割合は、ニーズ調査の結果と比べて多くなっており、男性よりも女性のほうが、同居世帯よりも単身世帯のほうが多くなっています。
困ったときの相談先では「ケアマネジャー」が最も多く、ケアマネジャーの言葉遣いや態度には満足している一方、専門的な助言や援助を求める意見が多くなっています。

問 21 困ったときの相談先について

問 21 (1) あなたは、悩みや不安、困ったことがあるとき、どこに相談しますか。

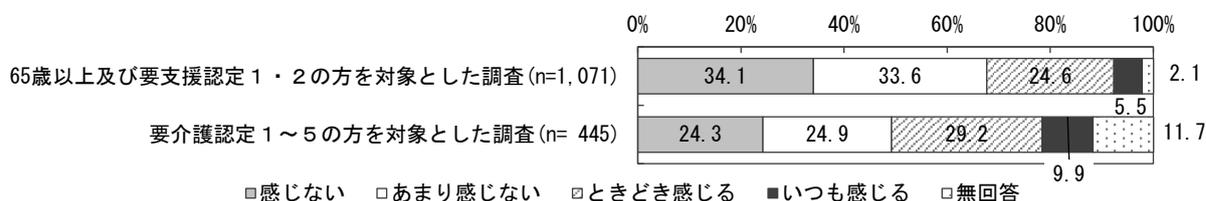
(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安、困ったことがあるときの相談先では、「ケアマネジャー」が 59.6%と最も多く、次いで「家族・親族」が 58.0%、「医師・看護師」が 28.5%となっています。

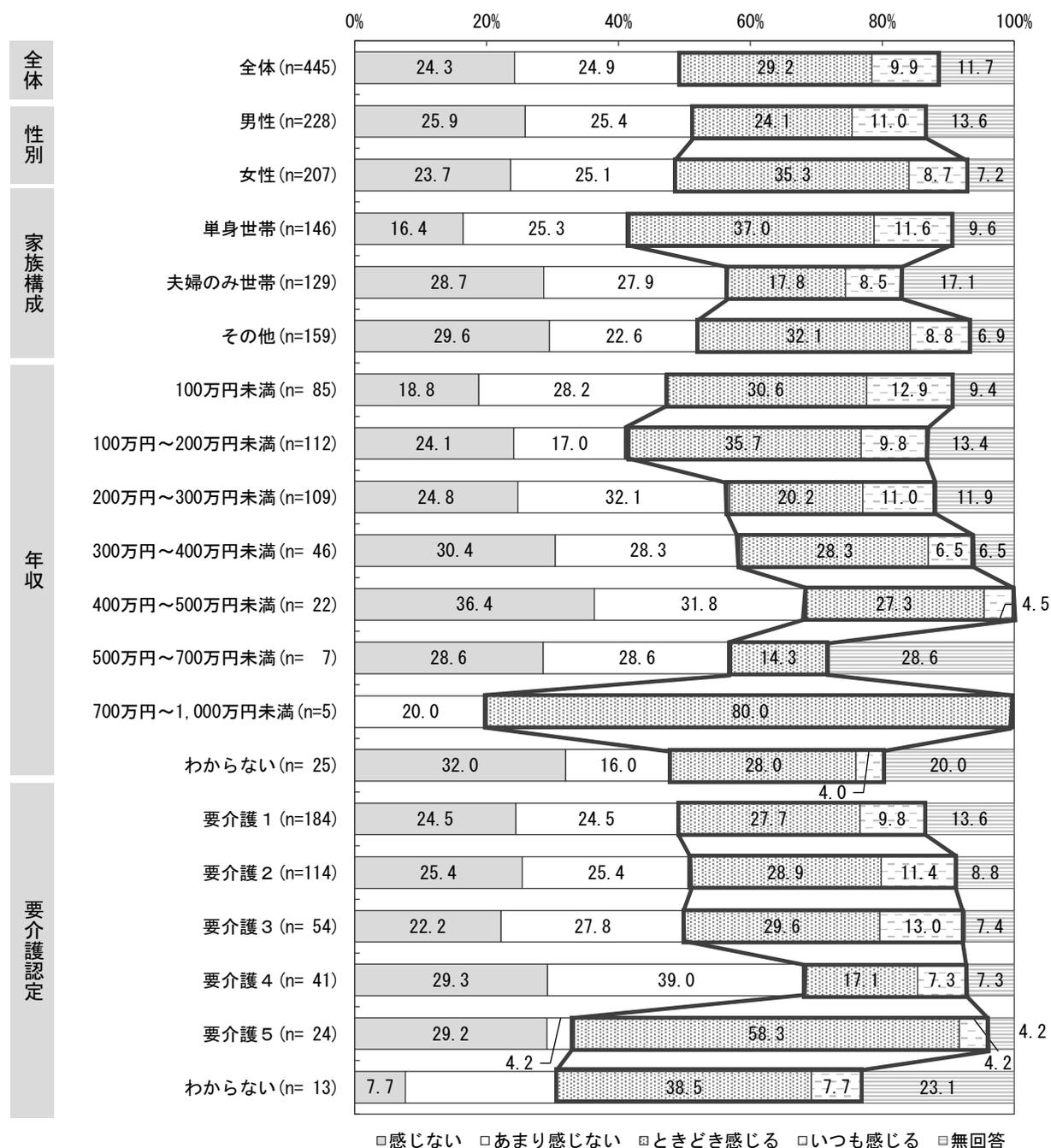


問 21 (2) あなたは、日常生活の中で孤独感を感じることはありますか。(1つに○)

日常生活の中での孤独感については、「ときどき感じる」が 29.2%と最も多く、「いつも感じる」と合わせた『(孤独感を)感じる』方の割合は 39.1%になっており、65歳以上及び要支援認定1・2の方を対象とした調査の結果と比べると 9.0%多くなっています。



「ときどき感じる」と「いつも感じる」を合わせた『(孤独感を)感じる』の割合を、性別や家族構成別などでみると、性別では「男性」よりも「女性」のほうが多く、家族構成別では「単身世帯」で多くなっています。また、年収別では、「100万円～200万円未満」で多く、要介護認定別では、「要介護5」で多くなっています。

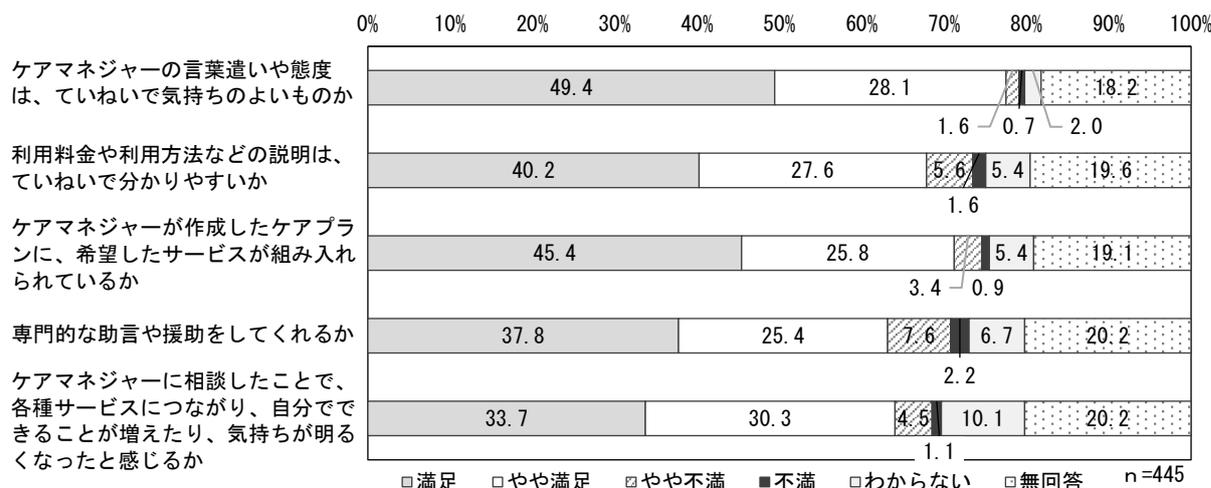


注) 年収1,000万円以上は、回答者が0人だったため、記載を省略しています。

問 22 ケアマネジャーがいる方にお伺いします。

ケアマネジャーが提供する以下のサービス等に対する満足度についてお答えください。

ケアマネジャーに対する満足度では、「言葉遣いや態度」が49.4%と最も高く、次いで「ケアプランに、希望したサービスが組み入れられている」が45.4%となっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』については、「専門的な助言や援助をしてくれるか」で9.8%と最も高くなっています。



問 23 ケアマネジャーに対するご意見・ご要望などございましたら、ご記入ください。

以下は、自由記載頂いたご意見を内容ごとに分類し、主要意見を抜粋・一部要約したものです。なお、掲載内容は、頂いたご意見をできるだけそのまま掲載しています。

① 感謝・激励 (44 件)

- ・丁寧に対応していただき、感謝している。
- ・お願いしたことに、すぐに行動していただけるので安心です。
- ・色々な助言を頂き、助かっています。
- ・色々な相談に乗ってくださるので、助かります。

② 対応の仕方について (11 件)

- ・介護に関する用語が使われるとわからないので、素人にもわかり易い言葉で話して欲しい。
- ・おしゃべりが多いが、話に内容がない。人を和ませるなり、体験談などを聞かせてもらえるとうれしい。
- ・要介護者の気持ちを分かっている、分かろうとしない感じがします。
- ・ケアマネジャーさんとじっくり話し合える機会がもてません。

③ 知識・経験について (4 件)

- ・認知症に関する知識、認識が今一步不足している感じがします。

- ・ひとつの相談をすると、ひとつの提案しか返ってこないなので、選択肢がない。
- ・健康管理の知識を増やして欲しい。医者に行くまでの予備知識を備えて、何が必要なのかを提案して欲しい。

④ 他の機関等との連携について（3件）

- ・ケアマネジャーと訪問看護との連携を密にして欲しい。
- ・整形外科に通院しながらデイサービスを受けているので、医師と体の状況について話を聞いて欲しい。
- ・退院後のリハビリなどの対応が遅れ気味になりやすかったので、医師との連携をうまくとって欲しかった。

⑤ ケアマネジャーの交代等について（3件）

- ・担当になったら長く続けて欲しい。前任者に戻って欲しい。
- ・合わないケアマネジャーの変更を希望してたが、大変なエネルギーを使った。

⑥ その他（1件）

- ・ケアマネジャーが決まる過程が分かりにくかった。

6. 各種事業やサービス等について

問 24 介護保険・福祉制度、サービスについて

結果の ポイント

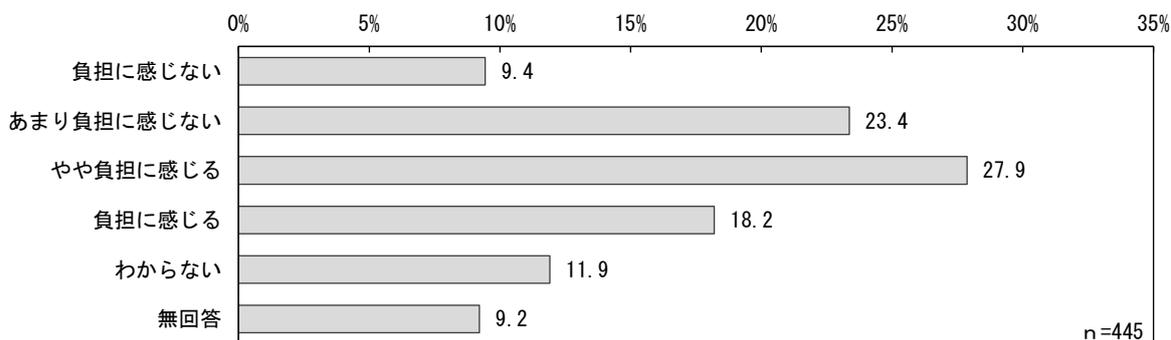
全体の5割弱の方が、介護保険料の支払いに負担を感じていますが、「介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない」という意見は11.0%にとどまっています。

今後の介護保険サービスの利用希望では、「デイサービス（施設へ通うサービス）」や「自宅でベッドや手すりを借りるサービス」、「ショートステイ（施設へ泊まるサービス）」などが上位に挙げられており、また、介護保険サービスに関して、市に望むことでは、「家族の介護負担の軽減」や「入所できる施設の充実」などが挙げられています。

その他、福祉に関する情報の入手先では、「ケアマネジャー」や「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」、「市の広報誌」の割合が多くなっています。

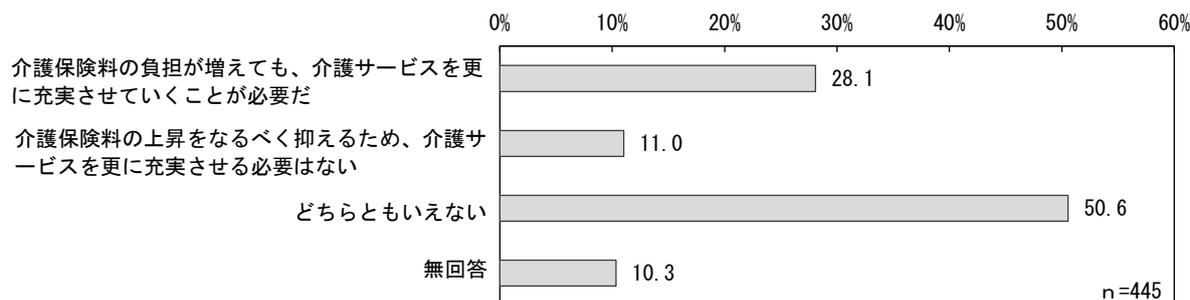
問 24（1）現在の介護保険料の支払いについて、どのように感じていますか。（1つに○）

介護保険料の支払いについて、「やや負担を感じる」が27.9%と最も多く、「あまり負担に感じない」が23.4%となっていますが、「負担を感じる」と「やや負担を感じる」を合わせた『負担と感じている』割合と、「負担に感じない」と「あまり負担に感じない」を合わせた『負担と感じていない』割合を比べると、『負担と感じていない』割合よりも『負担と感じている割合』が13.3%多くなっています。



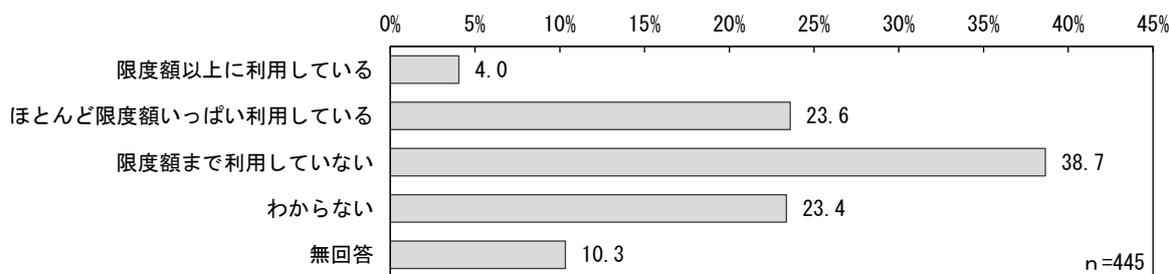
問 24（2）介護保険サービスを今後更に充実させるために、皆さんの介護保険料の負担が増えることについてどう思いますか。（1つに○）

介護保険サービスを更に充実させるための今後の負担に対する考え方について、「どちらともいえない」が50.6%と最も多く、「介護保険料の負担が増えても、介護サービスを更に充実させていくことが必要だ」が28.1%、「介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない」が11.0%となっています。



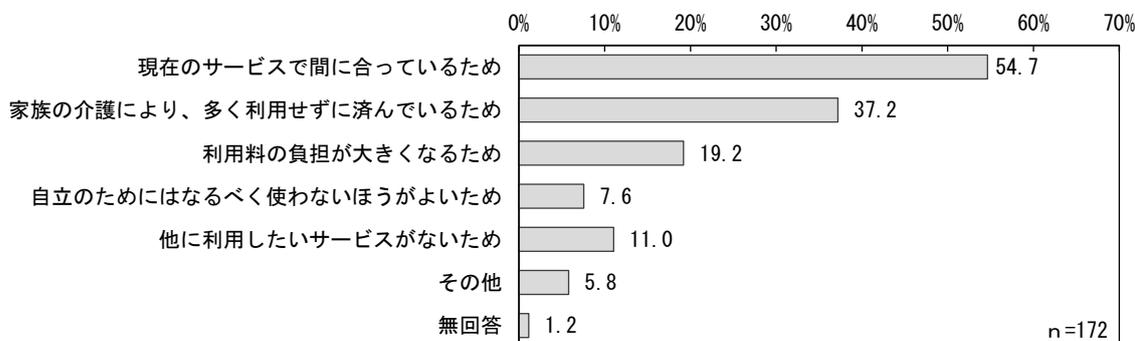
問 24（3）現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用されていますか。（1つに○）

介護保険サービスの利用程度について、「限度額まで利用していない」が38.7%と最も多く、次いで「ほとんど限度額いっぱい利用している」が23.6%となっています。



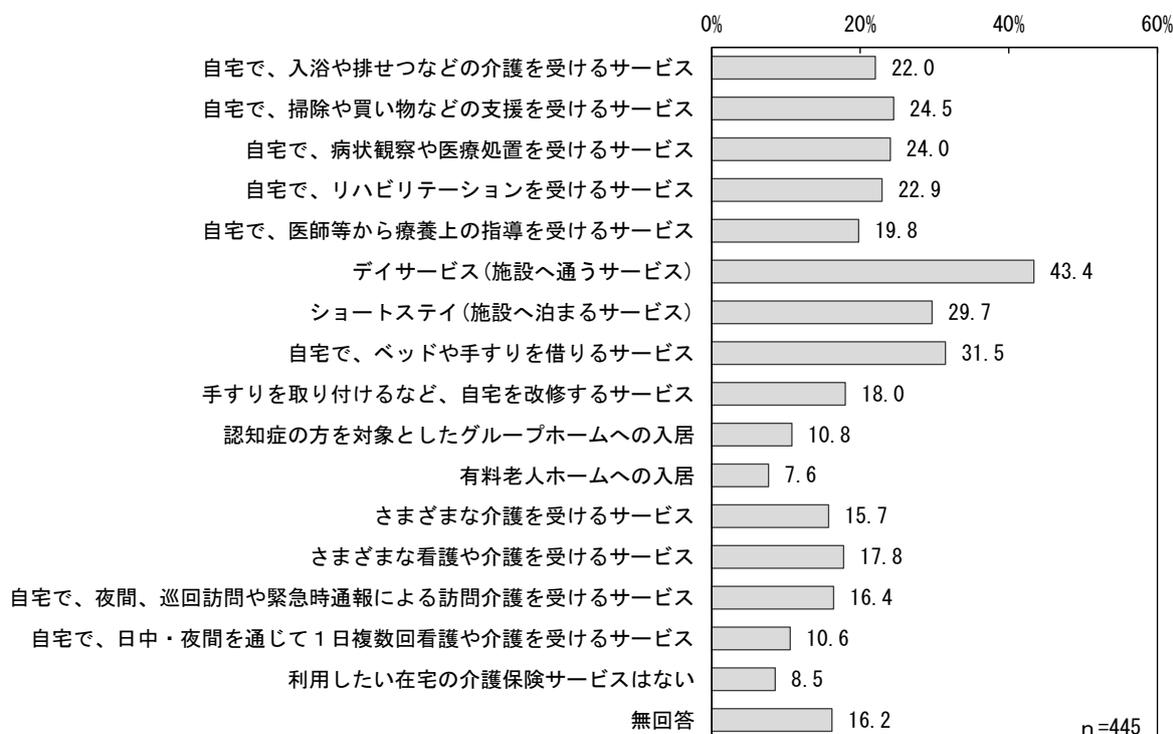
問 24（4）問 24（3）で「3 限度額まで利用していない」を選んだ方におたずねします。
 限度額まで利用していない理由は何ですか。（2つまでに○）

限度額まで利用していない理由では、「現在のサービスで間に合っているため」が 54.7%と最も多く、次いで「家族の介護により、多く利用せずに済んでいるため」が 37.2%となっています。



問 24（5）在宅の人が利用できる以下の介護保険サービスについて、利用したい・利用し続けたいサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

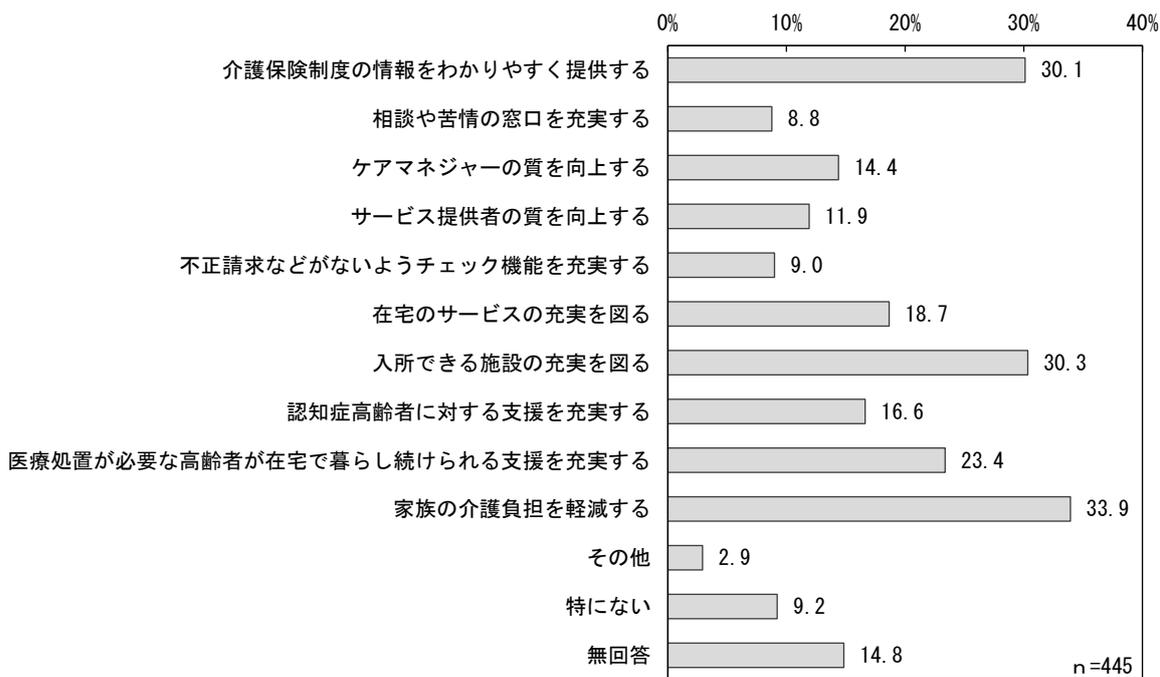
在宅の人が利用したい、利用し続けたいサービスについては、「デイサービス（施設へ通うサービス）」が 43.4%と最も多く、次いで「自宅で、ベッドや手すりを借りるサービス」が 31.5%、「ショートステイ（施設へ泊まるサービス）」が 29.7%となっています。



注）さまざまな介護を受けるサービスとは、「施設への通い・泊まり・自宅への訪問を組み合わせ、介護を受けるサービス」、さまざまな看護や介護を受けるサービスとは、「施設への通い・泊まり・自宅への訪問を組み合わせ、看護や介護を受けるサービス」を略したものです。

問 24（6）介護保険サービスに関して、清瀬市にどのようなことを望みますか。
（3つまでに○）

介護保険サービスに関して清瀬市に望むことでは、「家族の介護負担を軽減する」が33.9%と最も多く、次いで「入所できる施設の充実を図る」が30.3%、「介護保険制度の情報をわかりやすく提供する」が30.1%となっています。

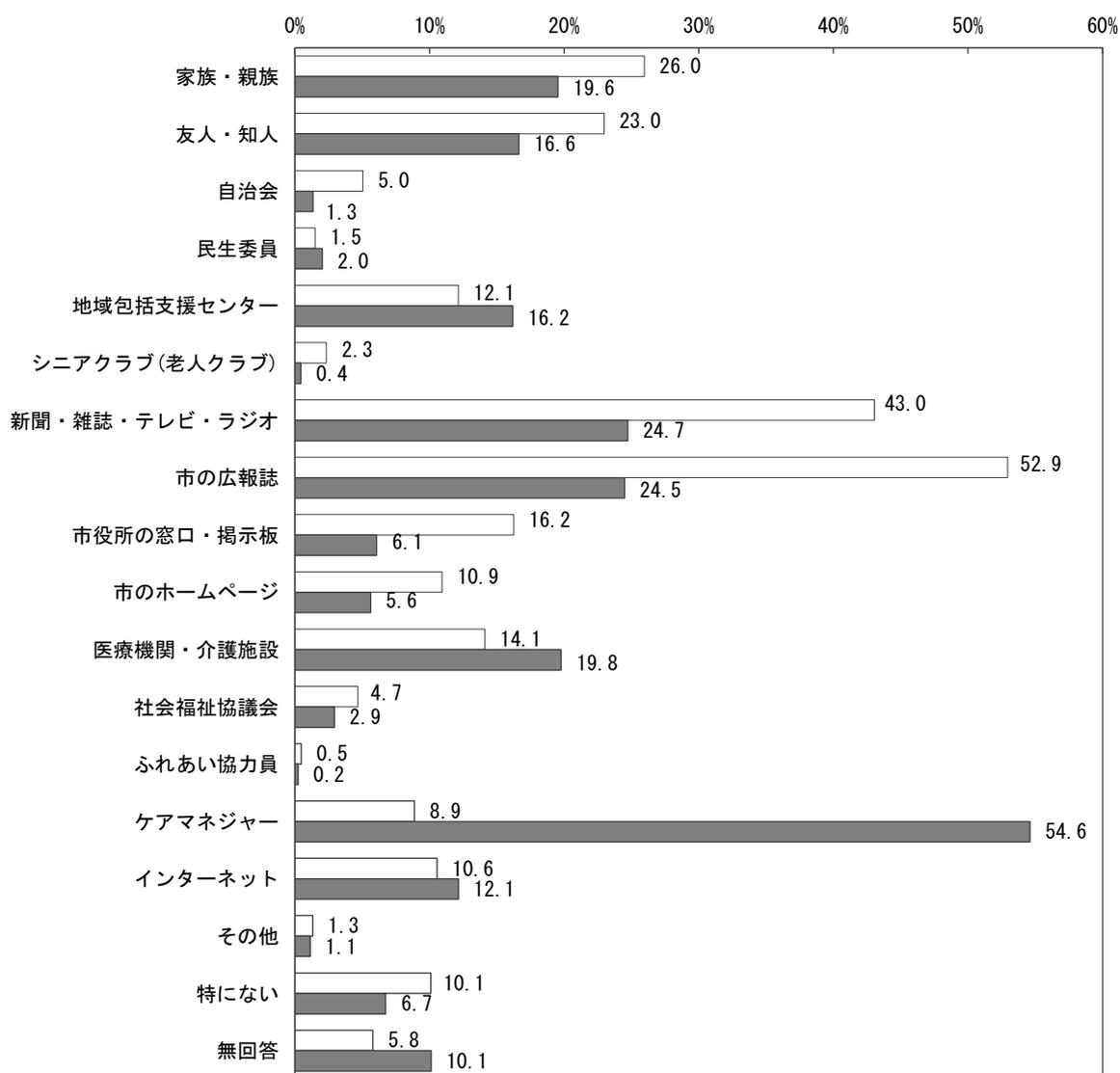


問 24（7）あなたは、普段、福祉に関する情報を、主にどこから入手していますか。

（あてはまるものすべてに○）

福祉に関する情報の入手先では、「ケアマネジャー」が54.6%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が24.7%、「市の広報誌」が24.5%となっています。

また、65歳以上及び要支援認定1・2の方を対象とした調査の結果と比較すると、「ケアマネジャー」、「医療機関・介護施設」、「地域包括支援センター」などで、回答割合が多くなっています。

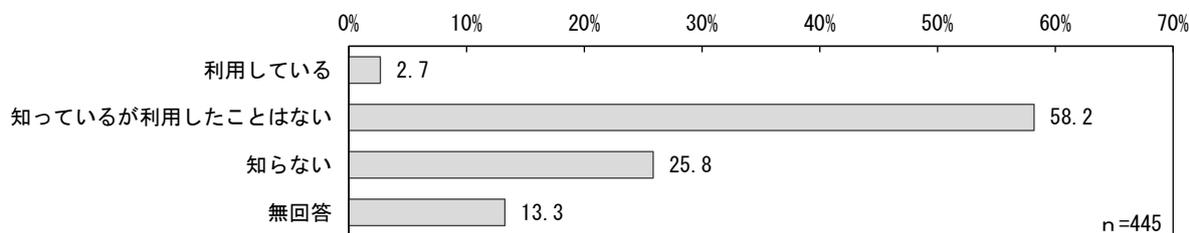


□65歳以上及び要支援認定1・2の方を対象とした調査(n=1,071)

■要介護認定1～5の方を対象とした調査(n=445)

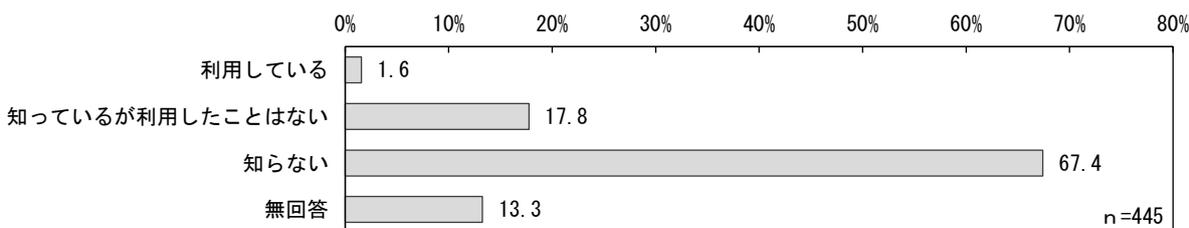
問 24 (8) 「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○)

成年後見制度については、60.9%の方が認知しており、「知らない」方は25.8%となっています。



問 24 (9) 「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」を知っていますか。(1つに○)

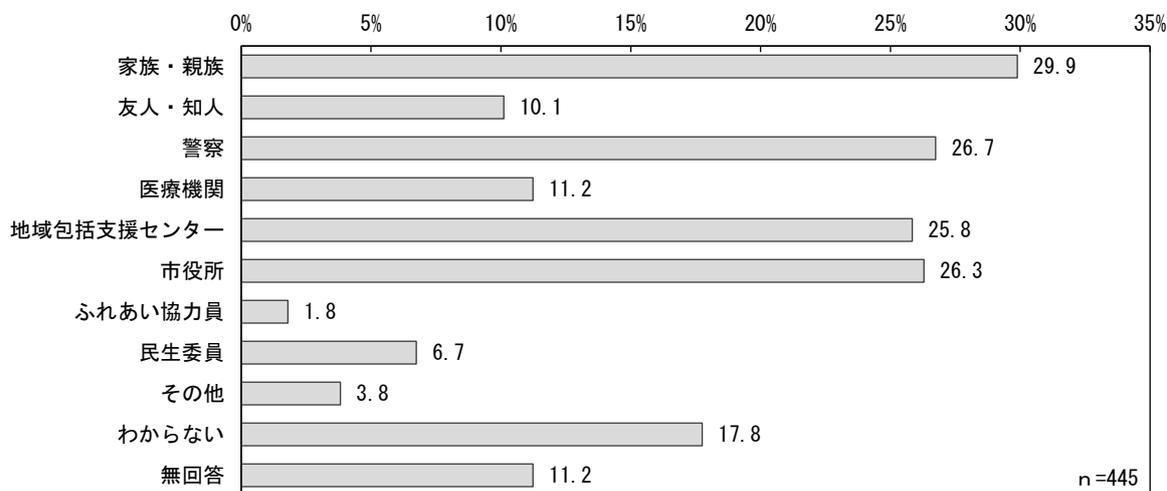
地域福祉権利擁護事業については、19.4%の方が認知しており、「知らない」方は67.4%となっています。



問 24 (10) 高齢者への虐待に気づいたとき、どこに相談しますか。

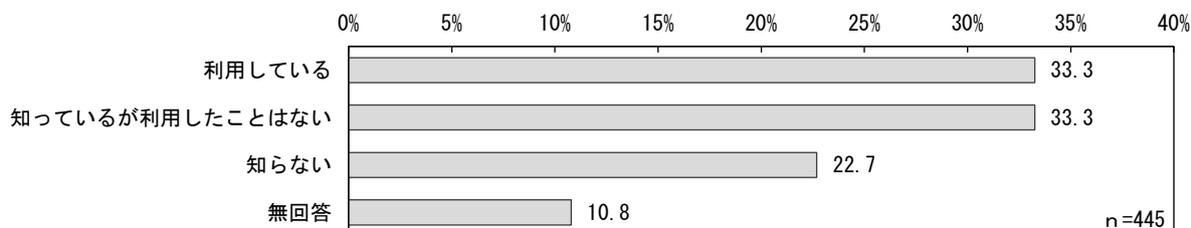
(あてはまるものすべてに○)

高齢者への虐待に気づいたときの相談先では、「家族・親族」が29.9%と最も多く、次いで「警察」、「市役所」、「地域包括支援センター」の順となっています。



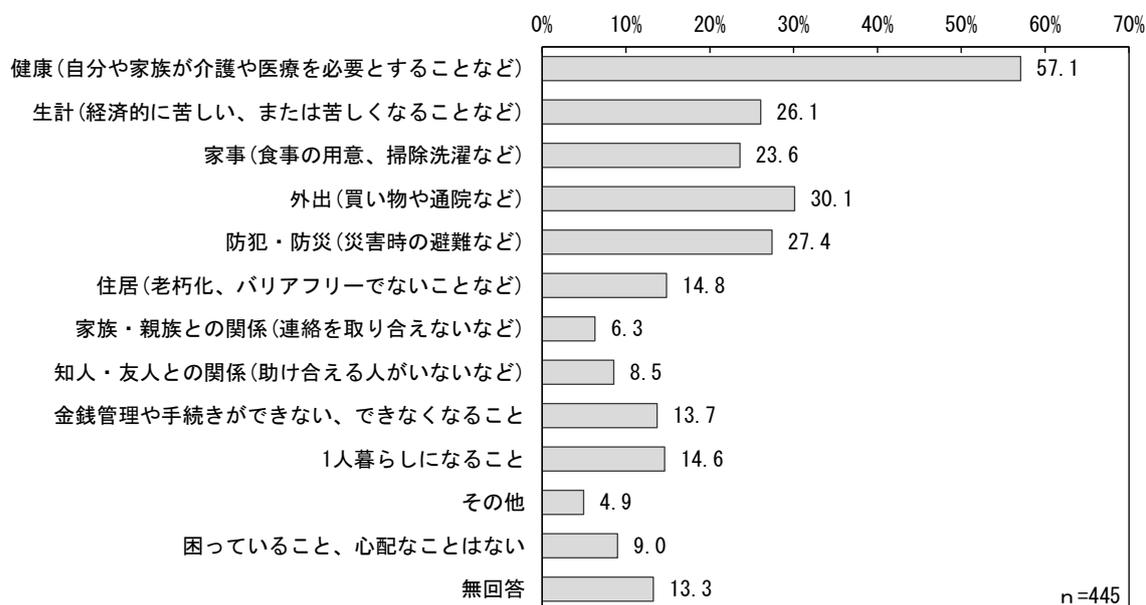
問 24 (11) 清瀬市には、現在 4 か所の地域包括支援センターが設置されています。地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

地域包括支援センターについては、66.6%の方が認知しており、「知らない」方は22.7%となっています。



問 24 (12) 現在、生活を営むうえで、困っていることや心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

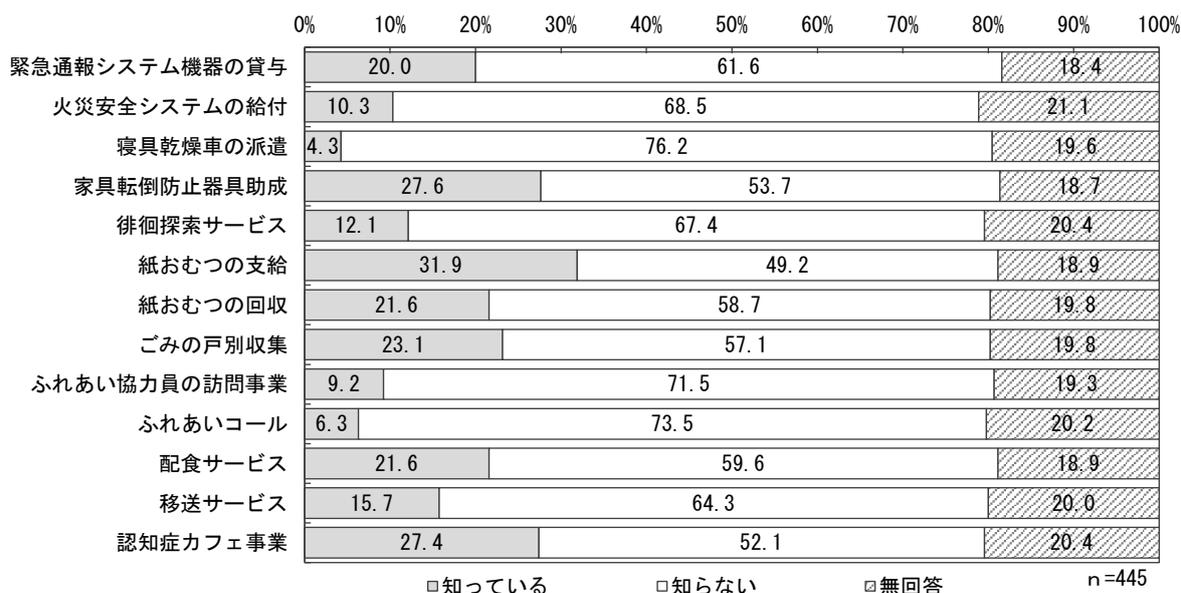
生活を営むうえで、困っていることや心配なことでは、「健康（自分や家族が介護や医療を必要とすることなど）」が57.1%と最も多く、次いで「外出（買い物や通院など）」が30.1%、「防犯・防災（災害時の避難など）」が27.4%となっています。



問 24 (13) 清瀬市では、高齢者の自立や生活支援を支えるため、以下の保健福祉サービス等を行っています。これら保健福祉サービス等に対する認知度・利用経験・今後の利用希望についてお教えてください。(それぞれ1つずつに○)

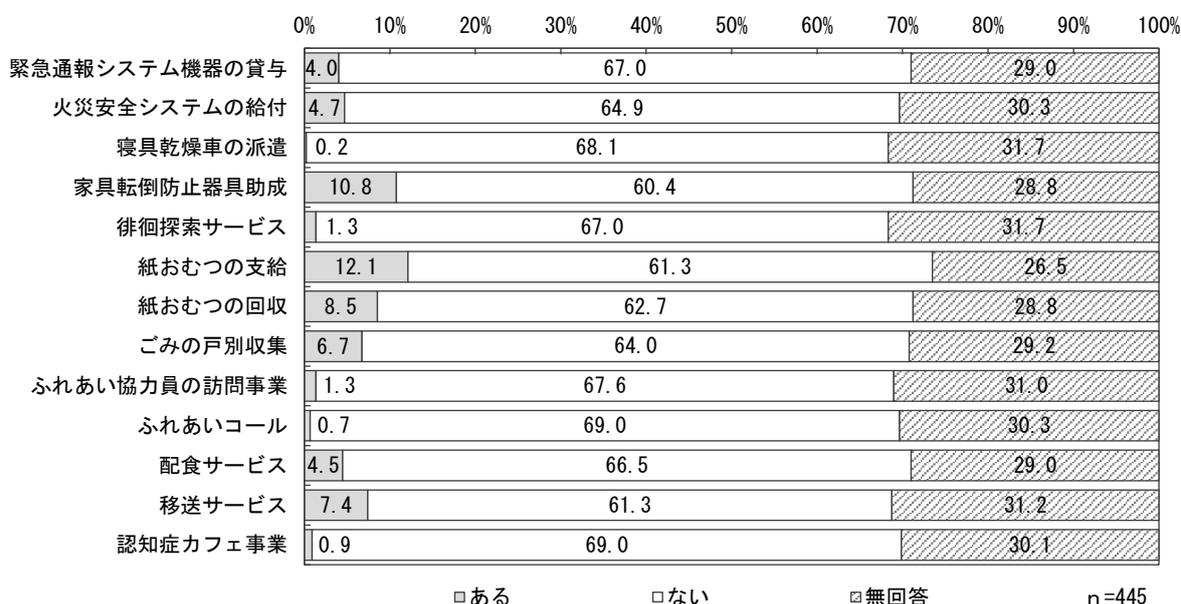
保健福祉サービス等における認知度では、「紙おむつの支給」が31.9%と最も多く、次いで「家具転倒防止器具助成」が27.6%、「認知症カフェ事業」が27.4%となっています。

■ 認知度



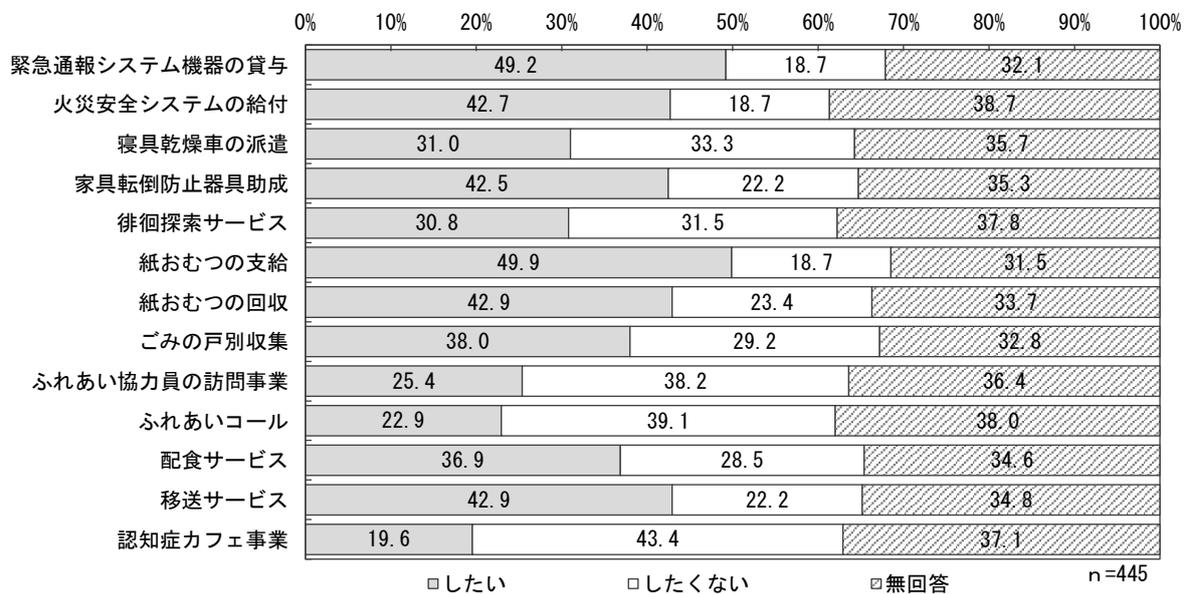
利用経験においても「紙おむつの支給」が12.1%と最も多く、次いで「家具転倒防止器具助成」が10.8%、「紙おむつの回収」が8.5%となっています。

■ 利用経験



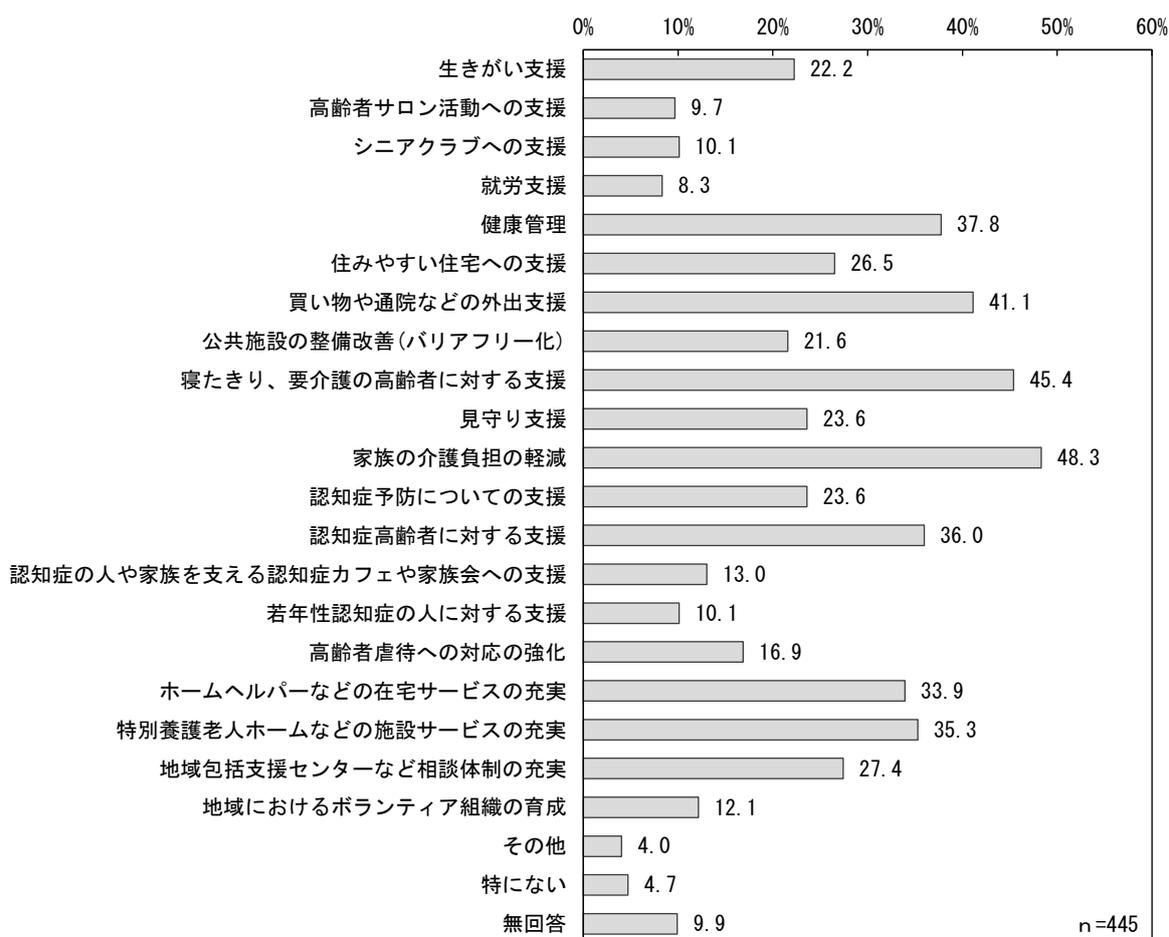
今後の利用希望では、「紙おむつの支給」が49.9%と最も多く、次いで「緊急通報システム機器の貸与」が49.2%、「紙おむつの回収」と「移送サービス」が42.9%となっています。

■ 利用希望



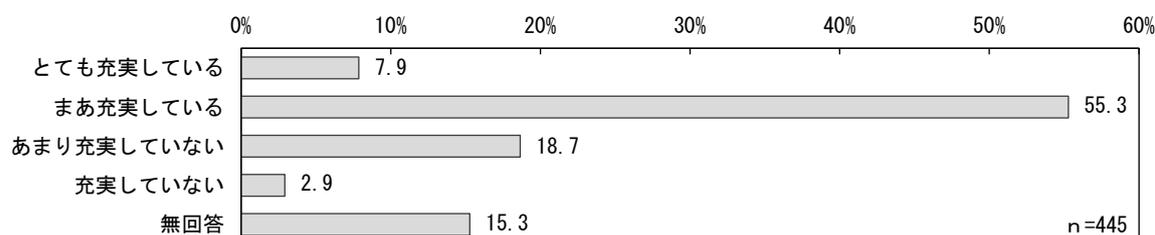
問 24 (14) これからの高齢者福祉施策で、市に力をいれてほしいと思うものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

これからの高齢者福祉施策で、市に力をいれてほしいと思うものでは、「家族の介護負担の軽減」が48.3%と最も多く、次いで「寝たきり、要介護の高齢者に対する支援」が45.4%、「買い物や通院などの外出支援」が41.1%となっています。



問 24 (15) 清瀬市の保健福祉施策全般について、回答者であるあなたはどのように感じていますか。(1つに○)

清瀬市の保健福祉施策全般については、「まあ充実している」が55.3%と最も多く、「とても充実している」と合わせた『充実している』は63.2%です。



問 24 (16) 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたら
ご記入ください。

以下は、自由記載頂いたご意見を内容ごとに分類し、主要意見を抜粋・一部要約したものです。

なお、掲載内容は、頂いたご意見をできるだけそのまま掲載していますので、一部実態と異なる部分や曖昧な表現があることも想定されますが、ご了承ください。

① 感謝・激励 (17 件)

- ・デイサービスは本当に大変なお仕事で、スタッフの皆様には頑張っていていただいて感謝の気持ちで一杯です。介護保険制度や高齢者福祉サービスを充実させてゆくためには、スタッフの皆様の方が大切であり、介護にかかわる皆様（スタッフ）の事も充実させてあげてください。
- ・徘徊高齢者位置検索サービスを受けております。24 時間位置確認が出来て助かっています。
- ・高齢者介護をしっかりとって頂き、皆様に助けられ見守られて安心して、未だ元気に暮らしています。とてもありがたく思っております。
- ・最初に歩きにくくなった時、包括支援センターでケアマネジャーの紹介を素早くして頂き、福祉用具貸与などが受けられ、現在も歩行器を使い、買物等外出が安心して出来ています。
- ・初めて介護申請をする時、市役所に電話を入れたら担当の方が大変親切に教えてくださいました。今思えばその頃が一番どうしていいか分からなかったもので、その時の対応が大変うれしかったです。

② 施設・居住系サービスについて (16 件)

- ・老人保健施設のショートステイを利用するとリハビリを毎日受けられるのに、同じ施設のデイケアでは 1 週間に 2 回しかリハビリを受けられないのは矛盾している。デイケアでも毎日リハビリを受けられるようにしてほしい。
- ・安価で入所できる特別養護老人ホームやグループホームを増やしてほしい。施設が不足しているらしく、何年待っても空きがない。
- ・リハビリをしてくれるデイサービス施設が少なく、病院よりリハビリを行ってくれる時間が短い。もう少し長くリハビリをしてほしい。
- ・介護医療院がない。介護老人保健施設が少ない。
- ・他市の団地（都営住宅）の一角が市民センターになっていて、社交ダンスに参加しています。1 回 100～200 円で安くて参加しやすい。清瀬にも安く利用できる施設が欲しい。

③ 相談・サービス利用手続きについて（13件）

- ・自分（介護者）が利用したいショートステイに直接自分で連絡をして、物事を進められたら良いと思っています。
- ・制度やサービスについて、まだ十分理解できていないので、受ける側がすべて理解できるという説明機関があれば助かります。
- ・書類提出時の説明文、記入例等は、もっと高齢者に分かりやすく簡素化して欲しい。
- ・市役所高齢支援課の窓口を拡大して欲しい。
- ・高齢者の相談及び権利を守る為に市役所に弁護士等と職員を常駐してください。また、市の条例集をどこでも手に入れるようにして下さい。（民間の本屋等）
- ・ヘルパーさんや訪問看護の早朝、夜間対応の事業所を増やしてもらいたい。

④ 介護保険料・利用者負担について（12件）

- ・高齢の年金生活者にとって、国民健康保険と介護保険の支払いは家計に大きな負担となっています。
- ・福祉用具の購入費が高すぎます。競争原理を導入し、もっと安くできないものかと思う。
- ・介護施設料の補助をして欲しい。
- ・自己負担何割ではなく、一定の金額までは負担なしでそれ以上となった場合に所得に応じて負担する制度だとサービスを利用しやすくなると思う。特に老々介護で家族がいない世帯では、自己負担を考えるとサービスを利用できないと言っている人が多い。

⑤ 福祉サービスについて（9件）

- ・若年性認知症は家族の金銭的負担が大きいので、少しでも負担軽減できるサービスが欲しい。
- ・集合住宅のお年寄りに、ちょっと援助（ゴミ運びとか）を手軽に申し出てあげられるような仕組みを作って欲しいです。
- ・一人でもサービスを利用しながら不安なく、最後まで家で、暮らせたらいいと思います。
- ・福祉用具を利用購入して、ホームセンターで購入すれば半額くらいで買えそうなものばかりなのに、あまりに高い値段である事を感じています。保険料が不足、保険料を値上げという前に、競争原理の働く販売方法で、価格を下げていく事を検討する必要がある気がします。
- ・電動ベッドを借りた時、1割負担の人と随分違う様に思え、家のベッドで我慢しました。
- ・巡回などに来てほしい。
- ・高次脳障害で言葉が不自由ですが体のマヒなどは全くない障害者ですが、デイサービス

等の知識がないため受け入れてもらえません。体を動かすだけのタイプのデイサービス（半日）で良いので受けてたいです。

⑥ 生活の不安・困りごとについて（9件）

- ・高齢者二人家族で、二人とも、体調が悪いので不安です。
- ・台風、特に地震の時、避難することが出来ない（寝たきり全介助）、救急情報シートの登録はしているが実際に来て下さるのかどうか不安です。
- ・在宅で主人を介護していますが、病院へはタクシーを使います。朝8時の時間にはタクシーがなく困ることがあります。
- ・今は年金と貯金をおろして生活していますが、いつまで続くかと不安な毎日です。

⑦ 介護者の負担・支援について（8件）

- ・在宅介護は想像以上に肉体的・精神的に介護者が疲弊して、共倒れになる危機感があり、これは体験者でないと分からないと思います。
- ・介護者に何かあったとき、要介護者がすぐ入居できる施設が欲しい。
- ・1人暮らしの老人だけでなく、家族のある人にも手厚く支援してください。
- ・特養へ申し込みをしていますが、なかなか入居できません。母の認知症が日増しに悪化し（現在要介護4）、家族の日常生活にかなりの負担がかかっています。
- ・会社などでフルタイム就業している人間が介護者になった場合、介護事業者との契約、その他で相当の時間と注意を必要とされるため、現実的には会社を辞めざるを得ないのが現状です。
- ・介護に必要なものが多すぎて家計を圧迫しているので、仕事に行きたいが、介護者が家からいなくなると不安がり仕事に行けない。

⑧ 介護保険制度・事業全般について（7件）

- ・掛け金に応じたサービスを受けられるよう制度改正をすべきと考えます。
- ・介護保険料は、高齢低所得者にとって相当な負担であり、何らかの配慮は望めないものでしょうか。
- ・介護保険証の有効期間が6カ月と短すぎるので、期間延長を望みます。
- ・制度がよく変わって分かりづらいし、制度の利用料金の計算方法が分からないので、介護認定され制度を利用することになった時に、良く分かるような説明をして欲しい。

⑨ アンケートについて（6件）

- ・書面のアンケートではなく、1件1件訪問して聞き取り調査をして欲しかったと思います。
- ・介護者として回答しているが、設問が本人として答えるべき問と介護者として回答すべき問が明確でないため記入に迷うことがあった。
- ・調査項目が多く、項目決定に不足・不便があった、「看護小規模多機能居宅介護」や「居

宅療養管理指導」等の難しい言葉の内容が分からず困りました。

- ・高齢あるいは認知症独居の為、質問の内容が理解できず、設問に対して的確に答えられたのか、どうか判りません。

⑩ 移動手段について (6件)

- ・災害時に避難できる病院の整備とともに、そこまでの移動の手段も必要です。
- ・外出したくても出来ない方、外出するのに戸惑ったりしている方が集まりやすい場所や送迎していただける様なシステムを作って欲しい。
- ・利用者の少ないきよバスの変わりに、このバスの人件費や諸経費をタクシー券に変えてくれたらなあと思います。高齢者にとって停留所に行くまでが大変なのです。
- ・車いすで乗れる介護タクシーや寝たまま乗れる寝台タクシーを備えて欲しい。

⑪ 情報提供・PRについて (5件)

- ・介護が必要になる前の年代からサービスの利用を知っておく、見ておく、体験してみる、などがあるといいなと思います。
- ・市から発信が少なく、町会・自治会がない所は情報が少ない等、あまり情報を得ていないので、どうして良いかわからない。
- ・高齢者福祉サービスや種々の制度を半分も知らなかったことに驚いています。配食サービス等はどんな人がどのような状態の時、どんな方法でサービスを受けられるのか？全然、知らないことが沢山ありました。
- ・介護保険制度や福祉サービスについて、私自身が受けているのに、深い意味では理解できず、いつも不安ともどかしさを感じています。小さい集会を行って市民全員、特に介護保険制度などを受けている私達の理解に努めてください。

⑫ 人材について (5件)

- ・自分で手続きできない人たちの家族や利用者の方々のために行われている行政サービスであるということを念頭に、高齢者サービスに係わる人達の意識改革・向上を第一に行って頂きたい。
- ・日本人以外の外国人の方による介護・福祉の職務において、果たしてどこまでコミュニケーションをとりながらその人物とやっていけるのかが心配です。

⑬ 在宅サービスについて (4件)

- ・家事が不得意な高齢者についての支援を特に充実して欲しい。例えば、日常的な食事の準備の在宅指導とか、日常の生活用具の使い方などの指導のためのヘルパーさんの充実などを願う。
- ・自立歩行が困難になりデイサービスを受けてリハビリに努めていますが、在宅でも使用できる機器の貸与を研究して欲しい。
- ・ヘルパーさんに夕食のおかず作り (1時間) に来て頂いていますが、ヘルパーさんは1時

間と決まっております、もう少し時間がある、励ましの言葉でもあれば元気と勇気が出てくると思うので、時間を増やして欲しい。

⑭ **生きがい・社会参加について（3件）**

- ・外出したくても出来ない方、外出するのに戸惑ったりしている方が集まりやすい場所や送迎していただける様なシステムを作って欲しい。
- ・高齢者が増える中、財源の確保、人材不足など問題山積みと思いますが、それらを補うため、ボランティアなどお互い支え合えたら良いと思います。

⑮ **要介護認定について（2件）**

- ・介護度判定の仕組みについては、意味もわからず、私には理解も出来ませんが、認定については、消極的な感じがします。介護度判定の時等には、高齢者は自分がしっかりしている様に振舞いがちですが、その人の状態、観察も含め、聞き取りを十分に行い、判定していただきたい。

⑯ **地域づくり・まちづくりについて（2件）**

- ・清瀬駅及び周辺の整備をして欲しい（駅のエレベータ不足の解消、構内及び周辺通路等のラッシュ時の混雑解消等）。
- ・志木街道の歩道は、車椅子で通行しにくいので、改善して欲しい。

⑰ **介護サービス事業者について（2件）**

- ・デイサービス提供者の請求書の内容が分からない。
- ・施設の最低の施設運用基準（生活レベル、運動、栄養、アクティビティ）を示して頂きたい。

⑱ **その他（4件）**

- ・認知症でデイサービスを利用していますが、医療費控除の対象にして欲しいと思います。
- ・若い方達も明日は我が身と思い、各世代が見守り合う社会にしたいと思います。
- ・必要なサービスは、本人の健康状態により変わります。今後は、また別な様々な支援が必要となると思います。
- ・呼吸器を使用しているので、重度障害者が災害時に避難できる病院が必要です。

第4章 介護保険事業所への調査

1. 基本属性

問2 貴事業所の法人の形態は次のどれに該当しますか。(1つに○)

事業所の法人形態は、「株式会社」が18事業所(47.4%)と最も多く、以下、「社会福祉法人」及び「有限会社」が5事業所(13.2%)、「医療法人」及び「その他」が4事業所(10.5%)、「JA・生協」及び「NPO」が、それぞれ1事業所(2.6%)となっています。

	回答事業所 (数・%)	社会福祉法人	医療法人	JA・生協	株式会社	有限会社	NPO	その他
全体	38	5	4	1	18	5	1	4
	100.0	13.2	10.5	2.6	47.4	13.2	2.6	10.5

問3 現在、清瀬市で提供しているサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

※以下には、介護予防給付も含まれていると踏まえてご回答ください。

清瀬市で現在提供しているサービスでは、「居宅介護支援」が19事業所(50.0%)と最も多く、次いで「訪問介護」及び「通所介護」が11事業所(28.9%)、「地域密着型通所介護」が8事業所(21.1%)、「訪問看護」が6事業所(15.8%)となっています。

	回答事業所 (数・%)	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	居宅介護支援	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	認知症対応型共同生活介護	地域密着型通所介護
全体	38	11	1	6	4	4	11	4	5	1	4	3	1	19	5	1	1	8
	100.0	28.9	2.6	15.8	10.5	10.5	28.9	10.5	13.2	2.6	10.5	7.9	2.6	50.0	13.2	2.6	2.6	21.1

2. 事業所運営や市内のサービスの提供状況などについて

結果のポイント

赤字のサービスがあった事業所は、前回調査と比べて減少しています。しかしながら、「居宅介護支援」で赤字であったと回答した事業所が多くみられました。

また、今後、新規のサービス提供を予定・検討している事業所は少数でしたが、「訪問介護」、「訪問看護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「地域密着型通所介護」のサービス提供を予定・検討していることが分かりました。

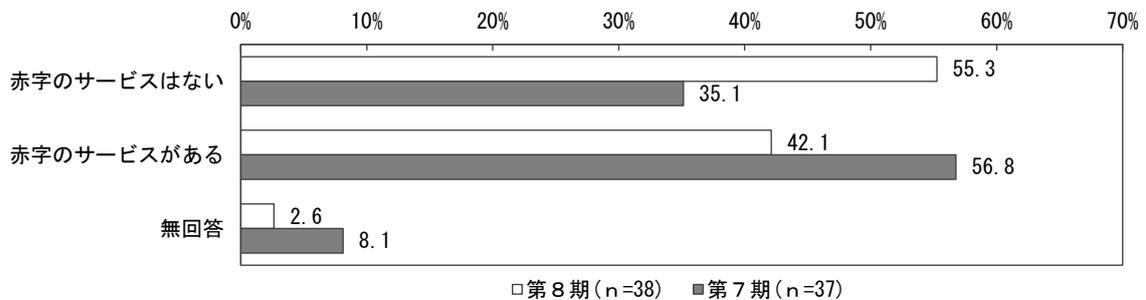
清瀬市内のサービスの過不足については、「夜間対応型訪問介護」が不足していると感じている事業所が多く、一方、「通所介護」は概ね足りていると感じている事業所が多くなっています。

問4 現在、清瀬市で提供しているサービス（問3で○）のうち、決算が確定している最新の会計年度の経営状態が赤字であったサービスの番号を以下にご記入ください。

※赤字サービスがない場合は、「1 赤字のサービスはない」に○をしてください。

38事業所のうち、「赤字のサービスがある」と回答した事業所は16事業所（42.1%）で、前回調査と比べると14.7%減少しています。

主な赤字のサービスでは、「居宅介護支援」が62.5%と最も多く、次いで「訪問介護」が31.3%となっています。



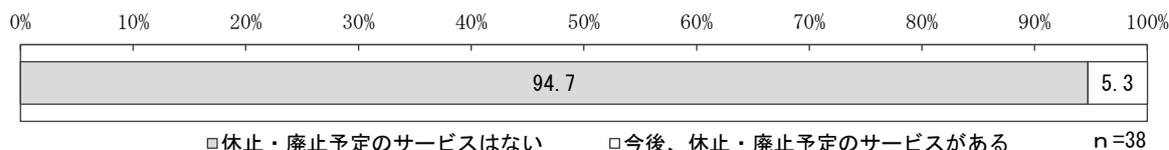
【赤字であったサービス】

	回答事業所(数・%)	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	居宅介護支援	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	認知症対応型共同生活介護	地域密着型通所介護
全体	16	5	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	10	0	0	0	2
	100.0	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5

問5 現在、清瀬市で提供しているサービス（問3で○）のうち、今後、休止・廃止予定のサービスの番号を以下にご記入ください。

※休止・廃止予定のサービスがない場合は、「1 休止・廃止予定のサービスはない」に○をしてください。

提供しているサービスのうち、「休止・廃止予定のサービスはない」と回答した事業所は36事業所（94.7%）で、「今後、休止・廃止予定のサービスがある」と回答した事業所は2事業所（5.3%）となっています。



問6 以下の中で、今後新たに提供する予定のサービスはありますか。

※具体的には検討していなくても、参入の可能性があり、参入を検討するかもしれないなどであっても○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

今後のサービス提供について、「新たに提供をする予定のサービスはない」と回答した事業所は、32事業所（84.2%）となっています。

新たに提供をする予定のサービスとしては、「訪問介護」、「訪問看護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「地域密着型通所介護」となっており、事業所数は、それぞれ1事業所となっています。

	回答事業所 (数・%)	訪問介護	訪問看護	定期巡回・ 随時対応型訪問 介護看護	地域密着型 通所介護	新たに提供を する予定のサ ービスはない	無回答
全体	38	1	1	1	1	32	3
	100.0	2.6	2.6	2.6	2.6	84.2	7.9

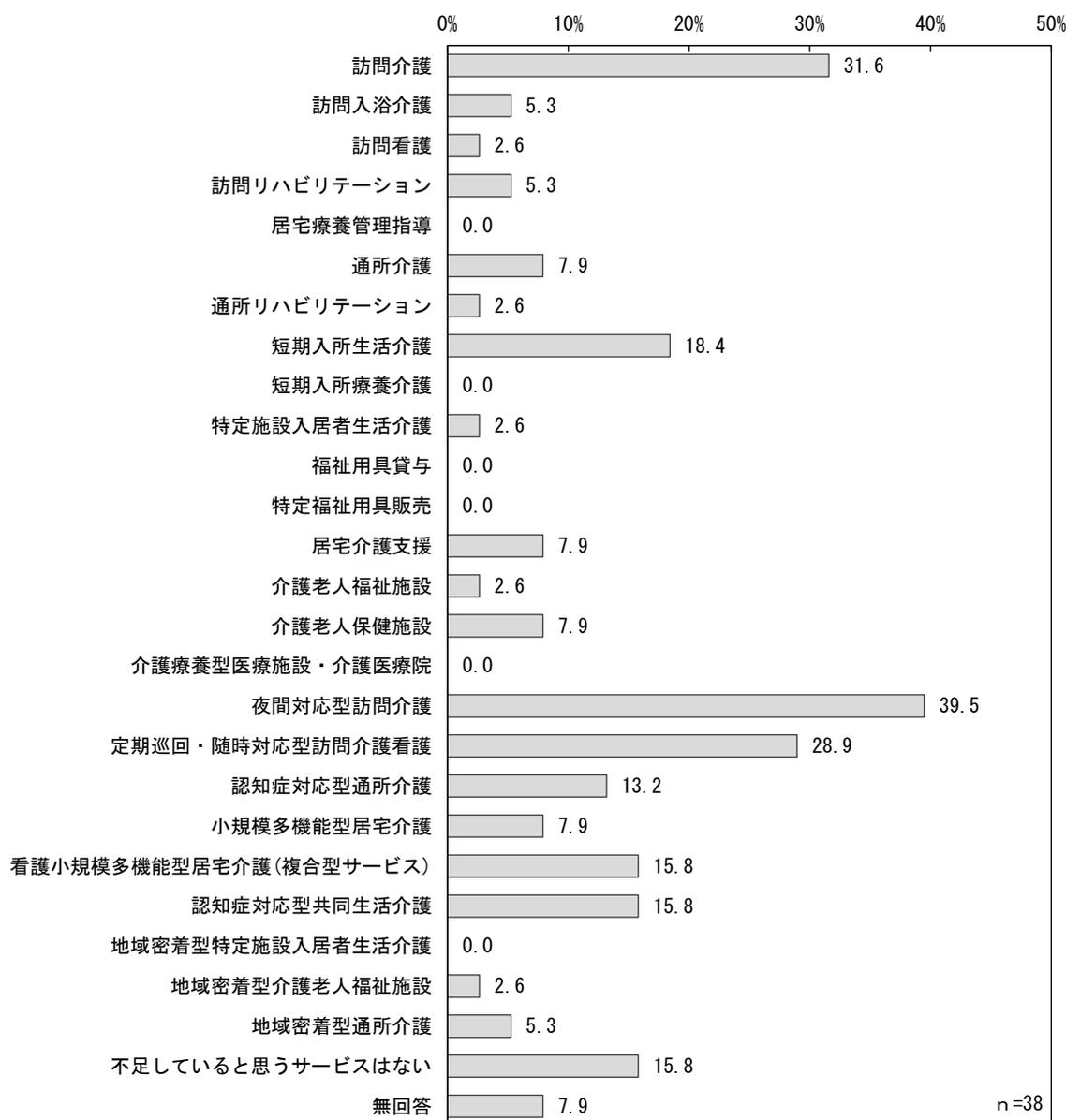
問7 事業者の立場から見て、清瀬市内で、市民ニーズに対してサービス提供量がとくに不足している、または十分足りていると思うサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

※以下には、介護予防給付も含まれていると踏まえてご回答ください。

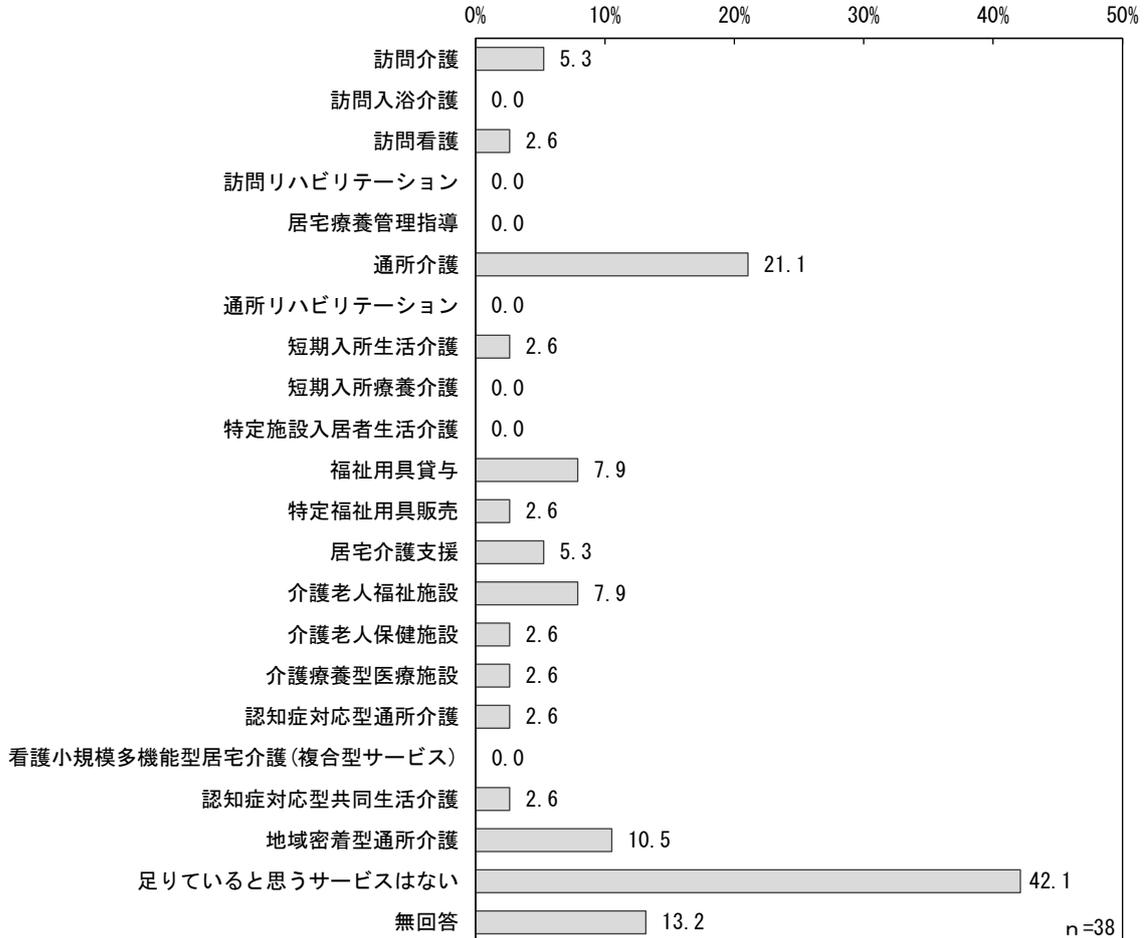
【不足していると思うサービス】

市民ニーズに対して「不足していると思うサービス」では、「夜間対応型訪問介護」が39.5%と最も多く、次いで「訪問介護」が31.6%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が28.9%となっています。なお、「不足していると思うサービスはない」との回答は15.8%でした。



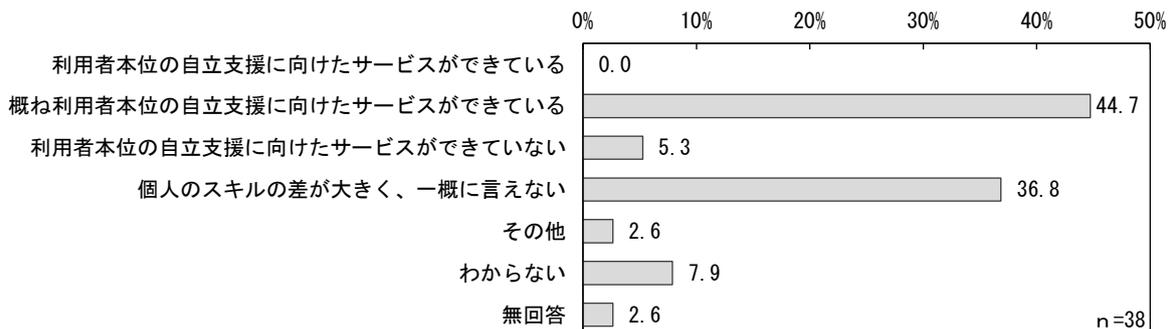
【足りていると思うサービス】

一方、「足りていると思うサービス」では、「通所介護」が21.1%と最も多く、次いで「地域密着型通所介護」が10.5%となっています。なお、「足りていると思うサービスはない」との回答は42.1%でした。



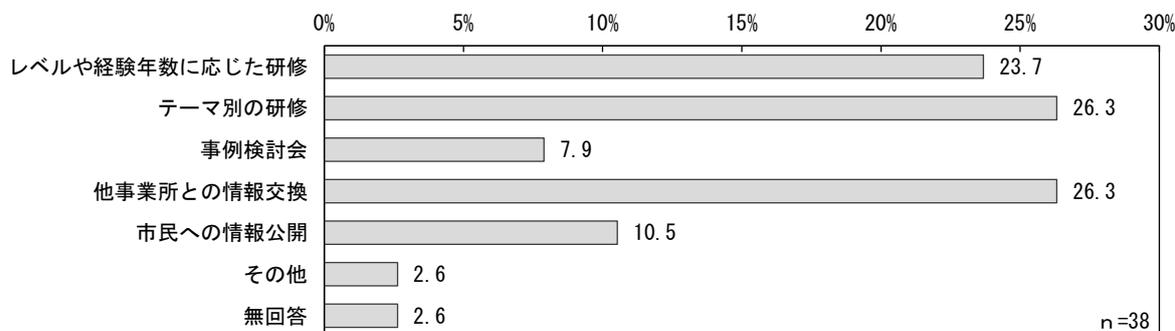
問8 市内の介護サービスの質についてどのように感じていますか。(1つに○)

市内の介護サービスの質については、「概ね利用者本位の自立支援に向けたサービスができている」が44.7%と最も多くなっていますが、一方で、「個人のスキルの差が大きく、一概に言えない」が36.8%となっています。



問9 以下のうち、介護サービスの質の向上を図るために最も必要だと思う取組はどれですか。(1つに○)

介護サービスの質の向上を図るために最も必要と思う取組では、「テーマ別の研修」及び「他事業所との情報交換」が、それぞれ26.3%と多くなっています。

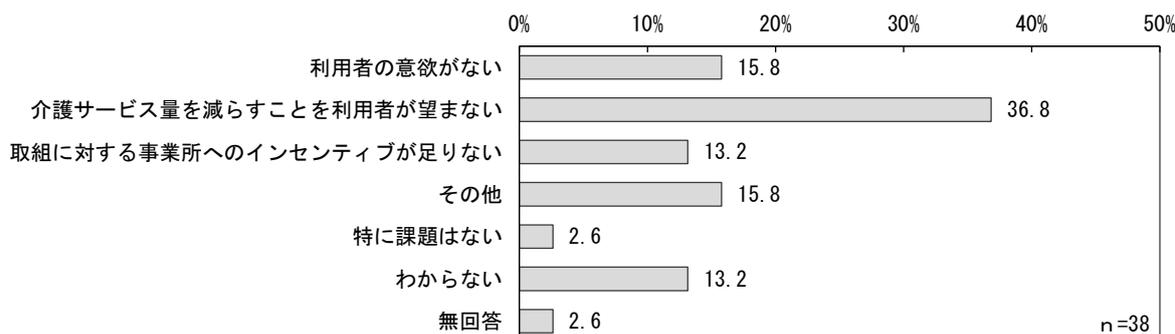


■ その他と回答された方の回答内容

内容
ポテンシャルの高い人材確保

問10 自立支援・重度化防止の取組について、最も課題と思うことはどれですか。(1つに○)

自立支援・重度化防止の取組への課題は、「介護サービス量を減らすことを利用者が望まない」が36.8%と最も多くなっています。



■ その他と回答された方の回答内容

内容
個人の価値を高めるケア
事業所、ケアマネージャー、家族、本人等での協力体制
自立に必要なサービスが受けられない場合がある
介護サービス終了後の受け皿が少ない
取組が必要な人々ほど自立支援・重度化防止の取組への意識・意欲が薄いので、どう働きかけをしていくかが課題。
本人の前向きな日々の取組が必要

3. 認知症ケアや医療・介護の連携などについて

結果のポイント

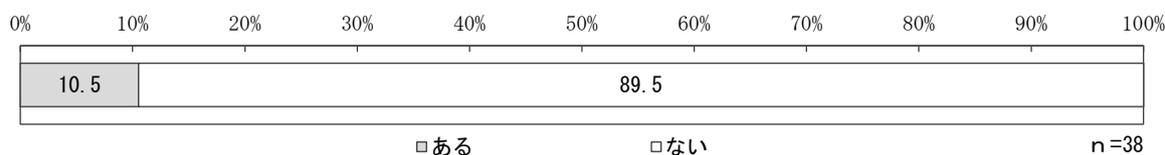
認知症ケアのスキルアップについては、外部研修や内部研修などの実施により、約8割の事業所で実施されています。また、認知症ケアの推進にむけては、認知症の正しい理解、対応の仕方等を深めていくことや、認知症に対する家族等の認識、理解度を高めること、さらにはケアマネジャーなどの人材の確保が重要であると考えられています。

また、医療と介護の連携にむけては、「事例検討会、研修や交流会を通じた顔の見える関係づくり」が重要と考えられており、要介護者の在宅生活の継続については、「介護者の身体的・精神的な負担の軽減」が必要であると考えられています。

問 11 認知症ケアについて、お教えてください。

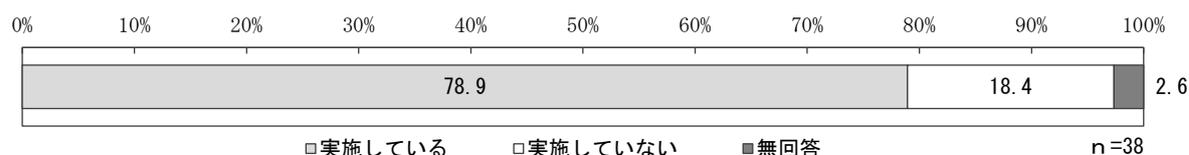
問 11 (1) 認知症のBPSD（行動心理症状）が原因で、利用者の受入を拒否したことはありますか。（1つに○）

認知症のBPSD（行動心理症状）が原因で、利用者の受入を拒否したことがあるかについて、「ある」と回答した事業所が4事業所（10.5%）、「ない」と回答した事業所が34事業所（89.5%）となっています。



問 11 (2) 職員に対して、認知症ケアのスキルアップを実施していますか。（1つに○）

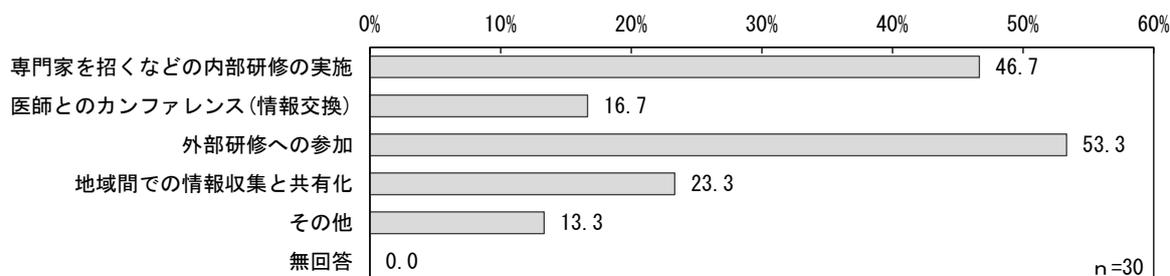
職員に対し認知症ケアのスキルアップを実施しているかについて、「実施している」と回答した事業所が30事業所（78.9%）、「実施していない」と回答した事業所が7事業所（18.4%）、無回答が1事業所（2.6%）となっています。



問 11 (3) 問 11 (2) で「1 実施している」を選んだ方におたずねします。

スキルアップのための具体的な方法は何ですか。(2つまでに○)

認知症ケアのスキルアップのための具体的な方法としては、「外部研修への参加」が 53.3%と最も多く、次いで「専門家を招くなどの内部研修の実施」が 46.7%となっています。



■ その他と回答された方の回答内容

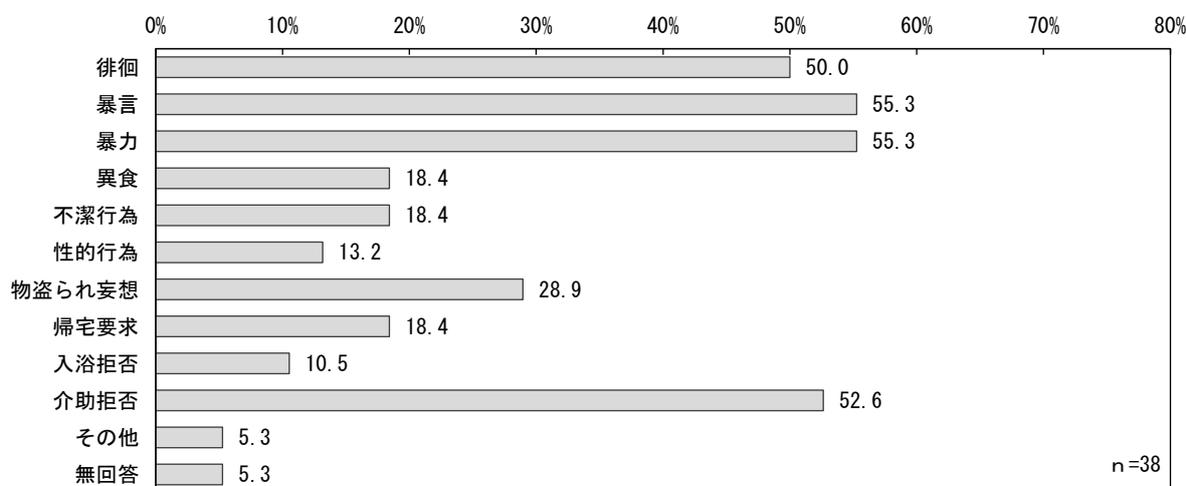
内容
日々のケアの振り返りを通して
職員学習会、毎日の振り返りの中で
事業所内研修(資料は本部作成)
課題に対して速やかに話し合う(業務後研修)

問 11 (4) すべての事業所の方におたずねします。

認知症の方で、対応が難しいと思われる症状は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

認知症の方への対応で難しいと思われる症状では、「暴言」及び「暴力」が 55.3%と最も多く、次いで「介助拒否」が 52.6%、「徘徊」が 50.0%となっています。



■ その他と回答された方の回答内容

内容
医療拒否

問 11 (5) 今後、認知症ケアを進めていくうえで、どのようなことが重要と思われますか。
(自由記入)

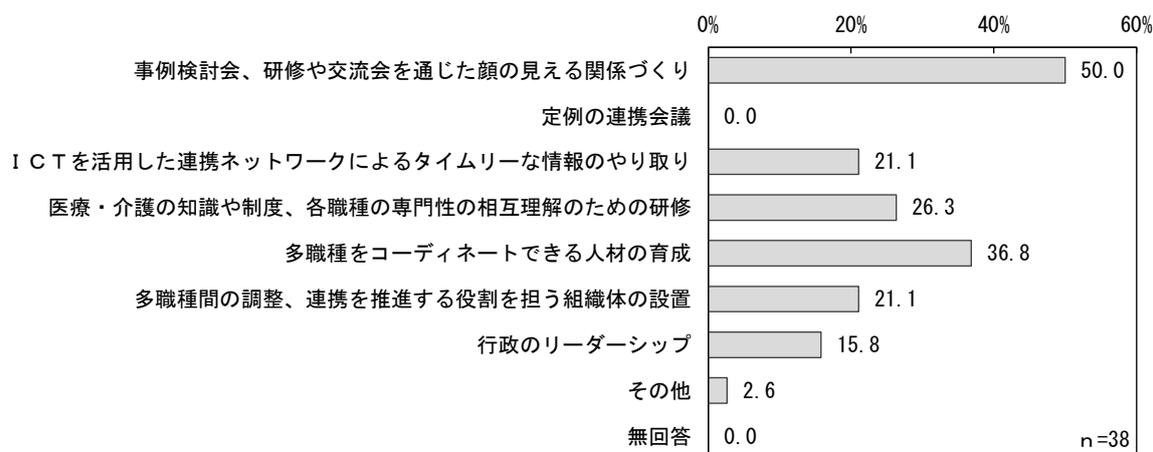
以下は、自由記載頂いたご意見を抜粋・一部要約したものです。

なお、掲載内容は、頂いたご意見をできるだけそのまま掲載しています。

- ・認知症に対する家族等の認識、理解度を高めることが重要です。
- ・認知症ケアは、個人での対応より、サービスに関係している方々全員で、連携をとり、対応の仕方や、役割分担を決め、各々が担っていくことが大切です。
- ・それぞれの認知症に対応し、それぞれの個性にあわせたケア、信頼関係の構築等が大切です。
- ・ケアマネジャーのストレス、人手不足による疲労などの解消を図るとともに、人材の確保を図ることが必要です。
- ・適切な医療との繋がり確保が重要です。
- ・専門職に限らず、すべての人に対して、認知症の正しい理解、対応の仕方等を深めていく、勉強会などの開催が必要です。
- ・本人らしい生活を尊重し、必要なことに周囲が手助けをすることが必要です。

問 12 医療と介護の連携を進めていくうえで、重要だと思うことは何ですか。
(2つまでに○)

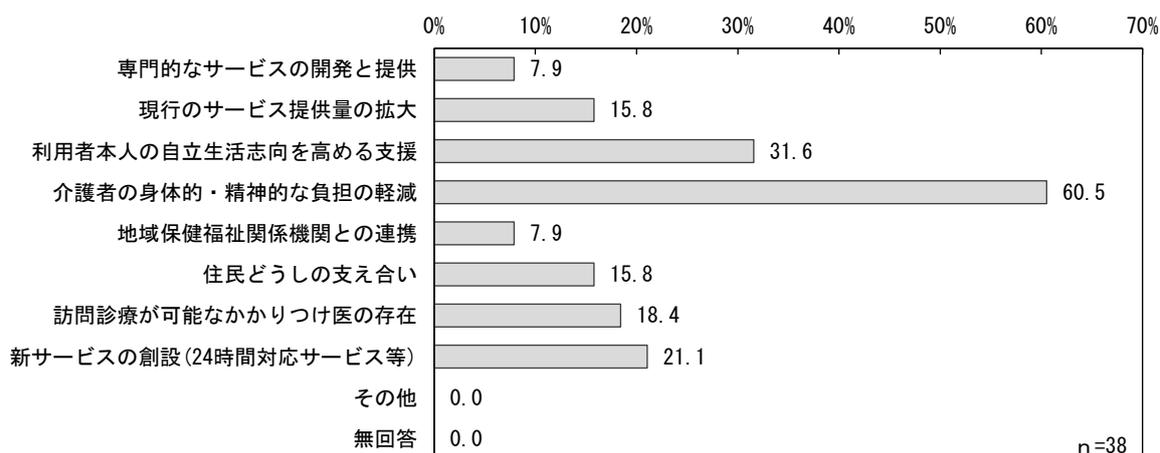
医療・介護の連携推進について重要だと思うことでは、「事例検討会、研修や交流会を通じた顔の見える関係づくり」が50.0%と最も多く、次いで「多職種をコーディネートできる人材の育成」が36.8%となっています。



問 13 要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要だと思いますか。

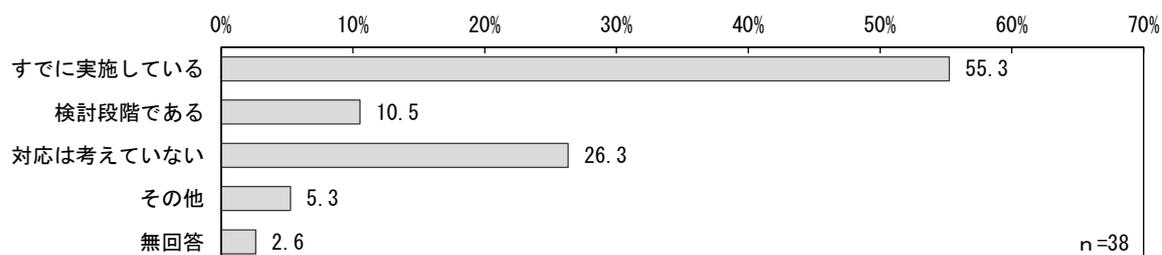
(2つまでに○)

要介護者が在宅で生活を続けるための必要条件では、「介護者の身体的・精神的な負担の軽減」が 60.5%と最も多く、次いで「利用者本人の自立生活志向を高める支援」が 31.6%、「新サービスの創設(24時間対応サービス等)」が 21.1%となっています。



問 14 貴事業所において、ターミナルケアへの対応はどのようにお考えですか。(1つに○)

ターミナルケアへの対応では、「すでに実施している」が 55.3%と半数を超えている一方、「対応は考えていない」が 26.3%となっています。



4. 介護人材のことについて

問 15 貴事業所の介護人材のことについて、お教えてください。

結果の ポイント

1事業所あたりの介護職員数は、正規職員で7.6人、非正規職員で7.5人となっており、採用者数は年間3.1人、離職者数は年間1.4人となっています。年齢別の採用・離職者数では、正規職員の採用は比較的40代が多く、離職者は30代で多くなっています。また、非正規職員の採用は、40次に次いで60代が多くなっています。なお、職員の離職防止対策では、「面談などを実施し、不満解消に努めたり、問題解決をしている」との回答が多くみられました。

問 15 (1) 令和元年10月1日時点での貴事業所の介護職員の総数を、お教えてください。

34事業所の介護職員数は512人で、1事業所あたり15.1人となっています。このうち正規職員数は258人(50.4%)で1事業所当たり7.6人、非正規職員数は254人(49.6%)で1事業所あたり7.5人となっています。

	職員数	構成比	1事業所あたり
正規職員	258人	50.4%	7.6人
非正規職員	254人	49.6%	7.5人
合計	512人	100.0%	15.1人

※回答事業所数：34事業所

問 15 (2) 令和元年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。

過去1年間(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の介護職員の採用者数と離職者数をお教えてください。

34事業所の過去1年間の介護職員の採用者数は104人で、1事業所あたり3.1人となっています。また、過去1年間の介護職員の離職者数は48人で、1事業所あたり1.4人となっています。

	採用者数	離職者数
合計	104人	48人
1事業所あたり	3.1人	1.4人

※回答事業所数：34事業所

問 15（3）問 15（2）の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別について、お教えください。

介護職員の採用者・離職者を年齢別でみると、採用者数は、正規職員・非正規職員ともに、「40～49歳」が最も多く、離職者数は、正規職員の「30～39歳」で最も多くなっています。

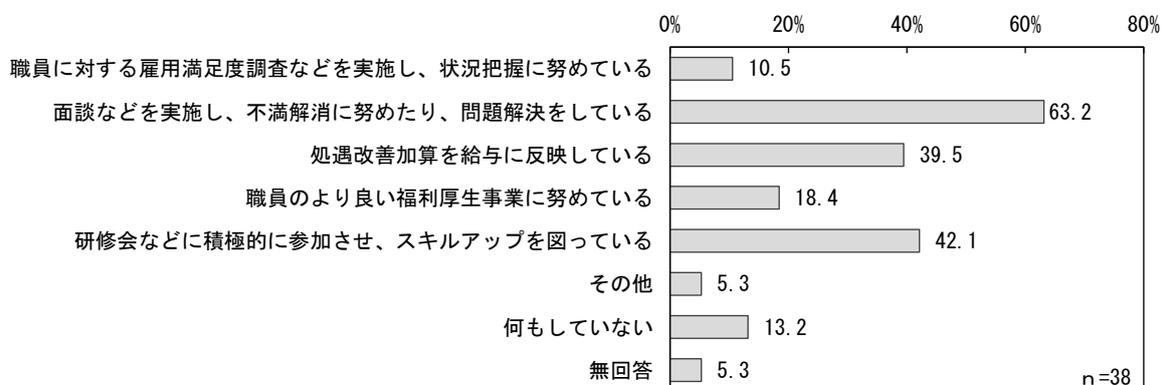
	採用者数		離職者数		合計	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	採用者数	離職者数
合計	67人	37人	31人	17人	104人	48人
20歳未満	1人	1人	1人	0人	2人	1人
20～29歳	11人	5人	3人	2人	16人	5人
30～39歳	13人	5人	10人	2人	18人	12人
40～49歳	25人	11人	6人	4人	36人	10人
50～59歳	15人	4人	6人	4人	19人	10人
60～69歳	2人	10人	4人	4人	12人	8人
70～79歳	0人	1人	1人	1人	1人	2人

※回答事業所数：34事業所

問 15（4）すべての事業所の方におたずねします。

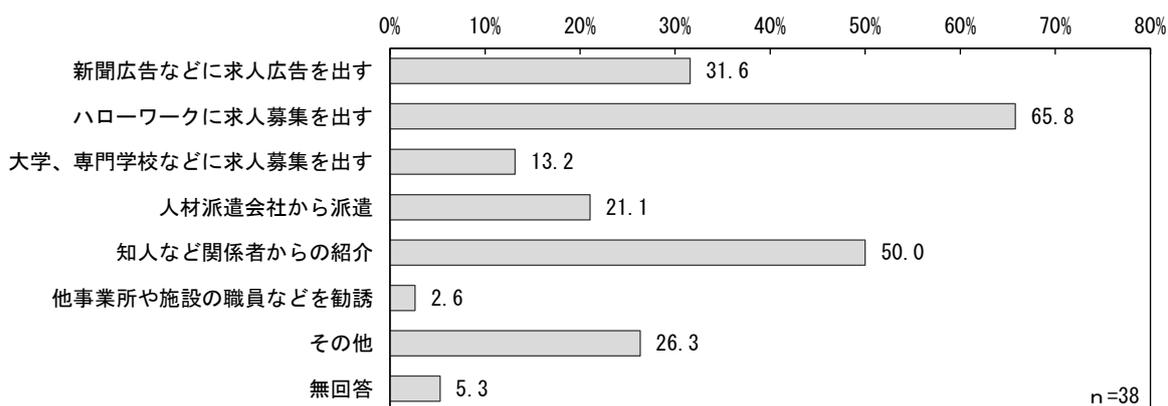
貴事業所では、職員の離職を防止するための工夫として、どのような取組を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

職員の離職防止策では、「面談などを実施し、不満解消に努めたり、問題解決をしている」が63.2%と最も多く、次いで「研修会などに積極的に参加させ、スキルアップを図っている」が42.1%、「処遇改善加算を給与に反映している」が39.5%となっています。



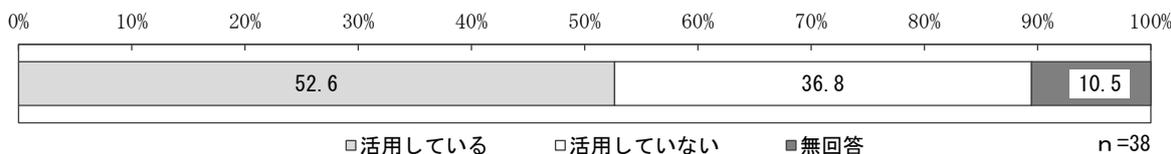
問 15（5）貴事業所では、介護人材の確保について、どのような取組を行っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

介護人材の確保についての取組では、「ハローワークに求人募集を出す」が 65.8%と最も多く、次いで「知人など関係者からの紹介」が 50.0%、「新聞広告などに求人広告を出す」が 31.6%となっています。



問 15（6）貴事業所では、介護職員処遇改善加算を活用されていますか。（1つに○）

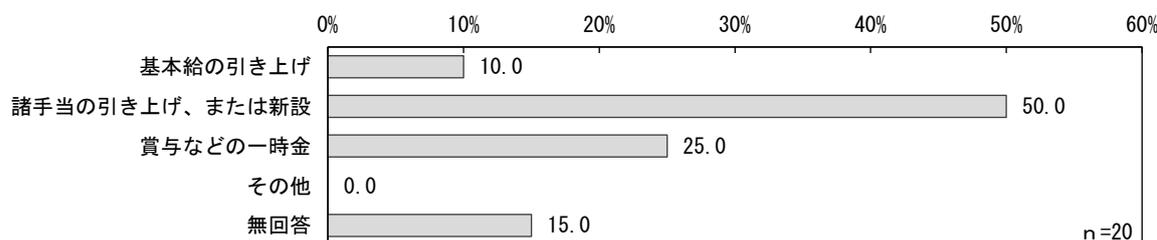
介護職員処遇改善加算について、「活用している」と回答した事業所は 20 事業所 (52.6%)、「活用していない」と回答した事業所は 13 事業所 (36.8%) となっています。



問 15（7）問 15（6）で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

介護職員処遇改善加算をどのように活用されましたか。（1つに○）

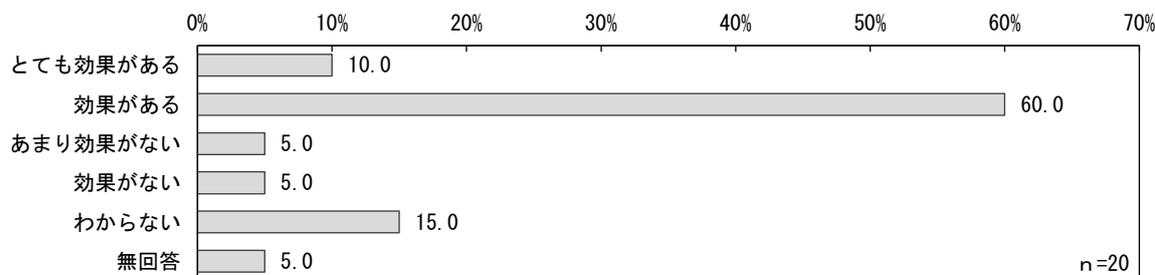
介護職員処遇改善加算の活用方法は、「諸手当の引き上げ、または新設」と回答した事業所が 10 事業所 (50.0%) と最も多く、次いで「賞与などの一時金」と回答した事業所が 5 事業所 (25.0%)、「基本給の引き上げ」が 2 事業所 (10.0%) となっています。



問 15 (8) 問 15 (6) で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

介護職員処遇改善加算は職員の離職防止に効果があると思いますか。(1つに○)

介護職員処遇改善加算の離職防止に対する効果について、「とても効果がある」と「効果がある」と回答した事業所の合計が 14 事業所 (70.0%) となっています。

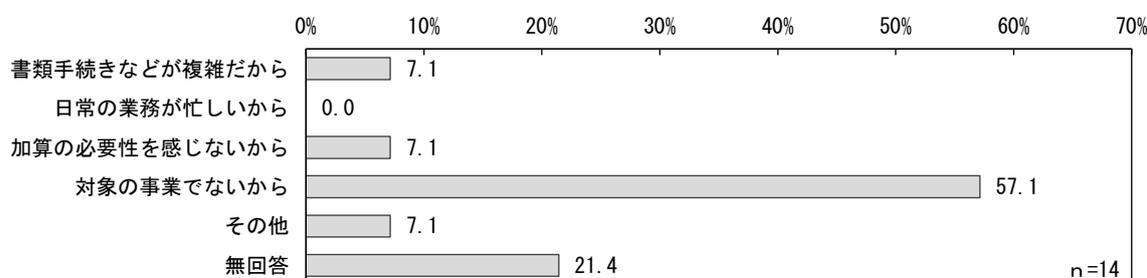


問 15 (9) 問 15 (6) で「2 活用していない」を選ばれた方におたずねします。

介護職員処遇改善加算を活用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

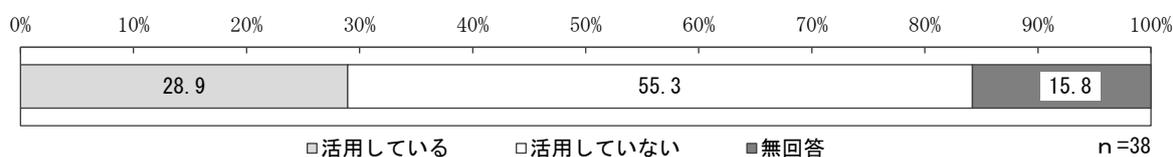
介護職員処遇改善加算を活用していない理由では、「対象の事業でないから」と回答された事業所が 8 事業所 (57.1%) となっています。



問 15 (10) すべての事業所の方におたずねします。

貴事業所では、令和元年 10 月よりスタートした介護職員等特定処遇改善加算を活用されていますか。(1つに○)

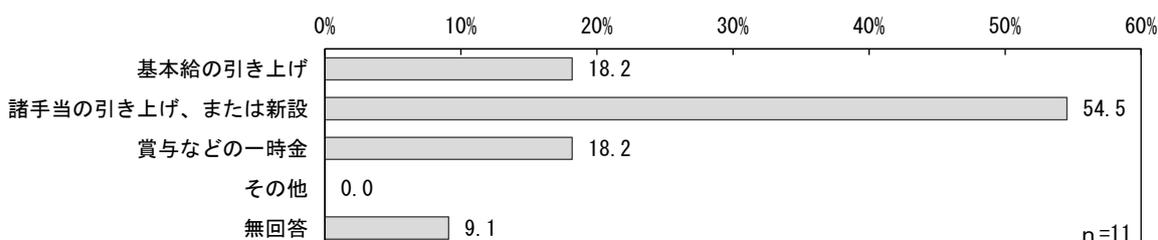
介護職員等特定処遇改善加算について、「活用している」と回答した事業所は 11 事業所 (28.9%)、「活用していない」と回答した事業所が 21 事業所 (55.3%) となっています。



問 15 (11) 問 15 (10) で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

介護職員等特定処遇改善加算をどのように活用する予定ですか。(1つに○)

介護職員等特定処遇改善加算の活用方法は、「諸手当の引き上げ、または新設」と回答した事業所が 6 事業所 (54.5%) と最も多く、「賞与などの一時金」及び「基本給の引き上げ」と回答した事業所が、それぞれ 2 事業所 (18.2%) となっています。

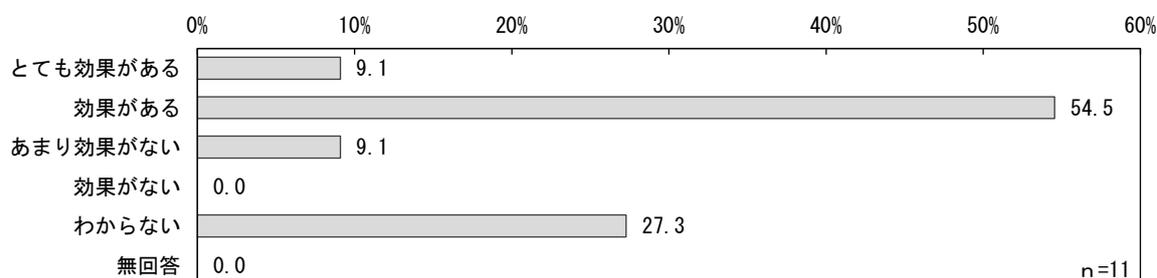


問 15 (12) 問 15 (10) で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

介護職員等特定処遇改善加算は職員の離職防止に効果があると思いますか。

(1つに○)

介護職員等特定処遇改善加算の離職防止に対する効果について、「とても効果がある」と「効果がある」と回答した事業所の合計が 7 事業所 (63.6%) となっています。

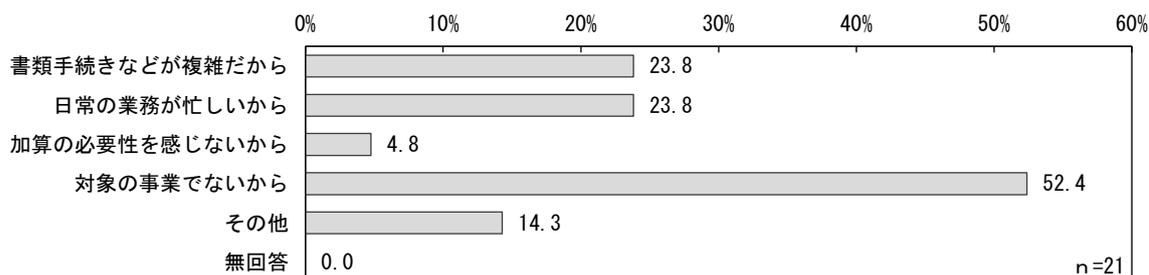


問 15 (13) 問 15 (10) で「2 活用していない」を選ばれた方におたずねします。

介護職員等特定処遇改善加算を活用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

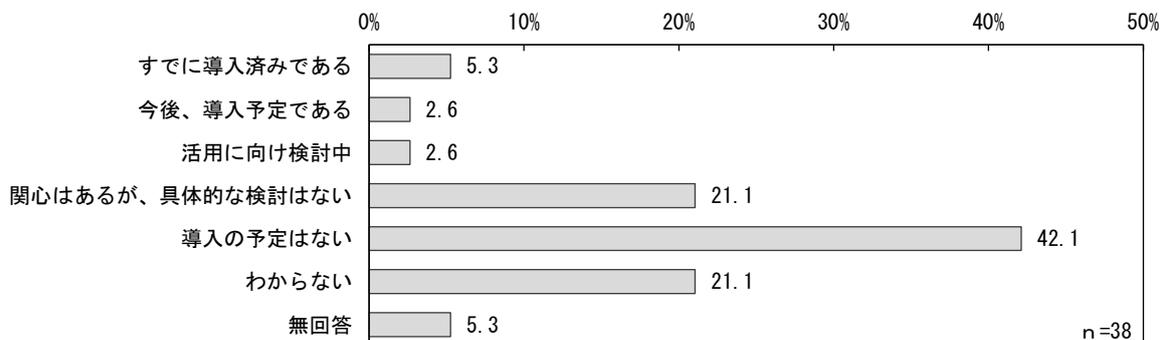
介護職員等特定処遇改善加算を活用していない理由では、「対象の事業でないから」と回答された事業所が 11 事業所 (52.4%) となっています。



問 15 (14) すべての事業所の方におたずねします。

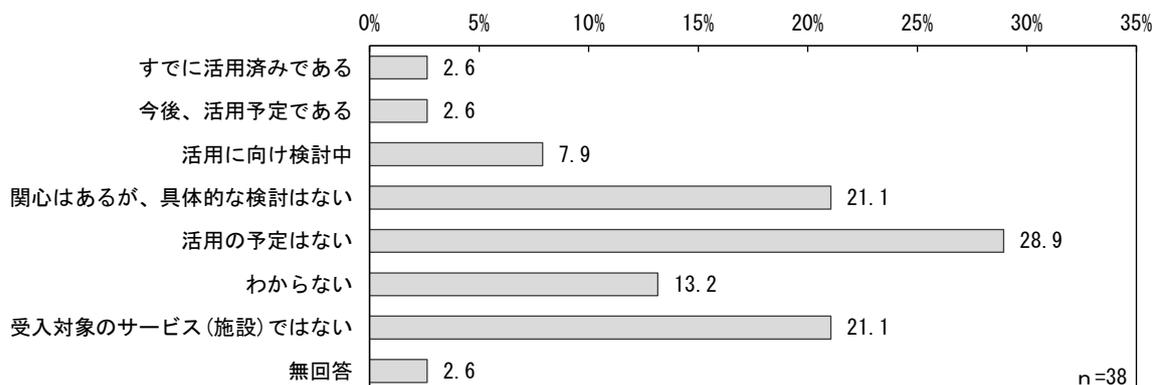
介護ロボットの活用について、貴事業所のお考えをお教えてください。(1つに○)

介護ロボットの活用については、「導入の予定はない」が 42.1%と最も多く、「関心はあるが、具体的な検討はない」及び「わからない」が、それぞれ 21.1%となっています。



問 15 (15) 経済連携協定 (EPA) に基づく外国人材の活用について、貴事業所のお考えをお教えてください。(1つに○)

経済連携協定 (EPA) に基づく外国人材の活用については、「活用の予定はない」が 28.9%と最も多く、次いで「関心はあるが、具体的な検討はない」及び「受入対象のサービス(施設)ではない」がそれぞれ 21.1%となっています。



5. 事業所運営上の課題・要望などについて

結果のポイント

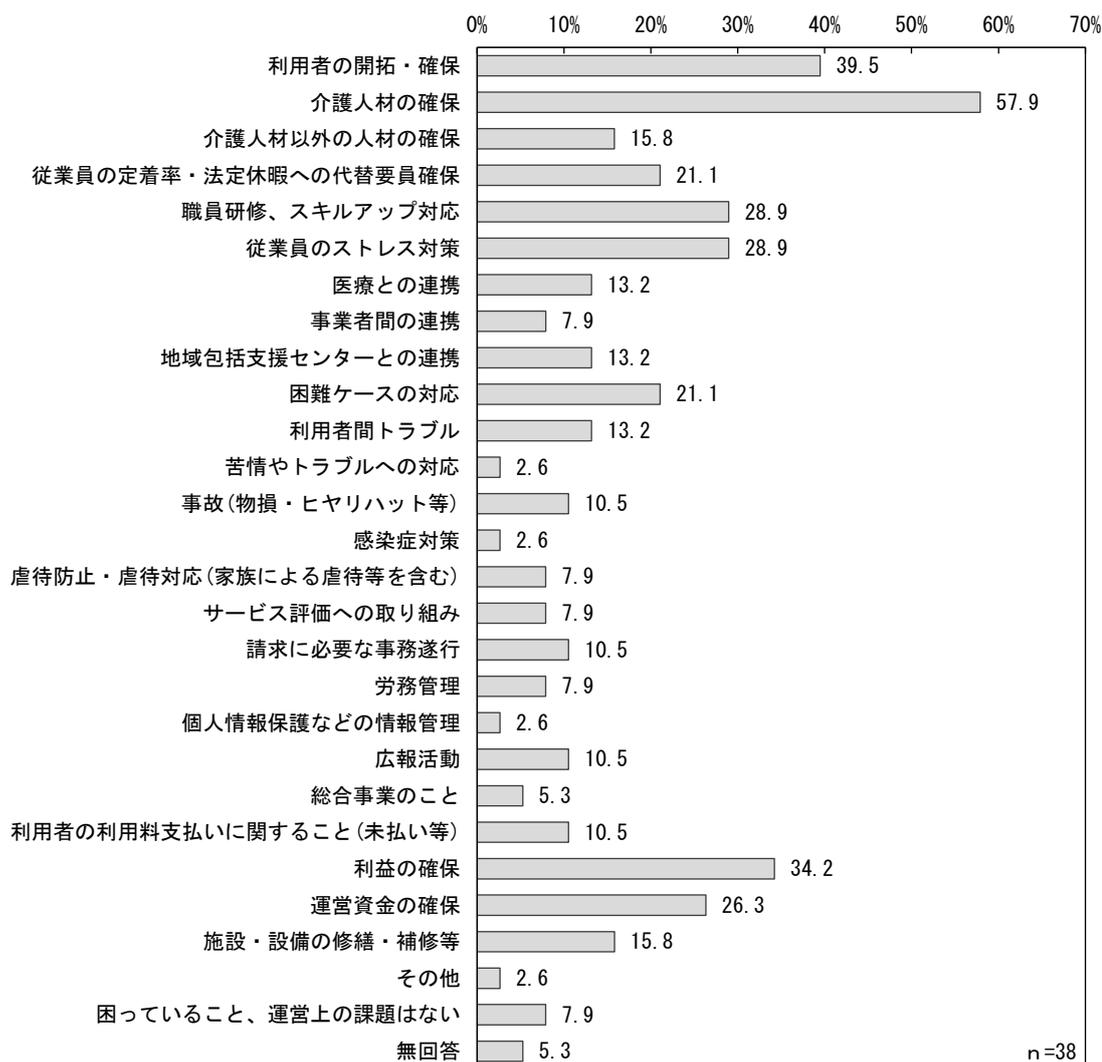
事業所運営上の課題では、「介護人材の確保」と回答した事業所が多く、また、人材育成・定着に関する困りごとでは、「人材育成のための時間がない」ことが挙げられています。市に支援・充実してほしいことでは、「介護保険制度に関する情報の提供」が最も多く、その他、「職員の質の向上のための研修の支援」、「介護人材確保、定着に向けた取組の支援(マッチングなど)」等の意見も多くあります。

問 16 事業所運営上の課題・ご要望などについて、お教えてください。

問 16 (1) 事業所運営において、お困りのこと、課題となっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

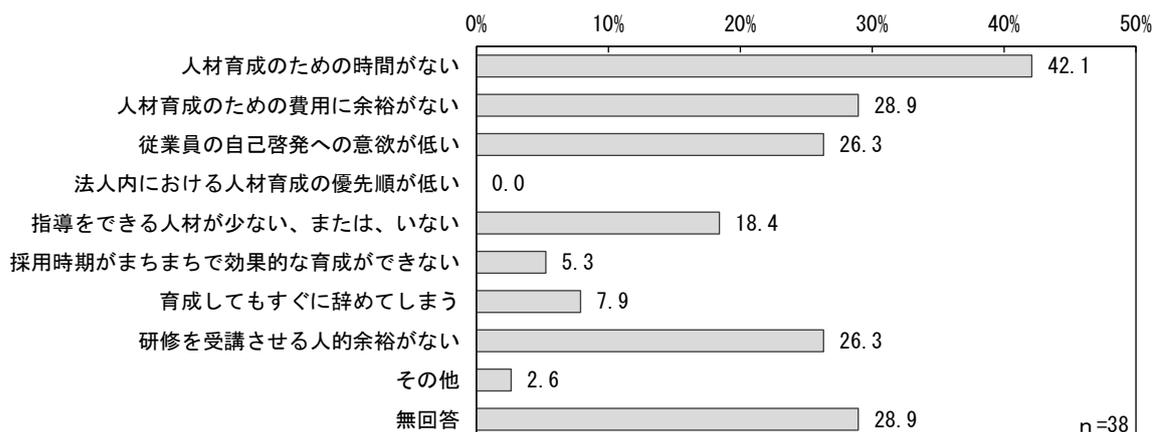
事業所運営上の課題では、「介護人材の確保」が 57.9%と最も多く、次いで「利用者の開拓・確保」が 39.5%、「利益の確保」が 34.2%となっています。



問 16（2）人材育成・定着に関して、困っていることは何ですか。

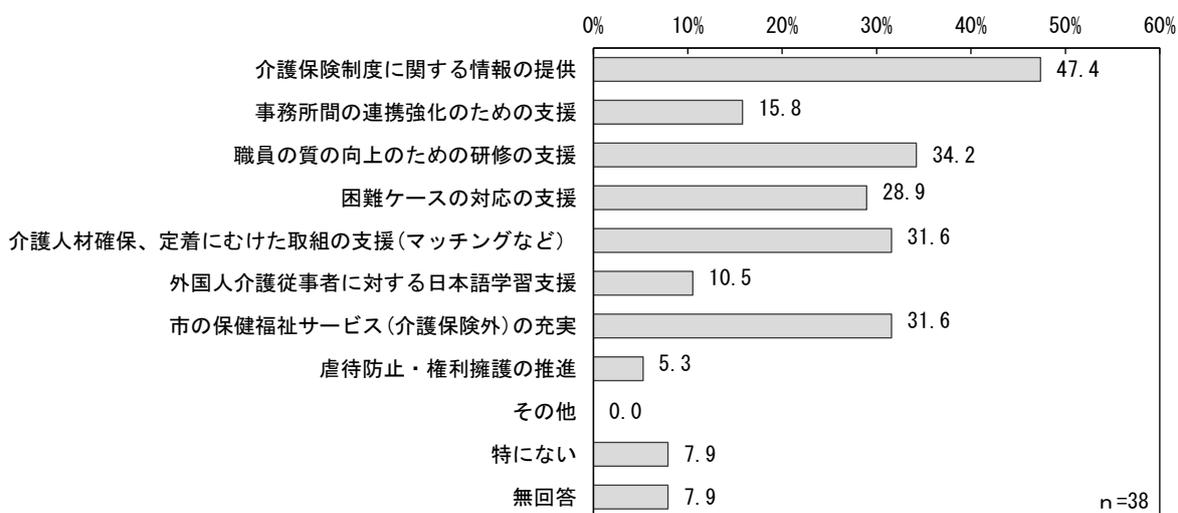
（あてはまるものすべてに○）

人材育成・定着に関して、困っていることでは、「人材育成のための時間がない」が42.1%と最も多く、次いで「人材育成のための費用に余裕がない」が28.9%、「従業員の自己啓発への意欲が低い」及び「研修を受講させる人的余裕がない」が、それぞれ26.3%となっています。



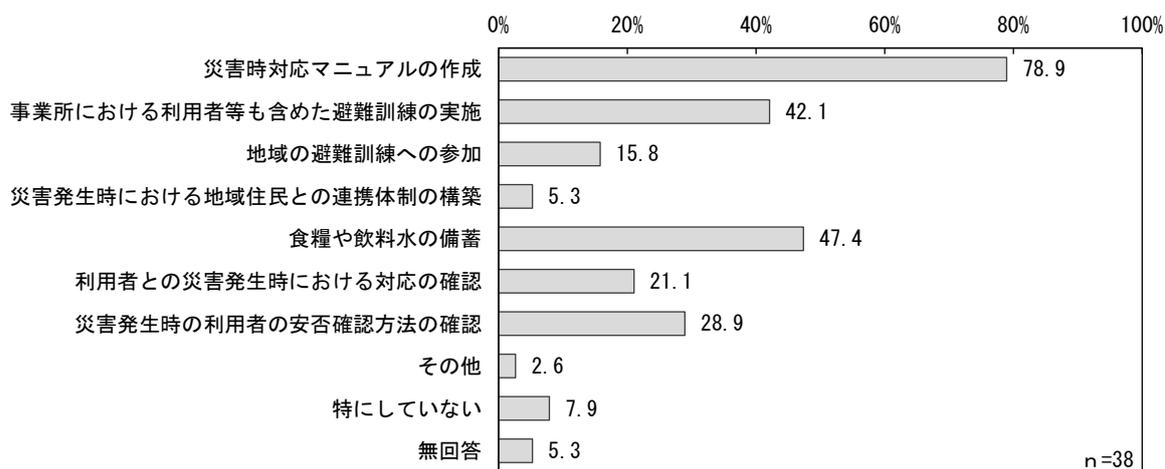
問 16（3）清瀬市内で介護サービス事業を展開するうえで、清瀬市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

清瀬市に支援・充実してほしいことでは、「介護保険制度に関する情報の提供」が47.4%と最も多く、次いで「職員の質の向上のための研修の支援」が34.2%、「介護人材確保、定着にむけた取組の支援(マッチングなど)」及び「市の保健福祉サービス(介護保険外)の充実」が31.6%となっています。



問 17 貴事業所では、非常災害時(火災や地震など)に備えて、どのような対策を講じていますか。(あてはまるものすべてに○)

非常災害時(火災や地震など)の備えについては、「災害時対応マニュアルの作成」が78.9%と最も多く、次いで「食糧や飲料水の備蓄」が47.4%、「事業所における利用者等も含めた避難訓練の実施」が42.1%となっています。



問 18 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたらご記入ください。

以下は、自由記載頂いたご意見を抜粋・一部要約したものです。

なお、掲載内容は、頂いたご意見をできるだけそのまま掲載しています。

- ・介護人材の確保のため、認定ヘルパーはもっと簡単な研修で良いのではないかと、あまり難しいことをするので人が集まらないのではないかと考えます。
- ・事業所の使っている帳票(アセスメントシートや計画書等)を行政で発行して頂けるとありがたいです。事業所が帳票を作成しているが、時間が多くかかるため、その時間を利用者に使いたいと考えます。
- ・2割負担がきつくて、サービスを控えておられる方が増えて参りました。介護保険という素晴らしいサービスを利用しやすくして頂きたい。
- ・処遇改善加算(介護・障がい・特定)は、訪問介護に効果大と言えます。10月からの単位数微増も職員への反映が出来、結果離職を防ぐ効果があるので良かったと思っております。これまでの介護保険制度は利用者本位という名目の下、そこで働く人がなおざりであり、介護士のやりがい搾取の結果、機能してきた仕組みであると思います。働く人が幸せになれば、結果利用者も幸せになれると考えます。
- ・利用者家族への対応の困難さを感じます。制度の理解、自立支援について等の理解を深める

地域との連携や、地域課題について共に考え、発掘し、対応を検討できる機会があればいいと思います。

- 総合事業の2人対応等、サービスの幅が狭く応用しづらい(状況に応じた対応がしづらい) と思います。分かりやすく区分けをするか、サービスを拡充して欲しい。

資料 調査票

清瀬市高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)

評価と策定のための アンケート調査のお願い

日頃より、清瀬市の高齢者保健福祉行政に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

清瀬市では、高齢者の保健福祉事業及び介護保険事業のより一層のサービス向上のため、市内にお住まいの方より率直なご意見やご要望をお伺いしたく、アンケート調査を実施するはこびとなりました。この度のアンケートの結果は、令和3年度よりスタートする「清瀬市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するための基礎資料となります。

本調査は、介護保険の認定を受けていない65歳以上の方と、介護保険で要支援1・2の認定を受けている方、合計約1,600名を無作為抽出して行います。回答は無記名であり、全て統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、お答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年11月27日 清瀬市長 渋谷 金太郎

調査の方法について

- 1 この調査は無記名方式なので、お名前を書いて頂く必要はございません。
- 2 回答は、該当する番号に○を付けていただくものと、ご意見を記入していただくものとございます。「その他」に○を付けた場合は()内に具体的な内容をお書きください。
- 3 この調査は、封筒のあて名の方ご本人について回答をお願いするものです。できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、あて名のご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などがお手伝いするなど、ご本人の代わりに回答くださいますようお願いいたします。
- 4 ご回答頂いたアンケート調査票は、令和元年 **12月18日まで**に、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れて頂き、郵便ポストへ投函をお願いします。

お問い合わせ先 清瀬市健康福祉部高齢支援課 (電話：042-497-2079)

問1 はじめに、この調査票に記入される方をお教えてください。(1つに○)

1 あて名のご本人が記入 2 ご家族が記入 3 その他 ()

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と令和元年10月1日現在の年齢をお教えてください。(1つに○)及び(記述式)

1 男性 2 女性

満 () 歳 ※年齢を記入してください

問3 お住まいの地区、丁目について、お教えてください。(それぞれ1つに○)

町名	1 上清戸	2 中清戸	3 下清戸	4 元町		
	5 下宿	6 旭が丘	7 中里	8 野塩		
	9 松山	10 竹丘	11 梅園			
丁目	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目

問4 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成についてお教えてください。(1つに○)

1 1人暮らし
2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4 息子・娘との2世帯
5 その他 ()

(2) あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

1 している 2 していない

(3) あなたは、今後、収入のある仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに○)

1 したい(続けたい) 2 したくない(続けたくない)
3 したいが、できない(続けたいが、続けられない)

(4) お住まいの住宅の種類についてお教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 持家一戸建 | 2 持家共同住宅(分譲マンション等) |
| 3 民間賃貸一戸建 | 4 民間賃貸共同住宅(賃貸マンション・アパート等) |
| 5 公的賃貸(UR賃貸住宅、都営住宅、市営住宅等) | |
| 6 社宅・官舎、寮 | 7 その他() |

(5) あなたの年収額(年金、給料、仕送りなどすべて含み、配偶者がいる場合は、配偶者の収入も含みます。)は合計でいくらくらいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 100万円未満 | 2 100万円～200万円未満 |
| 3 200万円～300万円未満 | 4 300万円～400万円未満 |
| 5 400万円～500万円未満 | 6 500万円～700万円未満 |
| 7 700万円～1,000万円未満 | 8 1,000万円以上 |
| 9 わからない | |

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 介護・介助は必要ない |
| 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(7) あなたは、要支援認定等をうけていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | 3 事業対象者 |
| 4 受けていない | 5 わからない | |

(8) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 ふつう |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問5 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわず昇っていますか。(1つに○)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

1 何度もある 2 1度ある 3 ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

1 とても不安である 2 やや不安である
3 あまり不安でない 4 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

1 ほとんど外出しない 2 週1回
3 週2～4回 4 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1 とても減っている 2 減っている
3 あまり減っていない 4 減っていない

(11) 「スマイルケア食」(※)を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

※「スマイルケア食」とは、噛むことや飲み込むことなどの食べる機能が弱くなった人や、栄養状態がよくない人などを対象とした、新しい介護食品の愛称です。

(12) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

- | |
|-----------------------|
| 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

問7 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(7) 趣味はありますか。(1つに○) 及び(記述式)

1 ある → 具体的内容 ()
2 思いつかない

(8) 生きがいはありますか。(1つに○) 及び(記述式)

1 ある → 具体的内容 ()
2 思いつかない

問8 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①~⑧のそれぞれ1つに○)

項 目	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加 して いない
【記入例】 ① ボランティアのグループ	1	②	3	4	5	6
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 脳トレ元気塾やよろず健 康教室など介護予防のた めの通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ (老人クラブ)	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 是非参加したい | 2 参加してもよい | 3 参加したくない |
| 4 既に参加している | | |

(3) どのようなきっかけがあれば、地域活動に取り組もうと思いますか。すでに参加している活動がある方は地域活動を増やすきっかけはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 紹介があれば参加したい |
| 2 時間に余裕があれば参加したい |
| 3 知り合いがいれば参加したい |
| 4 関心・興味がある活動であれば参加したい |
| 5 活動拠点が身近であれば参加したい |
| 6 体調がよくなったら参加したい |
| 7 すでに参加しており、現状で満足している |
| 8 その他 () |
| 9 関心がない |

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 是非参加したい | 2 参加してもよい | 3 参加したくない |
| 4 既に参加している | | |

(5) 地域活動を運営する上で必要なものは何ですか。(2つまでに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 市民センターなどの公共施設の充実 | 2 身近で気軽に集える場所 |
| 3 リーダーやサポーターの養成 | 4 活動団体などの情報発信 |
| 5 各種活動と参加者のマッチング | 6 運営資金援助(補助) |
| 7 その他 () | 8 特にない |

問9 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他 () | 8 そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他 () | 8 そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他 () | 8 そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他 () | 8 そのような人はいない | |

(5) あなたは、悩みや不安、困ったことがあるとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 | 3 同じ境遇の人 |
| 4 近所の人 | 5 自治会 | 6 民生委員 |
| 7 ふれあい協力員 | 8 社会福祉協議会 | 9 医師・看護師 |
| 10 市役所 | 11 地域包括支援センター | |
| 12 ケアマネジャー | 13 その他 () | |
| 14 相談する人がいない | 15 だれにも相談したくない | |

(5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

1 ほぼ毎日吸っている	2 ときどき吸っている
3 吸っていたがやめた	4 もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ない	2 高血圧
3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4 心臓病
5 糖尿病	6 高脂血症(脂質異常)
7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気	
10 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
11 外傷(転倒・骨折等)	12 がん(悪性新生物)
13 血液・免疫の病気	14 うつ病
15 認知症(アルツハイマー病等)	16 パーキンソン病
17 目の病気	18 耳の病気
19 その他()	

(7) ご自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる、かかりつけの診療所・病院、歯科医院、薬局はありますか。

(それぞれ「ある」または「ない」のどちらかに○)

かかりつけの診療所・病院		かかりつけの歯科医院		かかりつけの薬局	
ある	ない	ある	ない	ある	ない

問 11 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(3) 清瀬市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

(4) 認知症についてどのようなことに関心がありますか。(3つまでに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 認知症の症状について | 2 認知症の予防について |
| 3 認知症の介護の仕方について | 4 日常生活上の注意点について |
| 5 若年性認知症について | 6 認知症に関する相談窓口 |
| 7 認知症高齢者が利用できるサービスについて | |
| 8 認知症の人や家族を支える認知症カフェや家族会について | |
| 9 その他 () | |
| 10 特に関心はない | |

問 12 介護保険・福祉制度、サービスについて

(1) 介護保険法では、国民の努力義務として、「自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めること」、「要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービスおよび福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めること」とされています。

国民に対する、こうした法律上の規定を知っていましたか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

(2) 現在の介護保険料の支払いについて、どのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 負担に感じない | 2 あまり負担に感じない |
| 3 やや負担を感じる | 4 負担を感じる |
| 5 わからない | |

(3) 介護保険サービスを今後更に充実させるために、皆さんの介護保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 介護保険料の負担が増えても、介護サービスを更に充実させていくことが必要だ |
| 2 介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない |
| 3 どちらともいえない |

(4) 「成年後見制度」(※)を知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 1 利用している | 2 知っているが利用したことはない | 3 知らない |
|----------|-------------------|--------|

※ 「成年後見制度」とは、認知症などにより判断能力が十分でなくなった時に、本人の権利を守るための援助者を選び、法律面や生活面を支援する制度です。

(5) 「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」(※)を知っていますか。

(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 1 利用している | 2 知っているが利用したことはない | 3 知らない |
|----------|-------------------|--------|

※ 「地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」とは、自分の判断で適切に福祉サービス等を利用することが困難な方に対して、相談や助言などにより地域での生活を援助する事業です。

(6) 高齢者への虐待に気づいたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 警察 |
| 4 医療機関 | 5 地域包括支援センター | 6 市役所 |
| 7 ふれあい協力員 | 8 民生委員 | |
| 9 その他 () | | 10 わからない |

(7) 清瀬市には、現在4か所の地域包括支援センター(※)が設置されています。

地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 1 利用している | 2 知っているが利用したことはない | 3 知らない |
|----------|-------------------|--------|

※「地域包括支援センター」とは、高齢者の介護予防、介護サービス利用、権利擁護に関する相談などに応じる機関です。

(8) 清瀬市では、介護予防・日常生活支援総合事業(※)(以下、「総合事業」という。)に取り組んでいます。

総合事業を知っていますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 よく知っている |
| 2 聞いたことがあり、知っていることもある |
| 3 聞いたことはあるが、あまりわからない |
| 4 ほとんどわからない |

※「介護予防・日常生活支援総合事業」とは、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等の方に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とする事業です。

(9) 総合事業の以下のサービス等について、あなた(あて名のご本人)は利用・参加したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1 買い物・そうじ・ゴミ出しなど | 2 体操や運動の集まり |
| 3 短期集中型のリハビリ | 4 健康相談 |
| 5 利用・参加したいサービス・活動はない | |

(10) 総合事業は地域の皆さんが担い手となることで、地域の支え合い体制づくりを推進するものです。

以下のサービス等について、あなた(あて名のご本人)は手伝ってみたいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 買い物やそうじ等の家事の手伝い |
| 2 電球交換やゴミ出しなどのちょっとした手伝い |
| 3 体操や運動の活動の手伝い |
| 4 高齢者の集いの場の手伝い |
| 5 手伝ってみたいサービス・活動はない |

(11) 清瀬市には、地域交流の場の充実や介護予防を目的とした各種事業があります。

以下のような会・事業等に対する認知度・利用経験・今後の利用希望についてお教えください。(①～⑮のそれぞれ1つずつに○)

項目	認知度		利用経験		今後の利用	
	知っている	知らない	ある	ない	したい	したくない
【記入例】						
① シルバー人材センター	①	2	1	②	①	2
① シルバー人材センター	1	2	1	2	1	2
② シニアクラブ (老人クラブ)	1	2	1	2	1	2
③ 敬老大会	1	2	1	2	1	2
④ サロン	1	2	1	2	1	2
⑤ きよせ介護サポーター	1	2	1	2	1	2
⑥ シニアカレッジ	1	2	1	2	1	2
⑦ 健康増進室	1	2	1	2	1	2
⑧ よろず健康教室	1	2	1	2	1	2
⑨ 脳トレ元気塾	1	2	1	2	1	2
⑩ 脳力アップ塾	1	2	1	2	1	2
⑪ お喜楽貯筋クラブ	1	2	1	2	1	2
⑫ フレイル・オーラルフレイル 予防事業	1	2	1	2	1	2
⑬ 健康大学 (講演会・実技コース)	1	2	1	2	1	2
⑭ ふらっとサロン (お茶会・集いの場)	1	2	1	2	1	2
⑮ 認知症初期集中支援事業	1	2	1	2	1	2

(14) あなたが、介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 家族などに介護してもらい、自宅で生活する |
| 2 | 介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活する |
| 3 | 施設に入所する |
| 4 | その他 () |
| 5 | わからない |

(15) あなたが、人生の最期を迎えるとき、どこで迎えたいですか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 自宅 | 2 | 介護施設 (老人ホームなど) |
| 3 | 病院やホスピスなどの医療施設 | 4 | その他 () |
| 5 | わからない | | |

(16) あなたは、普段、福祉に関する情報を、どこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|---------------|----|----------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 |
| 3 | 自治会 | 4 | 民生委員 |
| 5 | 地域包括支援センター | 6 | シニアクラブ (老人クラブ) |
| 7 | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | 8 | 市の広報誌 |
| 9 | 市役所の窓口・掲示板 | 10 | 市のホームページ |
| 11 | 医療機関・介護施設 | 12 | 社会福祉協議会 |
| 13 | ふれあい協力員 | 14 | ケアマネジャー |
| 15 | インターネット | 16 | その他 () |
| 17 | 特にない | | |

(17) これからの高齢者福祉施策で、市に力を入れてほしいと思うものはどれですか。

(3つまでに○)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 生きがい支援 |
| 2 | 高齢者サロン活動への支援 |
| 3 | シニアクラブ（老人クラブ）への支援 |
| 4 | 就労支援 |
| 5 | 健康管理（がん検診、予防接種など） |
| 6 | 住みやすい住宅への支援 |
| 7 | 買い物や通院などの外出支援 |
| 8 | 公共施設の整備改善（バリアフリー化） |
| 9 | 寝たきり、要介護の高齢者に対する支援 |
| 10 | 見守り支援 |
| 11 | 家族の介護負担の軽減 |
| 12 | 認知症予防についての支援 |
| 13 | 認知症高齢者に対する支援 |
| 14 | 認知症の人や家族を支える認知症カフェや家族会への支援 |
| 15 | 若年性認知症の人に対する支援 |
| 16 | 高齢者虐待への対応の強化 |
| 17 | ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実 |
| 18 | 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 |
| 19 | 地域包括支援センターなど相談体制の充実 |
| 20 | 地域におけるボランティア組織の育成 |
| 21 | その他（ <input type="text"/> ） |
| 22 | 特にない |

(18) 清瀬市の保健福祉施策全般について、どのように感じていますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|------------|---|----------|
| 1 | とても充実している | 2 | まあ充実している |
| 3 | あまり充実していない | 4 | 充実していない |

- (19) 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたらご記入ください。（記述式）

ご協力、誠にありがとうございました。

本アンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて頂き、
令和元年 12 月 18 日（水）までに郵便ポストに投函してください。

2. 要介護認定 1～5の方への調査 調査票

清瀬市高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)

評価と策定のための アンケート調査のお願い

日頃より、清瀬市の高齢者保健福祉行政に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

清瀬市では、高齢者の保健福祉事業及び介護保険事業のより一層のサービス向上のため、市内にお住まいの方より率直なご意見やご要望をお伺いしたく、アンケート調査を実施するはこびとなりました。この度のアンケートの結果は、令和3年度よりスタートする「清瀬市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するための基礎資料となります。

本調査は、介護保険において要介護1～5の認定を受けており施設入所されていない方約1,000名を無作為抽出して行います。回答は無記名であり、全て統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、お答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年11月27日 清瀬市長 渋谷 金太郎

調査の方法について

- 1 この調査は無記名方式なので、お名前を書いて頂く必要はございません。
- 2 回答は、該当する番号に○を付けていただくものと、ご意見を記入していただくものとございます。「その他」に○を付けた場合は()内に具体的な内容をお書きください。
- 3 この調査は、封筒のあて名の方ご本人について回答をお願いするものです。できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、あて名のご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などがお手伝いするなど、ご本人の代わりに回答くださいますようお願いいたします。
- 4 ご回答頂いたアンケート調査票は、令和元年 **12月18日まで**に、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れて頂き、郵便ポストへ投函をお願いします。

お問い合わせ先 清瀬市健康福祉部高齢支援課 (電話：042-497-2079)

問1 はじめに、この調査票に記入される方をお教えてください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 あて名のご本人が記入 | 2 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3 主な介護者以外の家族・親族 | 4 その他（ ） |

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と令和元年10月1日現在の年齢をお教えてください。（1つに○）及び（記述式）

- | | | |
|------|------|--------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 満（ ）歳 ※年齢を記入してください |
|------|------|--------------------|

問3 お住まいの地区、丁目について、それぞれ1つに○をしてください。

町名	1 上清戸	2 中清戸	3 下清戸	4 元町		
	5 下宿	6 旭が丘	7 中里	8 野塩		
	9 松山	10 竹丘	11 梅園			
丁目	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目

問4 あなた（あて名ご本人）の要介護度について、お教えてください。（1つに○）

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1 要介護1 | 2 要介護2 | 3 要介護3 | 4 要介護4 |
| 5 要介護5 | 6 わからない | | |

問5 現時点での施設等（※）への入所・入居の検討状況について、お教えてください。

（1つに○）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 入所・入居は検討していない | 2 入所・入居を検討している |
| 3 すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問6 世帯類型について、お教えてください。（1つに○）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦のみ世帯 | 3 その他（ ） |
|--------|----------|----------|

問7 お住まいの住宅の種類について教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 持家一戸建 | 2 持家共同住宅(分譲マンション等) |
| 3 民間賃貸一戸建 | 4 民間賃貸共同住宅(賃貸マンション・アパート等) |
| 5 公的賃貸(UＲ賃貸住宅、都営住宅、市営住宅等) | |
| 6 社宅・官舎、寮 | 7 その他() |

問8 あなたの年収額(年金、給料、仕送りなどすべて含み、配偶者がいる場合は、配偶者の収入も含みます。)は合計でおいくらぐらいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 100万円未満 | 2 100万円～200万円未満 |
| 3 200万円～300万円未満 | 4 300万円～400万円未満 |
| 5 400万円～500万円未満 | 6 500万円～700万円未満 |
| 7 700万円～1,000万円未満 | 8 1,000万円以上 |
| 9 わからない | |

問9 現在抱えている傷病について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1 脳血管疾患(脳卒中) | 2 心疾患(心臓病) |
| 3 悪性新生物(がん) | 4 呼吸器疾患 |
| 5 腎疾患(透析) | |
| 6 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | |
| 7 膠原病(関節リウマチ含む) | 8 変形性関節疾患 |
| 9 認知症 | 10 パーキンソン病 |
| 11 難病(パーキンソン病を除く) | 12 糖尿病 |
| 13 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | |
| 14 その他() | 15 なし |
| 16 わからない | |

問10 令和元年10月の1か月の間に(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険の在宅サービスを利用しましたか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 利用した ⇒ 問11へ | 2 利用していない ⇒ 問12へ |
|---------------|------------------|

問 11 問 10 で「1 利用した」を選んだ方におたずねします。

(問 10 で「2 利用していない」を選んだ方は問 12 へお進みください。)

以下の介護保険サービスについて、令和元年 10 月の 1 か月の間の利用状況をお教えてください。(対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。)

(1) 令和元年 10 月、1 週間にどの位利用しましたか。(それぞれ 1 つに○)

項 目	利用 して いない	週 1 回 程度	週 2 回 程度	週 3 回 程度	週 4 回 程度	週 5 回 以上
【記入例】						
① 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
① 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
② 訪問入浴介護	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
③ 訪問看護	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
④ 訪問リハビリテーション	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
⑤ 通所介護 (デイサービス)	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回
⑥ 通所リハビリテーション (デイケア)	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回

(2) 令和元年 10 月に、以下のサービスを利用しましたか。(1 つに○)

⑦ 看護小規模 多機能居宅介護	利用した	利用していない
--------------------	------	---------

(3) 令和元年 10 月に、以下のサービスを利用しましたか。(それぞれ 1 つに○)

⑧ ショートステイ	利用して いない	月 1～7 日程度	月 8～14 日程度	月 15～21 日程度	月 22 日 以上
⑨ 居宅療養管理指導	利用して いない	月 1 回 程度	月 2 回 程度	月 3 回 程度	月 4 回 程度

(4) 介護保険サービスを利用することで、あなた（あて名のご本人）の生活にどのような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|----|--------------------------------|----|-------------|
| 1 | 自分で身の回りのことができ、また、しようという意欲が出てきた | | |
| 2 | 体調がよくなった | 3 | 精神的に楽になった |
| 4 | 家族に対する気兼ねが減った | 5 | 外出する機会が増えた |
| 6 | 自分で身の回りのことをしなくなった | | |
| 7 | 体調が悪くなった | 8 | 精神的ストレスが増えた |
| 9 | 家族に対する気兼ねが増えた | 10 | 外出する機会が減った |
| 11 | 金銭的な負担が増えた | | |
| 12 | その他（ | | ） |
| 13 | 特に変化はない | | |

問 12 問 10 で「2 利用していない」を選んだ方におたずねします。

（問 10 で「1 利用した」を選んだ方は問 13 へお進みください。）

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|--------------------------|--|---|
| 1 | 現状ではサービスを利用するほどの状態ではない | | |
| 2 | 本人にサービス利用の希望がない | | |
| 3 | 家族が介護するため必要ない | | |
| 4 | 以前、利用していたサービスに不満があった | | |
| 5 | 利用料を支払うのが難しい | | |
| 6 | 利用したいサービスが利用できない、身近にない | | |
| 7 | 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用するため | | |
| 8 | サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない | | |
| 9 | その他（ | | ） |

問 13 すべての方におたずねします。

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどの位ありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

- | | | | |
|---|----------------------------------|---|-------------------|
| 1 | ない ⇒ 問 20 へ | | |
| 2 | 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない ⇒ 問 14 へ | | |
| 3 | 週に1～2日ある ⇒ 問 14 へ | 4 | 週に3～4日ある ⇒ 問 14 へ |
| 5 | ほぼ毎日ある ⇒ 問 14 へ | | |

● ここからは、主な介護者の方におうかがいします。

「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします。ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、問 20 にお進みください。

問 14 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、お教えてください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまでに○)

[身体介護]

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助(食べる時) | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6 衣服の脱着 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面(経管栄養、ストーマ等) | |

[生活援助]

- 12 食事の準備(調理等)
- 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

[その他]

- 15 その他()
- 16 不安に感じていることは、特にない
- 17 主な介護者に確認しないと、わからない

問 15 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

(あてはまるものすべてに○)

- 1 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
- 3 主な介護者が転職した
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6 わからない

問 16 主な介護者の方は、あて名ご本人の介護以外に育児や他の家族の方の介護をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 あて名のご本人のみ介護している	2 他の家族の介護もしている
3 未就学の子の育児もしている	4 未就学の孫の育児もしている
5 その他（ ）	

問 17 主な介護者の方のご年齢と続柄について、お教えてください。（1つに○）

年齢	1 20歳未満	2 20代	3 30代	4 40代
	5 50代	6 60代	7 70代	8 80歳以上
	9 わからない			
続柄	1 配偶者	2 子	3 子の配偶者	4 孫
	5 兄弟・姉妹 6 その他（ ）			

問 18 主な介護者の方の勤務形態について、お教えてください。（1つに○）

1 フルタイムで働いている	⇒ 問 19 へ
2 パートタイムで働いている	⇒ 問 19 へ
3 働いていない	⇒ 問 20 へ
4 主な介護者に確認しないと、わからない	⇒ 問 20 へ

問 19 問 18 で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」を選んだ方におたずねします。（問 18 で「3 働いていない」「4 主な介護者に確認しないと、わからない」を選んだ方は問 20 へお進みください。）

(1) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整をしていますか。（1つに○）

1 特に行っていない
2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6 主な介護者に確認しないと、わからない

(2) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1 問題なく、続けていける |
| 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい |
| 4 続けていくのは、かなり難しい |
| 5 主な介護者に確認しないと、わからない |

● ここからは再び、すべての方におうかがいします。

問 20 認知症のことについて

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(3) 清瀬市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

(4) 普段、認知症についてどのようなことに関心がありますか。

(3つまでに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 認知症の症状について | 2 認知症の予防について |
| 3 認知症の介護の仕方について | 4 日常生活上の注意点について |
| 5 若年性認知症について | 6 認知症に関する相談窓口 |
| 7 認知症高齢者が利用できるサービスについて | |
| 8 認知症の人や家族を支える認知症カフェや家族会について | |
| 9 その他 () | |
| 10 特に関心はない | |

問 21 困ったときの相談先について

- (1) あなたは、悩みや不安、困ったことがあるとき、どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	2 友人・知人	3 同じ境遇の人
4 近所の人	5 自治会	6 民生委員
7 ふれあい協力員	8 社会福祉協議会	9 医師・看護師
10 市役所	11 地域包括支援センター	
12 ケアマネジャー	13 その他 ()	
14 相談する人がいない	15 だれにも相談したくない	

- (2) あなたは、日常生活の中で孤独感を感じることはありますか。(1つに○)

1 感じない	2 あまり感じない	3 ときどき感じる
4 いつも感じる		

問 22 ケアマネジャーがいる方にお伺いします。(ケアマネジャーがいない方は問 24 へお進みください。) ケアマネジャーが提供する以下のサービス等に対する満足度についてお答えください。(①～⑤のそれぞれ1つに○)

項 目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
【記入例】					
① ケアマネジャーの言葉遣いや態度は、ていねいで気持ちのよいものか。	1	2	3	4	5
① ケアマネジャーの言葉遣いや態度は、ていねいで気持ちのよいものか。	1	2	3	4	5
② 利用料金や利用方法などの説明は、ていねいで分かりやすいか。	1	2	3	4	5
③ ケアマネジャーが作成したケアプランに、希望したサービスが組み入れられているか。	1	2	3	4	5
④ 専門的な助言や援助をしてくれるか。	1	2	3	4	5
⑤ ケアマネジャーに相談したことで、各種サービスにつながり、自分でできることが増えたり、気持ちが明るくなったと感じるか。	1	2	3	4	5

問 23 ケアマネジャーに対するご意見・ご要望などございましたら、ご記入ください。

問 24 介護保険・福祉制度、サービスについて

(1) 現在の介護保険料の支払いについて、どのように感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 1 負担に感じない | 2 あまり負担に感じない | 3 やや負担を感じる |
| 4 負担を感じる | 5 わからない | |

(2) 介護保険サービスを今後更に充実させるために、皆さんの介護保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 介護保険料の負担が増えても、介護サービスを更に充実させていくことが必要だ |
| 2 介護保険料の上昇をなるべく抑えるため、介護サービスを更に充実させる必要はない |
| 3 どちらともいえない |

(3) 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用されていますか。
(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 限度額以上に利用している | 2 ほとんど限度額いっぱい利用している |
| 3 限度額まで利用していない | 4 わからない |

(4) 問 24 (3) で「3 限度額まで利用していない」を選んだ方におたずねします。

(それ以外の方は問 24 (5) へお進みください。)

限度額まで利用していない理由は何ですか。(2つまでに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 現在のサービスで間に合っているため |
| 2 家族の介護により、多く利用せずに済んでいるため |
| 3 利用料の負担が大きくなるため |
| 4 自立のためにはなるべく使わないほうがよいため |
| 5 他に利用したいサービスがないため |
| 6 その他 () |

(5) 在宅の人が利用できる以下の介護保険サービスについて、利用したい・利用し続けたいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅で、入浴や排せつなどの介護を受けるサービス
- 2 自宅で、掃除や買い物などの支援を受けるサービス
- 3 自宅で、病状観察や医療処置を受けるサービス
- 4 自宅で、リハビリテーションを受けるサービス
- 5 自宅で、医師等から療養上の指導を受けるサービス
- 6 デイサービス(施設へ通うサービス)
- 7 ショートステイ(施設へ泊まるサービス)
- 8 自宅で、ベッドや手すりを借りるサービス
- 9 手すりを取り付けるなど、自宅を改修するサービス
- 10 認知症の方を対象としたグループホームへの入居
- 11 有料老人ホームへの入居
- 12 施設への通い・泊まり・自宅への訪問を組み合わせ、介護を受けるサービス
- 13 施設への通い・泊まり・自宅への訪問を組み合わせ、看護や介護を受けるサービス
- 14 自宅で、夜間、巡回訪問や緊急時通報による訪問介護を受けるサービス
- 15 自宅で、日中・夜間を通じて1日複数回看護や介護を受けるサービス
- 16 利用したい在宅の介護保険サービスはない

(6) 介護保険サービスに関して、清瀬市にどのようなことを望みますか。

(3つまでに○)

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | 介護保険制度の情報をわかりやすく提供する |
| 2 | 相談や苦情の窓口を充実する |
| 3 | ケアマネジャーの質を向上する |
| 4 | サービス提供者の質を向上する |
| 5 | 不正請求などがないようチェック機能を充実する |
| 6 | 在宅のサービスの充実を図る |
| 7 | 入所できる施設の充実を図る |
| 8 | 認知症高齢者に対する支援を充実する |
| 9 | 医療処置が必要な高齢者が在宅で暮らし続けられる支援を充実する |
| 10 | 家族の介護負担を軽減する |
| 11 | その他 () |
| 12 | 特にない |

(7) あなたは、普段、福祉に関する情報を、主にどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|---------------|----|----------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 |
| 3 | 自治会 | 4 | 民生委員 |
| 5 | 地域包括支援センター | 6 | シニアクラブ (老人クラブ) |
| 7 | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | 8 | 市の広報誌 |
| 9 | 市役所の窓口・掲示板 | 10 | 市のホームページ |
| 11 | 医療機関・介護施設 | 12 | 社会福祉協議会 |
| 13 | ふれあい協力員 | 14 | ケアマネジャー |
| 15 | インターネット | 16 | その他 () |
| 17 | 特にない | | |

(8) 「成年後見制度」(※)を知っていますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|--------|---|-----------------|---|------|
| 1 | 利用している | 2 | 知っているが利用したことはない | 3 | 知らない |
|---|--------|---|-----------------|---|------|

※ 「成年後見制度」は、認知症などにより判断能力が十分でなくなった時に、本人の権利を守るための援助者を選び、法律面や生活面を支援する制度です。

(9) 「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」(※)を知っていますか。

(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 1 利用している | 2 知っているが利用したことはない | 3 知らない |
|----------|-------------------|--------|

※ 「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」は、自分の判断で適切に福祉サービス等を利用することが困難な方に対して、相談や助言などにより地域の生活を援助する事業です。

(10) 高齢者への虐待に気づいたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|--------------|-------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 警察 |
| 4 医療機関 | 5 地域包括支援センター | 6 市役所 |
| 7 ふれあい協力員 | 8 民生委員 | |
| 9 その他 () | 10 わからない | |

(11) 清瀬市には、現在4か所の地域包括支援センター(※)が設置されています。

地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------------|--------|
| 1 利用している | 2 知っているが利用したことはない | 3 知らない |
|----------|-------------------|--------|

※ 「地域包括支援センター」は、高齢者の介護予防、介護サービス利用、権利擁護に関する相談などに応じる機関です。

(12) 現在、生活を営むうえで、困っていることや心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 健康（自分や家族が介護や医療を必要とすることなど） |
| 2 生計（経済的に苦しい、または苦しくなることなど） |
| 3 家事（食事の用意、掃除洗濯など） |
| 4 外出（買い物や通院など） |
| 5 防犯・防災（災害時の避難など） |
| 6 住居（老朽化、バリアフリーでないことなど） |
| 7 家族・親族との関係（連絡を取り合えない、取り合えなくなるなど） |
| 8 知人・友人との関係（困ったときに助け合える人がいない、いなくなるなど） |
| 9 金銭管理や手続きができない、できなくなるなど |
| 10 一人暮らしになること |
| 11 その他 () |
| 12 困っていること、心配なことはない |

- (13) 清瀬市では、高齢者の自立や生活支援を支えるため、以下の保健福祉サービス等を行っています。これら保健福祉サービス等に対する認知度・利用経験・今後の利用希望についてお教えてください。(①～⑬のそれぞれ1つずつに○)

項目	認知度		利用経験		今後の利用	
	知っている	知らない	ある	ない	したい	したくない
【記入例】 ⑤ 徘徊探索サービス	1	2	1	2	1	2
① 緊急通報システム機器の貸与	1	2	1	2	1	2
② 火災安全システムの給付	1	2	1	2	1	2
③ 寝具乾燥車の派遣	1	2	1	2	1	2
④ 家具転倒防止器具助成	1	2	1	2	1	2
⑤ 徘徊探索サービス	1	2	1	2	1	2
⑥ 紙おむつの支給	1	2	1	2	1	2
⑦ 紙おむつの回収	1	2	1	2	1	2
⑧ ごみの戸別収集	1	2	1	2	1	2
⑨ ふれあい協力員の訪問事業	1	2	1	2	1	2
⑩ ふれあいコール	1	2	1	2	1	2
⑪ 配食サービス	1	2	1	2	1	2
⑫ 移送サービス	1	2	1	2	1	2
⑬ 認知症カフェ事業	1	2	1	2	1	2

(14) これからの高齢者福祉施策で、市に力をいれてほしいと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 生きがい支援 |
| 2 | 高齢者サロン活動への支援 |
| 3 | シニアクラブ（老人クラブ）への支援 |
| 4 | 就労支援 |
| 5 | 健康管理（がん検診、予防接種など） |
| 6 | 住みやすい住宅への支援 |
| 7 | 買い物や通院などの外出支援 |
| 8 | 公共施設の整備改善（バリアフリー化） |
| 9 | 寝たきり、要介護の高齢者に対する支援 |
| 10 | 見守り支援 |
| 11 | 家族の介護負担の軽減 |
| 12 | 認知症予防についての支援 |
| 13 | 認知症高齢者に対する支援 |
| 14 | 認知症の人や家族を支える認知症カフェや家族会への支援 |
| 15 | 若年性認知症の人に対する支援 |
| 16 | 高齢者虐待への対応の強化 |
| 17 | ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実 |
| 18 | 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 |
| 19 | 地域包括支援センターなど相談体制の充実 |
| 20 | 地域におけるボランティア組織の育成 |
| 21 | その他（ <input type="text"/> ） |
| 22 | 特になし |

(15) 清瀬市の保健福祉施策全般について、回答者であるあなたはどのように感じていますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|------------|---|----------|
| 1 | とても充実している | 2 | まあ充実している |
| 3 | あまり充実していない | 4 | 充実していない |

(16) 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたらご記入ください。

折リ②
.....

折リ②
.....

折リ①
.....

折リ①
.....

ご協力、誠にありがとうございました。

本アンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて頂き、
令和元年 12 月 18 日（水）までに郵便ポストに投函してください。



清瀬市は 2020 年に市制施行 50 周年を迎えます

3. 介護保険事業所への調査 調査票

清瀬市高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)

評価と策定のための アンケート調査のお願い

日頃より、清瀬市の高齢者保健福祉行政に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

清瀬市では、高齢者の保健福祉事業及び介護保険事業のより一層のサービス向上のため、市内の介護保険事業所の皆さまより率直なご意見やご要望をお伺いしたく、アンケート調査を実施するはこびとなりました。この度のアンケートの結果は、令和3年度よりスタートする「清瀬市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するための基礎資料となります。

本調査は、市内にある介護保険事業所(1法人に対し1通)を対象としています。ご多用のところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、お答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年 11 月 27 日 清瀬市長 渋谷 金太郎

調査の方法について

- 1 質問への回答は、令和元年 10 月 1 日現在の状況でお願いします。
- 2 質問は、貴法人等の管理者等、運営全般について精通されている方がお答えください。
- 3 同一法人等で複数のサービスを提供している場合は、清瀬市をサービス提供エリアとしている事業所すべてについてお答えください。
- 4 ご回答頂いたアンケート調査票は、令和元年 **12 月 18 日まで**に、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れて頂き、郵便ポストへ投函をお願いします。

お問い合わせ先 清瀬市健康福祉部高齢支援課 (電話：042-497-2080)

問1 はじめに、貴事業所の名称及び所在地等をお答えください。

事業所名				
住所				
記入者	氏名		役職	
連絡先	電話番号			

問2 貴事業所の法人の形態は次のどれに該当しますか。(1つに○)

1 社会福祉法人	2 社団法人	3 財団法人
4 医療法人	5 JA・生協	6 株式会社
7 有限会社	8 NPO	
9 その他 ()		

問3 現在、清瀬市で提供しているサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

※以下には、介護予防給付も含まれていると踏まえてご回答ください。

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所生活介護
9 短期入所療養介護	10 特定施設入居者生活介護
11 福祉用具貸与	12 特定福祉用具販売
13 居宅介護支援	14 介護老人福祉施設
15 介護老人保健施設	16 介護療養型医療施設
17 認知症対応型通所介護	
18 看護小規模多機能型居宅介護 (複合型サービス)	
19 認知症対応型共同生活介護	20 地域密着型通所介護

問4 現在、清瀬市で提供しているサービス（問3で○）のうち、決算が確定している最新の会計年度の経営状態が赤字であったサービスの番号を以下にご記入ください。
 ※赤字サービスがない場合は、「1 赤字のサービスはない」に○をしてください。

決算が確定している最新の会計年度の経営状態において、

- 1 赤字のサービスはない
- 2 赤字であったサービスの番号 → ()

問5 現在、清瀬市で提供しているサービス（問3で○）のうち、今後、休止・廃止予定のサービスの番号を以下にご記入ください。

※休止・廃止予定のサービスがない場合は、「1 休止・廃止予定のサービスはない」に○をしてください。

- 1 休止・廃止予定のサービスはない
- 2 今後、休止・廃止予定のサービスの番号 → ()

問6 以下の中で、今後新たに提供する予定のサービスはありますか。

※具体的には検討していなくても、参入の可能性があり、参入を検討するかもしれないなどであっても○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

※以下には、介護予防給付も含まれていると踏まえてご回答ください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 訪問介護 | 2 訪問入浴介護 |
| 3 訪問看護 | 4 訪問リハビリテーション |
| 5 居宅療養管理指導 | 6 通所介護 |
| 7 通所リハビリテーション | 8 短期入所生活介護 |
| 9 短期入所療養介護 | 10 特定施設入居者生活介護 |
| 11 福祉用具貸与 | 12 特定福祉用具販売 |
| 13 居宅介護支援 | 14 介護老人福祉施設 |
| 15 介護老人保健施設 | 16 介護医療院 |
| 17 夜間対応型訪問介護 | 18 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 19 認知症対応型通所介護 | 20 小規模多機能型居宅介護 |
| 21 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス） | |
| 22 認知症対応型共同生活介護 | 23 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 24 地域密着型介護老人福祉施設 | 25 地域密着型通所介護 |
| 26 新たに提供をする予定のサービスはない | |

問7 事業者の立場から見て、清瀬市内で、市民ニーズに対してサービス提供量がとくに不足している、または十分足りていると思うサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

※以下には、介護予防給付も含まれていると踏まえてご回答ください。

【不足していると思うサービス】

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所生活介護
9 短期入所療養介護	10 特定施設入居者生活介護
11 福祉用具貸与	12 特定福祉用具販売
13 居宅介護支援	14 介護老人福祉施設
15 介護老人保健施設	16 介護療養型医療施設・介護医療院
17 夜間対応型訪問介護	18 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
19 認知症対応型通所介護	20 小規模多機能型居宅介護
21 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	
22 認知症対応型共同生活介護	23 地域密着型特定施設入居者生活介護
24 地域密着型介護老人福祉施設	25 地域密着型通所介護
26 不足していると思うサービスはない	

【足りていると思うサービス】

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所生活介護
9 短期入所療養介護	10 特定施設入居者生活介護
11 福祉用具貸与	12 特定福祉用具販売
13 居宅介護支援	14 介護老人福祉施設
15 介護老人保健施設	16 介護療養型医療施設
17 認知症対応型通所介護	
18 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	
19 認知症対応型共同生活介護	20 地域密着型通所介護
21 足りていると思うサービスはない	

問8 市内の介護サービスの質についてどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 利用者本位の自立支援に向けたサービスができている |
| 2 | 概ね利用者本位の自立支援に向けたサービスができている |
| 3 | 利用者本位の自立支援に向けたサービスができていない |
| 4 | 個人のスキルの差が大きく、一概に言えない |
| 5 | その他 () |
| 6 | わからない |

問9 以下のうち、介護サービスの質の向上を図るために最も必要だと思う取組はどれですか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----------------|---|------------|
| 1 | レベルや経験年数に応じた研修 | 2 | テーマ別の研修 |
| 3 | 事例検討会 | 4 | 他事業所との情報交換 |
| 5 | 市民への情報公開 | 6 | その他 () |

問10 自立支援・重度化防止の取組について、最も課題と思うことはどれですか。

(1つに○)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 利用者の意欲がない |
| 2 | 介護サービス量を減らすことを利用者が望まない |
| 3 | 自立支援・重度化防止の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない |
| 4 | その他 () |
| 5 | 特に課題はない |
| 6 | わからない |

問 12 医療と介護の連携を進めていくうえで、重要だと思うことは何ですか。

(2つまでに○)

- 1 事例検討会、研修や交流会を通じた「顔の見える関係づくり」
- 2 定例の連携会議
- 3 ICTを活用した連携ネットワークによるタイムリーな情報のやり取り
- 4 医療・介護の知識や制度、各職種の専門性の相互理解のための研修
- 5 多職種をコーディネートできる人材の育成
- 6 多職種間の調整、連携を推進する役割を担う組織体の設置
- 7 行政のリーダーシップ
- 8 その他 ()

問 13 要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要だと思いますか。

(2つまでに○)

- 1 専門的なサービスの開発と提供
- 2 現行のサービス提供量の拡大
- 3 利用者本人の自立生活志向を高める支援
- 4 介護者の身体的・精神的な負担の軽減
- 5 地域保健福祉関係機関との連携
- 6 住民どうしの支え合い
- 7 訪問診療が可能なかかりつけ医の存在
- 8 新サービスの創設 (24 時間対応サービス等)
- 9 その他 ()

問 14 貴事業所において、ターミナルケアへの対応はどのようにお考えですか。

(1つに○)

- 1 すでに実施している
- 2 検討段階である
- 3 対応は考えていない
- 4 その他 ()

問 15 貴事業所の介護人材のことについて、お教えてください。

(1) 令和元年 10 月 1 日時点での貴事業所の介護職員の総数を、お教えてください。

正規職員	人	非正規職員	人
------	---	-------	---

(2) 令和元年 10 月 1 日時点で、開設から 1 年以上を経過している事業所におたずねします。(令和元年 10 月 1 日時点で、開設から 1 年未満の事業所は問 15 (4) にお進みください。)

過去 1 年間 (平成 30 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日) の介護職員の採用者数と離職者数をお教えてください。

採用者数	人	離職者数	人
------	---	------	---

(3) 問 15 (2) の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別について、お教えてください。

形態 年齢	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20 歳未満	人	人	人	人
20～29 歳	人	人	人	人
30～39 歳	人	人	人	人
40～49 歳	人	人	人	人
50～59 歳	人	人	人	人
60～69 歳	人	人	人	人
70～79 歳	人	人	人	人

(4) すべての事業所の方におたずねします。

貴事業所では、職員の離職を防止するための工夫として、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 職員に対する雇用満足度調査などを実施し、状況把握に努めている
- 2 面談などを実施し、不満に感じていることなどを把握して、不満解消に努めたり、問題解決をしている
- 3 処遇改善加算を給与に反映している
- 4 職員のより良い福利厚生事業に努めている
- 5 研修会などに積極的に参加させ、スキルアップを図っている
- 6 その他 ()
- 7 何もしていない

(5) 貴事業所では、介護人材の確保について、どのような取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 新聞広告などに求人広告を出す
- 2 ハローワークに求人募集を出す
- 3 大学、専門学校などに求人募集を出す
- 4 人材派遣会社から派遣
- 5 知人など関係者からの紹介
- 6 他事業所や施設の職員などを勧誘
- 7 その他 ()

(6) 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を活用されていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 活用している⇒ 問 15 (7) へ | 2 活用していない⇒ 問 15 (9) へ |
|----------------------|-----------------------|

(7) 問 15 (6) で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

(「2 活用していない」を選ばれた方は、問 15 (9) にお進みください。)

介護職員処遇改善加算をどのように活用されましたか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 基本給の引き上げ | 2 諸手当の引き上げ、または新設 |
| 3 賞与などの一時金 | 4 その他 () |

(8) 問 15 (6) で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

(「2 活用していない」を選ばれた方は、問 15 (9) にお進みください。)

介護職員処遇改善加算は職員の離職防止に効果があると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1 とても効果がある | 2 効果がある | |
| 3 あまり効果がない | 4 効果がない | 5 わからない |

(9) 問 15 (6) で「2 活用していない」を選ばれた方におたずねします。

(「1 活用している」を選ばれた方は、問 15 (10) にお進みください。)

介護職員処遇改善加算を活用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 書類手続きなどが複雑だから | 2 日常の業務が忙しいから |
| 3 加算の必要性を感じないから | 4 対象の事業でないから |
| 5 その他 () | |

(10) すべての事業所の方におたずねします。

貴事業所では、令和元年10月よりスタートした介護職員等特定処遇改善加算を活用されていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 活用している⇒ 問15(11)へ | 2 活用していない⇒ 問15(13)へ |
|--------------------|---------------------|

(11) 問15(10)で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

(「2 活用していない」を選ばれた方は、問15(13)にお進みください。)

介護職員等特定処遇改善加算をどのように活用する予定ですか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 基本給の引き上げ | 2 諸手当の引き上げ、または新設 |
| 3 賞与などの一時金 | 4 その他() |

(12) 問15(10)で「1 活用している」を選ばれた方におたずねします。

(「2 活用していない」を選ばれた方は、問15(13)にお進みください。)

介護職員等特定処遇改善加算は職員の離職防止に効果があると思いますか。

(1つに○)

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1 とても効果がある | 2 効果がある | |
| 3 あまり効果がない | 4 効果がない | 5 わからない |

(13) 問15(10)で「2 活用していない」を選ばれた方におたずねします。

(「1 活用している」を選ばれた方は、問15(14)にお進みください。)

介護職員等特定処遇改善加算を活用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 書類手続きなどが複雑だから | 2 日常の業務が忙しいから |
| 3 加算の必要性を感じないから | 4 対象の事業でないから |
| 5 その他() | |

(14) すべての事業所の方におたずねします。

介護ロボットの活用について、貴事業所のお考えをお教えてください。（1つに○）

- 1 すでに導入済みである
- 2 今後、導入予定である
- 3 活用に向け検討中
- 4 関心はあるが、具体的な検討はない
- 5 導入の予定はない
- 6 わからない

(15) 経済連携協定（EPA）に基づく外国人材の活用について、貴事業所のお考えをお教えてください。（1つに○）

- 1 すでに活用済みである
- 2 今後、活用予定である
- 3 活用に向け検討中
- 4 関心はあるが、具体的な検討はない
- 5 活用の予定はない
- 6 わからない
- 7 受入れ対象のサービス（施設）ではない

(2) 人材育成・定着に関して、困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 人材育成のための時間がない
- 2 人材育成のための費用に余裕がない
- 3 従業員の自己啓発への意欲が低い
- 4 法人内における人材育成の優先順が低い
- 5 指導をできる人材が少ない、または、いない
- 6 採用時期がまちまちで効果的な育成ができない
- 7 育成してもすぐに辞めてしまう
- 8 研修を受講させる人的余裕がない
- 9 その他 ()

(3) 清瀬市内で介護サービス事業を展開するうえで、清瀬市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護保険制度に関する情報の提供
- 2 事業所間の連携強化のための支援
- 3 職員の質の向上のための研修の支援
- 4 困難ケースの対応の支援
- 5 介護人材確保、定着にむけた取組の支援 (マッチングなど)
- 6 外国人介護従事者に対する日本語学習支援
- 7 市の保健福祉サービス (介護保険外) の充実
- 8 虐待防止・権利擁護の推進
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問 17 貴事業所では、非常災害時(火災や地震など)に備えて、どのような対策を講じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害時対応マニュアルの作成
- 2 事業所における利用者等も含めた避難訓練の実施
- 3 地域の避難訓練への参加
- 4 災害発生時における地域住民との連携体制の構築
- 5 食糧や飲料水の備蓄
- 6 利用者との災害発生時における対応の確認
- 7 災害発生時の利用者の安否確認方法の確認
- 8 その他 ()
- 9 特にしていない

問 18 最後に、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、ご意見がございましたらご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。

本アンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて頂き、
令和元年 12 月 18 日 (水) までに郵便ポストに投函してください。

清瀬市高齢者保健福祉計画・
第8期介護保険事業計画策定に向けた調査 報告書

令和2年3月
清瀬市

発行 清瀬市 健康福祉部 高齢支援課
〒204-8511 清瀬市中里 5-842
TEL 042-492-5111 (代表)
